

荒川区 指定管理者
平成28年度分 実績評価結果

平成29年9月

目 次

<ul style="list-style-type: none"> ●実績評価の目的及び評価方法について … 3 ●ふれあい館 <ul style="list-style-type: none"> 石浜ふれあい館 … 5 南千住ふれあい館 … 9 南千住駅前ふれあい館 … 13 汐入ふれあい館 … 17 峡田ふれあい館 … 21 荒川山吹ふれあい館 … 25 町屋ふれあい館 … 29 荒木田ふれあい館 … 33 尾久ふれあい館 … 37 西尾久ふれあい館 … 41 東日暮里ふれあい館 … 45 夕やけこやけふれあい館 … 49 西日暮里ふれあい館 … 53 ●文化施設 <ul style="list-style-type: none"> 荒川区民会館（サンパール荒川） … 57 日暮里サニーホール … 61 荒川区ムーブ町屋 … 65 ●生涯学習施設 <ul style="list-style-type: none"> 町屋文化センター … 69 生涯学習センター … 73 清里高原ロッジ／清里高原少年自然の家 … 77 ●スポーツ施設 <ul style="list-style-type: none"> 荒川総合スポーツセンター … 81 ●高齢者福祉施設 <ul style="list-style-type: none"> 特別養護老人ホームグリーンハイム荒川 … 85 特別養護老人ホームサンハイム荒川 … 89 特別養護老人ホーム花の木ハイム荒川 … 93 グリーンハイム荒川在宅高齢者通所SC … 97 サンハイム荒川在宅高齢者通所SC … 101 花の木ハイム荒川在宅高齢者通所SC … 105 西日暮里在宅高齢者通所SC … 109 町屋在宅高齢者通所SC … 113 	<ul style="list-style-type: none"> 南千住中部在宅高齢者通所SC … 117 東日暮里在宅高齢者通所SC … 121 荒川東部在宅高齢者通所SC … 125 西尾久西部在宅高齢者通所SC … 129 荒川老人福祉センター … 133 授産場 … 137 ●障がい者福祉施設 <ul style="list-style-type: none"> 荒川福祉作業所 … 141 荒川生活実習所 … 145 尾久生活実習所本所／分場 … 149 障害者福祉会館 … 153 精神障害者地域生活支援センター … 157 障害者グループホーム … 161 ●保育施設 <ul style="list-style-type: none"> 小台橋保育園 … 165 上尾久保育園 … 169 南千住さくら保育園 … 173 汐入とちのき保育園 … 177 はなみずき保育園 … 181 南千住保育園 … 185 南千住七丁目保育園 … 189 夕やけこやけ保育園 … 193 ●住宅 <ul style="list-style-type: none"> 荒川区営住宅（西尾久七丁目、西尾久三丁目 … 197 南千住二丁目、町屋七丁目、町屋五丁目） 荒川区民住宅（東日暮里六丁目、町屋八丁目 … 201 町屋五丁目） 従前居住者用住宅（町屋五丁目住宅） … 205 ●自転車等駐車場 <ul style="list-style-type: none"> 南千住駅東口自転車等駐車場 … 209 センターまちや自転車駐車場 … 213 日暮里駅前自転車駐車場 … 217 三河島駅前自転車駐車場 … 221
--	--

※ 通所サービスセンターを「SC」と記載しています。

実績評価の目的及び評価方法について

1 実績評価の目的

指定管理施設の管理運営の状況等について、実績の評価を行うことにより、継続的な改善を促し、サービス水準の一層の向上を図る。

2 評価方法

(1) 施設種別の設定

施設特性に応じた、より実効性のある、きめ細やかな評価を行うため、次の2種類の施設種別を設定する。

施設種別	施設特性	対象施設
A施設	<ul style="list-style-type: none"> ・ 法令等による施設運営基準の定めがある ・ 人的サービスの比重が大きい 	高齢者福祉施設、 障がい者福祉施設、 保育施設
B施設	<ul style="list-style-type: none"> ・ サービスや事業内容に関する指定管理者の創意工夫の余地が大きい 	文化施設、ふれあい館、 生涯学習施設、社会体育施設、 自転車等駐車場、住宅

(2) A施設のサービス面に関する評価項目と評点

- ・ 「法令基準等への適合状況」と「加点点評価項目」の2面から評価する。
- ・ 「法令基準等への適合状況」については、施設の設備、人員配置、運営等に関する法令基準を満たしているかを確認し、1項目でも満たしていなければ「不適合」と判断する。
- ・ 施設特性に応じて「加点点評価項目」を設定し、「極めて良好である」「良好である」「取組が行われていない、または十分でない」の3段階で評価する。

(3) B施設のサービス面に関する評価項目と評点

- ・ 「基本評価項目」と「その他の評価項目」の2面から評価する。
- ・ 「基本評価項目」については、「施設の維持管理」と「区民サービス」の2点について、施設特性に応じて評価の細目及び配点（100点満点）を設定し、5段階評価を行った上で得点を算出する。
- ・ 「その他の評価項目」については、評価対象とする項目及び配点（10点以内）を施設特性に応じて設定し、5段階の評価を行った上で得点を算出する。
- ・ 「基本評価項目（100点）」と「その他の評価項目（10点）」の総合得点（110点満点）を算出し、下表の基準によりS～Dの総合評価を行う。

評価		基準
S	特に優れている	総合得点が100点以上
A	優れている	総合得点が80点以上100点未満
B	適正である	総合得点が60点以上80点未満
C	努力が必要である	総合得点が40点以上60点未満
D	運営に大きな問題がある	総合得点が40点未満

(4) 財務・労務に関する評価項目と評点 (A施設・B施設共通)

- ・ A施設・B施設ともに、「会計」「経営」「労務」「法人決算」の状況を確認し、次の基準により優良・良好・課題有の評価を行う。

<会計>

優良 : 会計手続及び予算管理が極めて適正である。

良好 : 会計手続及び予算管理が適正に行われていた。もしくは、会計手続及び予算管理が概ね適正に行われていた。一部に改善の必要があったが、改善された又は改善の計画がある。

課題有 : 改善すべき点が見受けられ、努力が必要である。もしくは、会計手続及び予算管理に問題があり、改善の見込みがない。

<経営>

優良 : 施設の特性に応じ、極めて優れた経費の効果的活用が行われていた。

良好 : 施設の特性に応じ、経費の効果的活用が行われていた。

課題有 : 経費の効果的活用について、改善すべき点が見受けられ、努力が必要である。もしくは、経費の効果的活用について改善の見込みがない。

<労務>

優良 : 労働環境が適正である。

良好 : 労働環境は適正ではあるが、一部改善の必要が見受けられる。改善が必要な部分について、改善された又は改善の計画がある。

課題有 : 労働環境に改善すべき点が見られ、努力が必要である。もしくは、労働環境に問題があり、改善の見込みがない。

<法人決算>

優良 : 極めて良好な財務力を有している。

良好 : 安定的・継続的な運営に当たって適正な財務力を有している。もしくは、安定的・継続的な運営に当たって一部改善の必要が見受けられるが、改善の見込みがある。

課題有 : 安定的・継続的な運営に当たって改善すべき点が見受けられ、努力が必要である。もしくは、安定的・継続的な運営に問題があり、改善の見込みがない。

平成28年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

施設概要		
施設名	名称	石浜ふれあい館
	所在地	荒川区南千住三丁目28番2号
指定管理者	名称	株式会社日本デイケアセンター
	所在地	千代田区猿楽町二丁目2番3号
施設開設年月日		平成25年4月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成25年4月1日
指定期間		平成28年4月1日～平成31年3月31日
業務内容	<p>乳幼児から高齢者まで、あらゆる世代の区民が生き生きと集い、ふれあいと相互交流の輪を広げる場を提供する。遊び・スポーツ・健康づくり・教養娯楽活動等を通じて地域コミュニティの形成を図るとともに、地域住民の自主的かつ主体的な活動を促進する事業を実施する。</p> <p>【主な施設】 サロン、親子ふれあいひろば、プレイルーム、多目的室、洋室、和室、創作室、授乳室、だれでもトイレ</p> <p>【特徴ある施設】 備蓄倉庫</p> <p>【総入館者数】 52,481名 (内訳)</p> <p>世代別事業参加者数 (保護者)5,740名(乳幼児)6,140名(小学生)21,656名(中学生)1,572名(高校生)992名(成人)1,547名(高齢者)7,007名 (合計)44,654名</p> <p>貸室利用者数 7,827名</p>	
平成28年度の事業計画		
【乳幼児】	<p>幼児タイム・高齢者との世代間交流・各種講座等の事業を行う等、親子ふれあいひろばを活用して安全に過ごす事ができる環境を作っていく。子育て支援活動として、身体測定や講座を行っていく。また事業や講座を行うことで利用者が子育て相談を受けやすくしていく。</p>	
【小学生】	<p>多くの小学生が参加しやすいサークル活動や行事を実施し、子供同士の交流を図る。</p>	
【中学生】	<p>中学生が利用しやすい環境の整備に努め、健全な育成と交流の拠点にしていく。</p>	
【成人】	<p>事業の確立が図れるよう努める。</p>	
【高齢者】	<p>事業の確立が図れるよう努める。高齢者が集い楽しめるような交流の場を提供していく。町会等の地域活動の支援を積極的に行う。区民相互の交流と自主的活動の援助を行うよう努める。</p>	
【その他】	<p>文化向上や余暇の充実を図る。地域の史跡の勉強会を開催し心豊かな地域社会の形成に貢献できるように努める。</p>	
平成28年度の事業実績		
【乳幼児】	<p>乳幼児の体操教室は保護者から大変人気であった。体操教室については、来年度事業回数を増やす予定である。乳幼児事業は利用者が定着してきており、相談業務件数が増加した。</p>	
【小学生】	<p>多目的室利用者が激増し、特に今年度は6年生の利用者が中心となった。</p>	
【中学生】	<p>事業日数を増やして欲しいとの要望に応え、職員を確保し対応した結果、安定した利用数を確保できた。</p>	
【高齢者】	<p>高齢者には、健康に留意した人気イベントには多くの人々が参加するため、人数制限等の安全確保に努め実施した。また、実施回数を増やすことで、より多くの方が参加した。</p>	
【世代間交流】	<p>世代間交流事業は、「ディアポロ体験」「ミニシアター」「わいわいピンポン」等、毎月1回のペースで、小学生と保護者が関わりを持つことができるイベントを実施し、来館者数を安定して増やすことができた。</p>	
【その他】	<p>季節に応じて様々なイベントを実施した。また、消防や警察と連携した救命、防犯、交通安全等のイベントは、来年度以降も企画していく。研修等を通して館職員の個々の力量の底上げを図るとともに、全体的にまとまることで、館イベント祭りの充実に繋がった。</p>	

施設決算状況

年度		平成26年度	平成27年度	平成28年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	指定管理料	44,545,494	45,024,179	45,593,833	45,578,098
	その他収入	0	0	0	0
	計	44,545,494	45,024,179	45,593,833	45,578,098
支出	運営費	2,055,416	3,023,595	2,901,440	2,448,966
	管理費	11,692,734	10,518,670	10,328,728	11,632,866
		本部経費	3,750,753	2,527,720	1,733,728
	人件費	30,205,090	29,438,207	32,062,000	28,125,460
	修繕費	264,600	272,484	301,665	285,930
	その他支出	0	0	0	0
	計	44,217,840	43,252,956	45,593,833	42,493,222
収支差額		327,654	1,771,223	0	3,084,876

(各費目内容・改善すべき点等)

基本評価項目

評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
施設の維持管理	20			20
快適に利用できるための施設管理がなされている	5	5	100%	5
安全・安心に過ごすための施設管理がなされている	5	5	100%	5
危機管理・苦情・事故等の管理を徹底している	10	5	100%	10
区民サービス	80			80
利用者の事業に対する満足度が高い	20	5	100%	20
職員の接遇がきちとなされている	25	5	100%	25
ポスターや館だより等の広報方法を工夫している	5	5	100%	5
幅広い事業展開を行っている	5	5	100%	5
利用者数が増加している	25	5	100%	25
合計(A)	100	-	-	100

その他の評価項目					
評価項目		配点	評価		得点 (配点×乗率)
			レベル	乗率	
地域と連携した事業展開を行っている		3	5	100%	3
区民雇用を積極的に行っている		2	4	80%	1.6
施設全体における評価が高い		3	5	100%	3
安全に対する積極的な取組を行っている (上級救命講習の受講等)		2	5	100%	2
合 計 (B)		10	-	-	9.6
評価内容					
<p>「施設の維持管理」については、利用者が安全・安心に過ごせるよう適正に管理されている。「区民サービス」及び「その他の評価項目」については、利用者の事業に対する満足度も高く、適切に運営がされている。特に、職員の接遇に対する意識は高く、利用者からの評価も高い。また、事業については、新規事業を取り入れる等工夫を凝らしており、「ディアポロ体験」「ミニシアター」「わいわいピンポン」等、世代間交流を図る事業を積極的に実施している。さらに、地域行事には参加するだけでなく、事務局を務める等積極的に連携を図っており、地域コミュニティの拠点施設としての役割を果たしている。</p>					
改善すべき点等					
合計 (A+B)				109.6	
施設の維持管理・区民サービス等の総合評価				S	
財務・労務評価表					
評価項目		評価内容		評価	
会計	会計手続が適正である	決算書、科目別内訳表、事業報告書等の審査を行った結果、会計処理は適正に行われている。		優良	
	予算管理が適正である	予算・決算、前年決算等と比較して収入・支出・収支差は少なく、予算管理は適正である。			
経営	経費の効果的活用が行われている	本部経費が増加しているが、人件費、職員旅費、光熱水費について経費縮減の努力が行われている。		良好	
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労働環境は適正である。		優良	
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業者の三期の決算書に基づいて財務診断を行った結果、成長性、収益性、活動性・健全性等が良好であり、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している。		良好	

総評

サービス内容	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の維持管理については、安全等に配慮した適正な施設管理が行われている。区民サービスについては、利用者のニーズに柔軟に対応しており、満足を得られる内容の事業を実施している。また、区民の相互交流と自主的活動を促進し、福祉と生活文化を向上させるとともに、地域コミュニティの拠点施設としての役割を十分に果たしている。
財務・労務	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の会計手続きや予算管理が適正に行われており、経費の効果的活用が実施されている。 ・雇用契約条件、実施状況、健康診断などについて法令に準じた運用を行っている。 ・指定管理者である法人は、収益性、成長性、活動性・健全性等が良好であり、安定的な運営を行う財務力を有している。
総合評価	<ul style="list-style-type: none"> ・サービス面、会計面、労務面は優良であり、経費の効果的活用も行われているため、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部	
部	区民生活部
課	区民施設課

平成28年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

施設概要		
施設名	名称	南千住ふれあい館
	所在地	荒川区南千住六丁目36番13号
指定管理者	名称	テンプスタッフ・ウィッシュ株式会社
	所在地	渋谷区代々木二丁目1番1号 新宿マインズタワー
施設開設年月日		平成24年4月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成24年4月1日
指定期間		平成27年4月1日～平成30年3月31日
業務内容	<p>乳幼児から高齢者まで、あらゆる世代の区民が生き生きと集い、ふれあいと相互交流の輪を広げる場を提供する。遊び・スポーツ・健康づくり・教養娯楽活動等を通じて地域コミュニティの形成を図るとともに、地域住民の自主的かつ主体的な活動を促進する事業を実施する。</p> <p>【主な施設】 サロン、親子ふれあいひろば、プレイルーム、多目的室、洋室、和室、創作室、授乳室、相談室、だれでもトイレ</p> <p>【特徴ある施設】 音楽室、屋上広場</p> <p>【総入館者数】 75,554名 (内訳)</p> <p>世代別事業参加者数 (保護者)11,771名 (乳幼児)13,234名 (小学生)13,944名 (中学生)2,459名 (高校生)379名 (成人)589名 (高齢者)9,570名 (合計)51,946名</p> <p>貸室利用者数 23,608名</p>	

平成28年度の事業計画

- 【乳幼児】 乳幼児の健全育成と子育てをする親の孤立防止、仲間作りのため、季節行事や講座、事業を幅広く行い親子同士の交流を支援する。
- 【小学生】 遊びや、運動、ゲーム等を通して年齢や学校の異なる子どもとの交流を図り、ルールを守る大切さを覚えるよう援助する。今年度の目標を「挨拶のきちんとしてできる児童が通う南千住ふれあい館」とする。
- 【中学生】 中学生が気軽に集まり仲間と落ち着ける「中学生タイム」の時間を設け、多目的室を中心に居場所の提供を行うとともに職員に気軽に話せる環境を作り非行や孤立を防止できるよう支援する。
- 【高齢者】 高齢者が生きがいをもち、自立した生活が営め、かつ積極的な社会参加ができるよう文化活動・健康の増進に向けた各種事業を通して支援していく。
- 【世代間交流】 「わくわくまつり」の他、「長寿慶祝の会」への小中学生実行委員による参加、小中学生による絵本の読みきかせ、交流クッキング等、多世代交流を意識した事業展開をしていく。
- 【地域交流】 「地域演芸会」、近隣のグリーンハイム荒川（老人ホーム）との交流の他、南千住地区委員会主催のイベント等へ参加し、地域や町会との交流を図る。

平成28年度の事業実績

- 【乳幼児】 乳幼児タイムはどのクラスも昨年度より参加者が大幅に上回った。クラスのない日も親子で遊びにくる利用者が多くなった。「ベビーミュージック」等の講座は、すぐに定員に達するほど好評だった。「寝ぞうアート」は定員を設けず実施し、前期110名、後期180名の参加があり大好評であった。
- 【小学生】 「お化け屋敷」「わくわくまつり」「クリスマス会」のサポーター（実行委員）は昨年度より多くの子どもが参加し、子供達は、積極的に当日の運営に取り組んだ。また、一年間の職員の働きかけにより、積極的に挨拶できる子どもが増えた。
- 【中学生】 多目的室の開放回数を増やすことで、中学生が集う居場所づくりができた。また、職員は、生徒達の健全育成に心掛け、良好な関係を築くことができた。
- 【高齢者】 「オトナの遠足」「オトナの手芸」は、定員を超えて参加希望があり好評であった。「カラオケ合唱」「カラオケ自由曲」の事業等は、人気が高く新規利用者が増加した。
- 【世代間交流】 「交流卓球大会」「わくわくまつり」「みんなの手芸」「デイキャンプ」「クリスマス」「グリーンハイム交流」「ハロウィン」「交流クッキング」「七草粥の会」等、多世代交流を意識した事業を行った。また、春休みを利用して「交流ウィーク」を設け「みんなの手芸」「交流卓球大会」「交流オセロ大会」「交流輪投げ大会」を実施した。
- 【地域交流】 地域交流では、例年通り南千住地区委員会の「なかよしまつり」「たこ揚げ大会」の事務局となり協力をした。また、「ハロウィン」の行事で近隣地域の方や高齢者ボランティアの協力を得てパレードを行い、地域交流と多世代間交流事業を実施した。

施設決算状況

年度		平成26年度	平成27年度	平成28年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	指定管理料	46,494,347	46,774,884	47,259,254	47,171,027
	その他収入	141,043	85,650	0	91,230
	計	46,635,390	46,860,534	47,259,254	47,262,257
支出	運営費	1,529,515	1,471,928	1,721,440	1,638,300
	管理費	12,575,187	9,923,133	7,541,069	10,692,971
	人件費	33,428,299	35,152,856	37,609,358	35,001,858
	修繕費	350,000	312,617	387,387	299,160
	その他支出	0	0	0	0
	計	47,883,001	46,860,534	47,259,254	47,632,289
収支差額		-1,247,611	0	0	-370,032

(各費目内容・改善すべき点等)

<収支差額がマイナスの理由>
 昨年度に比べ事業参加人数が増えたため。

基本評価項目

評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
施設の維持管理	20			20
快適に利用できるための施設管理がなされている	5	5	100%	5
安全・安心に過ごすための施設管理がなされている	5	5	100%	5
危機管理・苦情・事故等の管理を徹底している	10	5	100%	10
区民サービス	80			74
利用者の事業に対する満足度が高い	20	5	100%	20
職員の接遇がきちんとなされている	25	5	100%	25
ポスターや館だより等の広報方法を工夫している	5	4	80%	4
幅広い事業展開を行っている	5	5	100%	5
利用者数が増加している	25	4	80%	20
合計(A)	100	-	-	94

その他の評価項目

評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
地域と連携した事業展開を行っている	3	5	100%	3
区民雇用を積極的に行っている	2	4	80%	1.6
施設全体における評価が高い	3	5	100%	3
安全に対する積極的な取組を行っている (上級救命講習の受講等)	2	3	60%	1.2
合 計 (B)	10	-	-	8.8

評価内容

「施設の維持管理」については、利用者が安全・安心に過ごせるよう適正に管理されている。「区民サービス」及び「その他の評価項目」については、利用者の事業に対する満足度も高く、適切に運営がされている。特に、職員の接遇に対する意識は高く、利用者からの評価も高い。また、事業については、好評の「寝ぞうアート」の定員を無制限にしたほか、中高生の多目的室等の利用時間を拡大する等、利用者のニーズに柔軟に対応した事業運営を実施している。その他、利用者だけでなく近隣の高齢者施設との連携事業の実施や、地区委員会、町会等のイベントに参加するなど、積極的な地域交流・世代間交流を図り、地域コミュニティの拠点としての役割を果たしている。

改善すべき点等

合計 (A+B)	102.8
----------	-------

施設の維持管理・区民サービス等の総合評価	S
----------------------	---

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	決算書、科目別内訳表、事業報告書等の審査を行った結果、会計処理は適正に行われている。	優良
	予算管理が適正である	予算・決算、前年決算等と比較して収入・支出・収支差は少なく、予算管理は適正である。	
経営	経費の効果的活用が行われている	本部経費が増加しているが、光熱水費について経費縮減の努力が行われている。	良好
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労働環境は適正である。	優良
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業者の三期の決算書に基づいて財務診断を行った結果、成長性、収益性、安定性、活動性・健全性は極めて良好であり、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している。	優良

総評

サービス内容	<p>・施設の維持管理については、安全等に配慮した適正な施設管理が行われている。区民サービスについては、利用者のニーズに柔軟に対応しており、満足を得られる内容の事業を実施している。また、区民の相互交流と自主的活動を促進し、福祉と生活文化を向上させるとともに、地域コミュニティの拠点施設としての役割を十分に果たしている。</p>
財務・労務	<p>・施設の会計手続きや予算管理が適正に行われており、経費の効果的活用が実施されている。</p> <p>・雇用契約条件、実施状況、健康診断などについて法令に準じた運用を行っている。</p> <p>・指定管理者である法人は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等が極めて優れており、安定的運営を行う財務力を有している。</p>
総合評価	<p>・サービス面、会計面、労務面は優良であり、経費の効果的活用も行われているため、指定管理業務は適正であったと評価できる。</p>

担当所管部	
部	区民生活部
課	区民施設課

平成28年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

施設概要		
施設名	名称	南千住駅前ふれあい館
	所在地	荒川区南千住七丁目1番1号 アクレスティ南千住2階
指定管理者	名称	株式会社日本デイクアセンター
	所在地	千代田区猿楽町二丁目2番3号
施設開設年月日		平成22年4月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成22年4月1日
指定期間		平成28年4月1日～平成33年3月31日
業務内容	<p>乳幼児から高齢者まで、あらゆる世代の区民が生き生きと集い、ふれあいと相互交流の輪を広げる場を提供する。遊び・スポーツ・健康づくり・教養娯楽活動等を通じて地域コミュニティの形成を図るとともに、地域住民の自主的かつ主体的な活動を促進する事業を実施する。</p> <p>【主な施設】サロン、親子ふれあいひろば、プレイルーム、多目的室、洋室、和室、創作室、授乳室、相談室、だれでもトイレ</p> <p>【総入館者数】 90,811名 (内訳) 世代別事業参加者数 (保護者)8,202名 (乳幼児)8,929名 (小学生)11,785名 (中学生)651名 (高校生)100名 (成人)6,442名 (高齢者)8,031名 (合計)44,140名 貸室利用者数 46,671名</p>	

平成28年度の事業計画

- 【乳幼児】 「パパと遊ぼう」をはじめ家族間のふれあいを大切にしたい事業の充実を図る。乳幼児タイムやリトミック、育児相談事業を行い乳幼児の健全発達と保護者への子育て支援活動を行う。
- 【小学生】 デイキャンプやおばけ大会、クリスマス会など季節を感じられる行事や児童サークル活動を行い、楽しく潤いある活動を目指す。また、行事实行委員会の活動を通してふれあい館に親しみをもちたせるとともに責任ある行動を体験させる。
- 【中学生】 中学生を対象にクッキングタイム（中学生メイキング）を設ける。多目的室の平日5時から6時までを中学生タイムとし、中学生が占有で使える時間を設ける。
- 【成人】 団塊の世代、子育て世代を中心に趣味や実用に繋がる、各種講座を行う。
- 【高齢者】 合唱、踊り、詩吟、レクダンス等をはじめとする各種事業を行うことで、余暇の時間の充実や健康の維持に貢献する。
- 【世代間交流】 ふれあい館まつり、クリスマス会、フリーマーケット、おばけ大会等、世代を超え全来館者で楽しめるイベントを実施し、交流を図る。
- 【地域交流】 近隣のふれあい館と合同で高齢者演芸大会やカラオケ大会開催する他、地区委員会の事務局として、なかよしまつりや街歩き探検隊等を実施する等、地域を超えた交流を図る。

平成28年度の実績

- 【乳幼児】 0～1歳児を対象としたクラスでは、乳児体操や親子遊び紙芝居等を実施し、合わせて約650組の親子が参加した。音楽とダンスによる情操教育を目的とした「リトミック」は、50回798組の方が参加し大変好評であった。また、カウンセラーによる相談を実施する等、子育て支援事業を行った。
- 【小学生】 子供達の自主性、主体性を育むことを目的に、実行委員会を募り、子供達の意見や要望を取り入れ「巨大迷路大会」（6月）、「クリスマス会」（12月）等を実施した。
- 【中学生】 中学生を中心に「中学生会議」を運営し、自分達が参加したいイベント（映画会、ゲーム大会、クッキング等）を企画した。生徒はポスター等も自ら作成し、近隣高校に掲示依頼する等、地域交流も意識した取組を行った。また、中学生の健全な育成と交流の拠点となるよう努めた。
- 【成人】 芸術に親しむ「大人のアトリエ」や囲碁講座をはじめとする講座などを実施した。子育て中の母親の息抜きと交流の場づくりを目的とした「mama工房」は参加者から大変好評であった。コーラス事業の参加者は1,000人を超えた。
- 【高齢者】 参加者が興味のある講座を定期的に開催する他、社交ダンスやカラオケ、踊り等のサークル活動を支援した。また、ランチタイムに一部洋室を解放し、高齢者の交流の場を提供した。
- 【世代間交流】 新一年生とその保護者を対象にふれあい館の活動を紹介する他、幼児タイム行事内で地域の高齢者と幼児がふれあえる場を設ける等、世代を超えた交流を図った。
- 【地域交流】 南千住地域のふれあい館の利用者を中心に、作品展、踊りや歌の発表、制作、ゲーム等を楽しみながら地域の子供から高齢者までが交流できる文化祭（地域演芸大会）を行った。

施設決算状況

年度		平成26年度	平成27年度	平成28年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	指定管理料	41,248,689	41,575,562	42,086,355	41,643,849
	その他収入	0	0	0	0
	計	41,248,689	41,575,562	42,086,355	41,643,849
支出	運営費	1,504,397	2,665,799	2,901,440	2,825,414
	管理費	7,147,740	4,028,588	4,930,568	5,338,168
		本部経費	4,220,529	1,045,944	1,511,568
	人件費	29,284,026	33,373,335	33,600,000	33,075,523
	修繕費	276,912	635,174	654,347	211,841
	その他支出	0	0	0	0
	計	38,213,075	40,702,896	42,086,355	41,450,946
収支差額		3,035,614	872,666	0	192,903

(各費目内容・改善すべき点等)

基本評価項目

評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
施設の維持管理	20			18
快適に利用できるための施設管理がなされている	5	4	80%	4
安全・安心に過ごすための施設管理がなされている	5	4	80%	4
危機管理・苦情・事故等の管理を徹底している	10	5	100%	10
区民サービス	80			65
利用者の事業に対する満足度が高い	20	4	80%	16
職員の接遇がきちんとなされている	25	3	60%	15
ポスターや館だより等の広報方法を工夫している	5	5	100%	5
幅広い事業展開を行っている	5	4	80%	4
利用者数が増加している	25	5	100%	25
合計(A)	100	-	-	83

その他の評価項目

評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
地域と連携した事業展開を行っている	3	5	100%	3
区民雇用を積極的に行っている	2	3	60%	1.2
施設全体における評価が高い	3	3	60%	1.8
安全に対する積極的な取組を行っている (上級救命講習の受講等)	2	4	80%	1.6
合 計 (B)	10	-	-	7.6

評価内容

「施設の維持管理」については、利用者が安全・安心に過ごせるよう適正に管理されている。「区民サービス」及び「その他の評価項目」については、利用者にわかりやすい事業の広報（ポスター等）を工夫するなど、適切に運営がされている。幅広い世代が館を利用できるよう新規事業を展開しており、来館者が少ない成人世代事業については、「エコクラフト」、「水彩ぬり絵」を実施するなど工夫している。また、乳幼児事業として人気の「リトミック」は、年齢別に分けることで、個々の発達段階に応じた育成に取り組み、利用者のニーズに合わせきめ細やかな対応をしている。

改善すべき点等

合計 (A+B)	90.6
施設の維持管理・区民サービス等の総合評価	A

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	決算書、科目別内訳表、事業報告書等の診査を行った結果、会計処理は適正に行われている。	優良
	予算管理が適正である	予算・決算、前年決算等と比較して収入・支出・収支差は少なく、予算管理は適正である。	
経営	経費の効果的活用が行われている	光熱水費、職員旅費について経費縮減の努力が行われている。	優良
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労働環境は適正である。	優良
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業者の三期の決算書に基づいて財務診断を行った結果、成長性、収益性、安定性、活動性・健全性は良好であり、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している。	良好

総評

サービス内容	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の維持管理については、安全等に配慮した適正な施設管理が行われている。区民サービスについては、利用者のニーズに柔軟に対応した事業を実施している。また、区民の相互交流と自主的活動を促進し、福祉と生活文化を向上させるとともに、地域コミュニティの拠点施設としての役割を果たしている。
財務・労務	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の会計手続きや予算管理が適正に行われており、経費の効果的活用が実施されている。 ・雇用契約条件、実施状況、健康診断などについて法令に準じた運用を行っている。 ・指定管理者である法人は、収益性、成長性、活動性・健全性等が良好であり、安定的な運営を行う財務力を有している。
総合評価	<ul style="list-style-type: none"> ・サービス面は良好、会計面・労務面は優良であり、経費の効果的活用も行われているため、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部	
部	区民生活部
課	区民施設課

平成28年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

施設概要		
施設名	名称	汐入ふれあい館
	所在地	荒川区南千住八丁目2番2号
指定管理者	名称	社会福祉法人雲柱社
	所在地	世田谷区上北沢三丁目8番19号
施設開設年月日		平成17年4月1日
現在の指定管理者による 運営開始年月日		平成17年4月1日
指定期間		平成26年4月1日～平成29年3月31日
業務内容	<p>乳幼児から高齢者まで、あらゆる世代の区民が生き生きと集い、ふれあいと相互交流の輪を広げる場を提供する。遊び・スポーツ・健康づくり・教養娯楽活動等を通じて地域コミュニティの形成を図るとともに、地域住民の自主的かつ主体的な活動を促進する事業を実施する。</p> <p>【主な施設】サロン、親子ふれあいひろば、プレイルーム、多目的室、洋室、和室、創作室、だれでもトイレ（学童クラブ併設）</p> <p>【特徴ある施設】 図書室</p> <p>【総入館者数】 80,927名 (内訳)</p> <p>世代別事業参加者数 (保護者)12,803名 (乳幼児)13,494名 (小学生)33,548名 (中学生)1,947名 (高校生)198名 (成人)884名 (高齢者)4,386名 (合計)67,260名</p> <p>貸室利用者数 13,667名</p>	

平成28年度の事業計画

	<p>すべての事業において現在実施している活動を土台として、さらなる充実を目指す。特に子育て支援の見地から、乳幼児活動と、社会的な見地から高齢者活動について、利用者の意見を取り入れ、内容を深めていくよう努める。</p>
【乳幼児】	<p>保育園・幼稚園の待機児対策の一助として、要望の多い乳幼児年齢別の活動を、できる限り定員を設けずに実施する。</p> <p>利用者の要望に応じた活動（例：父親参加型の活動等）も企画する。地域で子育てをする母親たちが集い、交流し、子育ての情報交換や悩みが相談できる場と活動を提供する。</p>
【小学生】	<p>小学生クラブ（登録制グループ活動）を企画実施する。また、おでかけ等の自然体験野外活動を企画実施するなどし、これらの活動を通して、自立性、協調性等を養い、野外体験の楽しさを知る機会を提供する。</p>
【中学生】	<p>多目的室の夜間開放や、スポーツ大会等を通して中学生の利用促進を図る。</p>
【成人・高齢者】	<p>希望や意見を取り入れ健康増進も兼ね、歩いて行ける「近隣へのお出かけ」等を企画実施するなど、地域の方々の活動の幅を広げる。地域の人々とともに世代間交流を中心に活動を作る。</p>

平成28年度の事業実績

【乳幼児】	<p>年齢別の7クラスについては、保護者の要望に応え、定員を設けず希望者を全員受け入れた。保育園の待機児解消の一助となっている。内容は、乳幼児向けの特別なプログラムや、主に乳幼児の母親向けの各種講座（ネイルアート、ピラティス、エアロビクス等）に力を入れて実施した。父親とふれあう「パパとあそぼう」の実施など、乳幼児が多いという汐入地域の特性に合わせた取組みを行っており、利用者にも好評であった。</p>
【小学生】	<p>手話サークルにおいて、有志の小学生で手話ソングの練習を実施し、汐入町会文化祭、ふれあい館交流フェスタで発表した。また、高学年、低学年別に有志の参加者を募り、ドッジボール大会へ参加した。小学生クラブ（名称ソルティークラブ）では、子どもたちの希望で活動内容を決定し、制作活動、各種スポーツ、クッキング等を実施した。</p>
【中学生】	<p>中学生スポーツタイムという、中学生専用の時間帯を設定し、利用促進を図った。</p>
【成人・高齢者】	<p>日常的に、老人会との連携を図った。新しい住民の問合せに対し老人会の案内をする他、老人会系の輪投げサークル及び荒高連の大会に備えた練習に協力する等、地域連携を図った。また、健康増進事業の健康体操（腰痛予防の軽度のストレッチ等）や成人高齢者スポーツタイムでは、利用者の意見により内容見直しを図り、継続実施をした。</p>
【その他】	<p>老人会の輪投げサークルの方々と協力して、子どもと交流わなげ大会を実施する等、世代間交流を図った。また、親子のスポーツタイムを継続実施し、親子間のふれあいが促進するよう努めた。</p>

施設決算状況

年度		平成26年度	平成27年度	平成28年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	指定管理料	42,505,552	41,957,610	43,085,721	42,884,859
	その他収入	0	0	0	0
	計	42,505,552	41,957,610	43,085,721	42,884,859
支出	運営費	1,574,070	1,607,991	2,901,440	2,233,416
	管理費	5,212,951	7,009,550	5,520,636	6,505,253
	本部経費	1,100,000	1,740,186	1,750,396	1,750,396
	人件費	31,181,905	30,656,567	33,473,827	34,284,151
	修繕費	1,197,065	575,554	1,189,818	988,956
	その他支出	0	0	0	0
	計	39,165,991	39,849,662	43,085,721	44,011,776
収支差額		3,339,561	2,107,948	0	-1,126,917

(各費目内容・改善すべき点等)

<収支差額がマイナスの理由>

乳幼児や児童の利用が多いため、非常勤職員を手厚く配置したため。

基本評価項目

評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
施設の維持管理	20			16
快適に利用できるための施設管理がなされている	5	3	60%	3
安全・安心に過ごすための施設管理がなされている	5	3	60%	3
危機管理・苦情・事故等の管理を徹底している	10	5	100%	10
区民サービス	80			71
利用者の事業に対する満足度が高い	20	4	80%	16
職員の接遇がきちとなされている	25	5	100%	25
ポスターや館だより等の広報方法を工夫している	5	5	100%	5
幅広い事業展開を行っている	5	5	100%	5
利用者数が増加している	25	4	80%	20
合計(A)	100	-	-	87

その他の評価項目					
評価項目		配点	評価		得点 (配点×乗率)
			レベル	乗率	
地域と連携した事業展開を行っている		3	5	100%	3
区民雇用を積極的に行っている		2	3	60%	1.2
施設全体における評価が高い		3	4	80%	2.4
安全に対する積極的な取組を行っている (上級救命講習の受講等)		2	4	80%	1.6
合 計 (B)		10	-	-	8.2
評価内容					
<p>「施設維持管理」については、危機管理等徹底し、適正に管理されている。「区民サービス」及び「その他の評価項目」については、職員の接遇に対する意識は高く、適切に運営がされている。乳幼児活動では定員を設けず希望者全員を受入れ、転入してきた高齢者には老人会を案内するなど、利用者の要望や地域の特性に配慮した館運営をしている。また、「パパとあそぼう」「おはなし会」「交流わなげ大会」等、世代間や地域間交流を図った幅広い事業を展開するなど、多くの区民に利用してもらうための創意工夫をしている。</p>					
改善すべき点等					
合計 (A+B)				95.2	
施設の維持管理・区民サービス等の総合評価				A	
財務・労務評価表					
評価項目		評価内容		評価	
会計	会計手続が適正である	決算書、科目別内訳表、事業報告書等の診査を行った結果、会計処理は適正に行われている。		良好	
	予算管理が適正である	予算・決算、前年決算等と比較して収入・支出・収支差があるが、綿密な原因分析が行われている。			
経営	経費の効果的活用が行われている	消耗品費、役務費、委託料が増加しているが、運営費の経費縮減の努力が行われている。		良好	
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労働環境は適正である。		優良	
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業者の三期の決算書に基づいて財務診断を行った結果、成長性、収益性、安定性、活動性・健全性は良好であり、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している。		良好	

総評

サービス内容	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の維持管理については、安全等に配慮した適正な施設管理が行われている。区民サービスについては、利用者のニーズに柔軟に対応した事業を実施している。また、区民の相互交流と自主的活動を促進し、福祉と生活文化を向上させるとともに、地域コミュニティの拠点施設としての役割を果たしている。
財務・労務	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の会計手続きは適正に行われている。経費は効果的な活用されている一方一部予算との乖離が見られる。 ・雇用契約条件、実施状況、健康診断などについて法令に準じた運用を行っている。 ・指定管理者である法人は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等が良好であり、安定的運営を行う財務力を有している。
総合評価	<ul style="list-style-type: none"> ・サービス面、会計面は良好、労務面は優良であり、経費の効果的活用も行われているため、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部	
部	区民生活部
課	区民施設課

平成28年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

施設概要		
施設名	名称	峡田ふれあい館
	所在地	荒川区荒川三丁目3番10号
指定管理者	名称	特定非営利活動法人ワーカーズコープ
	所在地	豊島区東池袋一丁目44番3号 池袋 I S P タマビル
施設開設年月日		平成23年4月1日
現在の指定管理者による 運営開始年月日		平成23年4月1日
指定期間		平成26年4月1日～平成29年3月31日
業務内容	<p>乳幼児から高齢者まで、あらゆる世代の区民が生き生きと集い、ふれあいと相互交流の輪を広げる場を提供する。遊び・スポーツ・健康づくり・教養娯楽活動等を通じて地域コミュニティの形成を図るとともに、地域住民の自主的かつ主体的な活動を促進する事業を実施する。</p> <p>【主な施設】 サロン、親子ふれあいひろば、プレイルーム、多目的室、洋室、和室、創作室、授乳室、相談室、だれでもトイレ（学童クラブ併設）</p> <p>【特徴ある施設】 音楽室、調理・会議室</p> <p>【総入館者数】 <u>93,157名</u> (内訳)</p> <p>世代別事業参加者数 (保護者)6,144名 (乳幼児)6,432名 (小学生)9,554名 (中学生)2,677名 (高校生)1,195名 (成人)6,140名 (高齢者)17,068名 (合計)49,210名</p> <p>貸室利用者数 43,947名</p>	
平成28年度の事業計画		
<p>【乳幼児】 子ども連れで参加できる母親向けの事業を利用者の意見を取り入れながら充実させていく。</p> <p>【小学生】 子どもを取り巻く環境の変化に応じて、遊び、学び、体験、運動、創作活動を通して子どもたちの生きる意欲を育み成長できるような取り組みを実施する。</p> <p>【中高生】 「人と交わる力」、「自分を表現する力」、「生きる力」を高められるような活動を中高生自身が目的意識をもって出来るよう、職員がサポートする。</p> <p>【成人】 母親向けの事業を充実させ、子育て中の孤立化を防ぐ。</p> <p>【高齢者】 介護予防事業に重点を置き、更なる充実を図っていく。</p> <p>【世代間交流】 乳幼児から高齢者までの多世代の交流を通じて、利用者自身が気づき、視野を広くして地域の支え合いを広げる事業を目指す。</p> <p>【地域交流】 ふれあい館での出会い・学びをコミュニティ力向上のきっかけに、地域活動の担い手を養成し、町会、商店街、地区委員会、学校、民生委員、社会福祉協議会等の方々と連携しながら、情報の受発信基地となって、地域活動を活発にする。</p>		
平成28年度の事業実績		
<p>【乳幼児】 乳幼児タイムの0歳児はキャンセル待ちが出るほど人気であった。また2歳児は、定期的に保護者同士が悩み事等を共有できる機会を設けたことで、サークルの様な関係性ができ高い出席率に繋がった。</p> <p>【小学生】 小学生事業ではドッジボールを目的にふれあい館に遊びに来る低学年児童が増えた。また、交流ドッジボール大会で優勝する等、子供達の励みになる成果があった。</p> <p>【中高生】 利用者から要望のあった中高生向けダンスクラスを設けたところ、様々な学区から参加があった。また、地域行事で発表する機会をつくり、中高生の活躍の場を広げた。</p> <p>【成人】 乳幼児の母親向けに、元保育士職員による「オリジナルさらしづくり」を実施し好評を得た。また、育児のリフレッシュの場を提供することができた。</p> <p>【高齢者】 毎月の映画会では、昔の映画を大画面で見られる事が大変好評であった。新春カラオケ演芸会では、利用者ボランティアが企画から運営に携わり、利用者の主体性を発揮できた。</p> <p>【世代間交流】 ちびっこフラダンスは、世代間交流を目的に小学校低学年と幼児の混合クラスとした。また、ふれあい館祭り（7月）や館交流フェスタ（3月）での発表も行い、大変人気のある事業であった。クリスマス会等では、大学生のブラスバンドサークルが演奏したうえ、ボランティアとしての協力も得て、児童、中高生と普段接点のない世代間交流ができた。</p> <p>【地域交流】 高齢者遠足は、他地区のひろば館・ふれあい館と合同で行い、地域を超えて交流を行うことができた。また、地域の方々にも月一度中高生がビーチボールバレーを教わり、チームを組んで大会出場を果たす等、世代間交流も図ることができた。</p>		

施設決算状況

年度		平成26年度	平成27年度	平成28年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	指定管理料	48,531,692	49,157,103	50,200,523	50,176,903
	その他収入	0	0	0	0
	計	48,531,692	49,157,103	50,200,523	50,176,903
支出	運営費	2,480,906	2,710,401	2,651,440	3,868,647
	管理費	15,563,074	16,242,764	16,081,556	15,572,842
		本部経費	4,900,000	5,000,000	5,000,000
	人件費	27,769,468	28,630,159	30,351,919	27,691,818
	修繕費	474,288	471,689	1,115,608	1,091,988
	その他支出	0	0	0	0
	計	46,287,736	48,055,013	50,200,523	48,225,295
収支差額		2,243,956	1,102,090	0	1,951,608

(各費目内容・改善すべき点等)

基本評価項目

評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
施設の維持管理	20			20
快適に利用できるための施設管理がなされている	5	5	100%	5
安全・安心に過ごすための施設管理がなされている	5	5	100%	5
危機管理・苦情・事故等の管理を徹底している	10	5	100%	10
区民サービス	80			74
利用者の事業に対する満足度が高い	20	5	100%	20
職員の接遇がきちんとなされている	25	5	100%	25
ポスターや館だより等の広報方法を工夫している	5	5	100%	5
幅広い事業展開を行っている	5	4	80%	4
利用者数が増加している	25	4	80%	20
合計(A)	100	-	-	94

その他の評価項目

評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
地域と連携した事業展開を行っている	3	5	100%	3
区民雇用を積極的に行っている	2	4	80%	1.6
施設全体における評価が高い	3	5	100%	3
安全に対する積極的な取組を行っている (上級救命講習の受講等)	2	4	80%	1.6
合 計 (B)	10	-	-	9.2

評価内容

「施設維持管理」については、利用者が安全・安心に過ごせるよう適正に管理されている。「区民サービス」及び「その他の評価項目」については、利用者の事業に対する満足度も高く、適切に運営がされている。職員の接遇に対する意識は高く、利用者からの評価も高い。要望のあった中高生向けダンスサークルを設ける等、利用者のニーズに合せた事業を実施している。また、町会の防災訓練へ参加し、おまつり等地域行事にも職員と子供たちがボランティアとして企画・運営に関わる等、子供たちの社会性を育む事業を展開するとともに、地域の拠点施設として活動している。

改善すべき点等

合計 (A+B)	103.2
施設の維持管理・区民サービス等の総合評価	S

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	決算書、科目別内訳表、事業報告書等の審査を行った結果、会計処理は適正に行われている。	優良
	予算管理が適正である	予算・決算、前年決算等と比較して収入・支出・収支差は少なく、予算管理は適正である。	
経営	経費の効果的活用が行われている	賃借料が増加しているが、光熱水費について経費縮減の努力が行われている。	良好
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労働環境は適正である。	優良
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業者の三期の決算書に基づいて財務診断を行った結果、成長性、収益性、安定性、活動性・健全性は良好であり、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している。	良好

総評

サービス内容	<p>・施設の維持管理については、安全等に配慮した適正な施設管理が行われている。区民サービスについては、利用者のニーズに柔軟に対応しており、満足を得られる内容の事業を実施している。また、区民の相互交流と自主的活動を促進し、福祉と生活文化を向上させるとともに、地域コミュニティの拠点施設としての役割を十分に果たしている。</p>
財務・労務	<p>・施設の会計手続きや予算管理が適正に行われており、経費の効果的活用が実施されている。</p> <p>・雇用契約条件、実施状況、健康診断などについて法令に準じた運用を行っている。</p> <p>・指定管理者である法人は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等が良好であり、安定的運営を行う財務力を有している。</p>
総合評価	<p>・サービス面、会計面、労務面は優良であり、経費の効果的活用も行われているため、指定管理業務は適正であったと評価できる。</p>

担当所管部	
部	区民生活部
課	区民施設課

平成28年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

施設概要		
施設名	名称	荒川山吹ふれあい館
	所在地	荒川区荒川七丁目6番8号
指定管理者	名称	特定非営利活動法人荒川区高年者クラブ連合会
	所在地	荒川区荒川一丁目34番6号
施設開設年月日		平成18年2月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成18年2月1日
指定期間		平成27年4月1日～平成30年3月31日
業務内容	<p>乳幼児から高齢者まで、あらゆる世代の区民が生き生きと集い、ふれあいと相互交流の輪を広げる場を提供する。遊び・スポーツ・健康づくり・教養娯楽活動等を通じて地域コミュニティの形成を図るとともに、地域住民の自主的かつ主体的な活動を促進する事業を実施する。</p> <p>【主な施設】 サロン、プレイルーム（親子ふれあいひろば）、多目的室、洋室、和室、創作室、相談室、授乳室、だれでもトイレ</p> <p>【特徴ある施設】 茶室、調理・会議室、屋上庭園</p> <p>【総入館者数】 73,288名 (内訳) 世代別事業参加者数 (保護者)6,567名 (乳幼児)7,810名 (小学生)8,094名 (中学生)962名 (高校生)105名 (成人)1,917名 (高齢者)11,540名 (合計)36,995名 貸室利用者数 36,293名</p>	

平成28年度の事業計画

- 【乳幼児】 乳幼児とその保護者を対象に「幼児タイム」「親子ふれあいひろば」等を年間通して実施するほか、子育てを支援する事業を幅広く開催する。また、「パパとあそぼう」「じいじとばあばとあそぼう」を各6回実施、パパとの触れ合い、高齢者とのふれあいの場を提供する。
- 【小学生】 健全な遊び場の提供のほか、サークル活動の充実、種々の行事、月ごとに楽しめるあそび等を提供する。
- 【中高生】 時間が許す範囲での多目的室の延長開放を図るとともに「ミニテニス」を通して高齢者と一緒に楽しむ場を提供する。
- 【成人】 子育て世代や勤労世代の女性が参加しやすい日時に事業を開催し、利用の拡大を図る。
- 【高齢者】 レクリエーション事業の開催のほか、健康促進事業の開催を通して一層の健康促進を図る。

平成28年度の事業実績

- 【乳幼児】 日常活動にリズムあそびや体操あそびを取り入れ工夫を凝らす他、季節行事を多く実施すること等で参加者が増加した。
- 【小学生】 6月からの「すいきんドッジボール」の実施で12月の「交流ドッジボール大会」に参加ができた。さらに「ドッチビー」の週2回の活動などで多目的室を利用する小学生が増加した。「子ども会議」の企画運営で「びっくりおばけハウス」「子どもクリスマス会」「春まつり」の館行事を実施できた。子どもたちの自主性や主体性を育むことができた。
- 【中高生】 月2回、多目的室を夜間解放し、ミニテニスクラブを開催する等、中学生の利用促進の工夫を図った。
- 【高齢者】 新たに事業を開始した「やまぎき俳句会」は好評で、来年度も継続して実施する予定である。
- 【その他】 近隣に複合施設「ゆいの森あらかわ」開設が予定される中、読み聞かせや貸し出しの実施を継続し、読書の推進活動を行った結果、本の貸出件数や本の寄贈の増加に繋がった。

施設決算状況

年度		平成26年度	平成27年度	平成28年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	指定管理料	46,167,166	46,607,643	47,106,962	47,092,106
	その他収入	321,210	336,158	0	6,466
	計	46,488,376	46,943,801	47,106,962	47,098,572
支出	運営費	3,684,294	3,068,903	2,901,440	3,166,297
	管理費	10,029,633	9,529,534	8,052,459	9,879,969
		本部経費	2,332,336	2,744,942	0
	人件費	28,936,821	26,412,030	35,007,933	29,584,455
	修繕費	753,900	966,816	1,145,130	1,130,274
	その他支出	0	0	0	0
	計	43,404,648	39,977,283	47,106,962	43,760,995
収支差額		3,083,728	6,966,518	0	3,337,577

(各費目内容・改善すべき点等)

基本評価項目

評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
施設の維持管理	20			17
快適に利用できるための施設管理がなされている	5	3	60%	3
安全・安心に過ごすための施設管理がなされている	5	4	80%	4
危機管理・苦情・事故等の管理を徹底している	10	5	100%	10
区民サービス	80			64
利用者の事業に対する満足度が高い	20	4	80%	16
職員の接遇がきちんとなされている	25	3	60%	15
ポスターや館だより等の広報方法を工夫している	5	4	80%	4
幅広い事業展開を行っている	5	4	80%	4
利用者数が増加している	25	5	100%	25
合計(A)	100	-	-	81

その他の評価項目

評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
地域と連携した事業展開を行っている	3	5	100%	3
区民雇用を積極的に行っている	2	5	100%	2
施設全体における評価が高い	3	3	60%	1.8
安全に対する積極的な取組を行っている (上級救命講習の受講等)	2	5	100%	2
合 計 (B)	10	-	-	8.8

評価内容

「施設維持管理」については、危機管理等を徹底し適正に管理されている。「区民サービス」及び「その他の評価項目」については、利用者の事業に対する満足度は高く、適切に運営がされている。また、町会の餅つき大会への参加を通しての地域交流や、街なか花壇事業に協力する等、地域でのボランティア活動を実施している。また、新たにハロウィンパレードを開催する等、地域コミュニティを形成する施設として積極的な事業展開をしている。

改善すべき点等

合計 (A+B) 89.8

施設の維持管理・区民サービス等の総合評価

A

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	決算書、科目別内訳表、事業報告書等の審査を行った結果、会計処理は適正に行われている。	優良
	予算管理が適正である	予算・決算、前年決算等と比較して収入・支出・収支差は少なく、予算管理は適正である。	
経営	経費の効果的活用が行われている	職員旅費、光熱水費、複合機賃借料について経費縮減の努力が行われている。	優良
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労働環境は適正である。	優良
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業者の三期の決算書に基づいて財務診断を行った結果、成長性、収益性、活動性・健全性は良好であるが、自己資本比率がマイナスであり改善の必要性が見受けられる。	良好

総評

サービス内容	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の維持管理については、安全等に配慮した適正な施設管理が行われている。区民サービスについては、利用者のニーズに柔軟に対応した事業を実施している。また、区民の相互交流と自主的活動を促進し、福祉と生活文化を向上させるとともに、地域コミュニティの拠点施設としての役割を果たしている。
財務・労務	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の会計手続きや予算管理が適正に行われており、経費の効果的活用が実施されている。 ・雇用契約条件、実施状況、健康診断などについて法令に準じた運用を行っている。 ・指定管理者である法人は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等について良好であるが一部改善の必要が見受けられる。
総合評価	<ul style="list-style-type: none"> ・サービス面は良好、会計面、労務面は優良であり、経費の効果的活用も行われているため、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部	
部	区民生活部
課	区民施設課

平成28年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

施設概要		
施設名	名称	町屋ふれあい館
	所在地	荒川区町屋一丁目35番8号
指定管理者	名称	社会福祉法人雲柱社
	所在地	世田谷区上北沢三丁目8番19号
施設開設年月日		平成24年4月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成24年4月1日
指定期間		平成27年4月1日～平成30年3月31日
業務内容	<p>乳幼児から高齢者まで、あらゆる世代の区民が生き生きと集い、ふれあいと相互交流の輪を広げる場を提供する。遊び・スポーツ・健康づくり・教養娯楽活動等を通じて地域コミュニティの形成を図るとともに、地域住民の自主的かつ主体的な活動を促進する事業を実施する。</p> <p>【主な施設】 サロン、親子ふれあいひろば、プレイルーム、多目的室、洋室、和室、創作室、授乳室、相談室、だれでもトイレ</p> <p>【特徴ある施設】 音楽室、窯室</p> <p>【総入館者数】 99,146名 (内訳)</p> <p>世代別事業参加者数 (保護者)11,712名 (乳幼児)13,339名 (小学生)19,440名 (中学生)3,922名 (高校生)525名 (成人)3,965名 (高齢者)8,608名 (合計)61,511名</p> <p>貸室利用者数 37,635名</p>	

平成28年度の事業計画

- 【乳幼児】 多目的室を使用するクラスに関しては、定員の幅を広げ、より多くの方が参加できるように展開する。
- 【小学生】 昨年度は、1、2年生の組織活動を行い大変充実したので、今年度は、1年生の組織活動に加え、新たに2・3年生のクラスを増やし展開していく。
- 【中学生】 多目的室だけでなく、中学生が気軽に立ち寄れるふれあい館にしていくため、子どもたちとしっかり関わり信頼関係を築いていく。また、サロンを使いやすいように本・ゲーム類などを充実させる。
- 【成人】 小学生のお母さんのリフレッシュタイムとして、ストレッチの講座を開くなどニーズを探りながら、実行していく。
- 【高齢者】 高齢者と職員のコミュニケーションを多くとる事により、居心地のよいふれあい館を目指す。また、利用者同士が繋がりをもてるようコーディネートをしていく。
- 【世代間交流】 夏祭りなどのイベント時にボランティアを通して各世代が交流できるような場を設ける。また、町屋の森発表会では、全世代のサークルの発表を促し、より良い交流ができるように展開していく。さらに、普段から自然に世代間交流ができるよう1Fサロンの遊具を充実していく。
- 【地域交流】 町会の行事や町屋こどもまつり、そのほか発表会等に積極的に参加をし、地域の方々との交流の場を大切にする。

平成28年度の事業実績

- 【乳幼児】 年齢別活動の定員を45組増やした他、親子ふれあいひろばやブーブータイム等の内容を充実させ、親子がふれあう時間が増すよう工夫した。乳幼児の取組が地域に浸透してきた結果、土・日曜日に家族で利用される姿が多くなった。
- 【小学生】 組織活動の学年の幅を広げたことや1Fサロンの遊具や本を充実させたことで昨年度より来館者数が5,900人増加した。来年度は、更に学年の幅を広げ小学生の居場所を確保していく。
- 【中学生】 中学生対象のイベントを数回開催することができた。学校・学年関係なく全員で同じスポーツをすることを通して、まとまりのある中・高生タイムを実施できた。来年度は、定期的にイベントを開催し、中・高生向けのプログラムを充実させていく。
- 【成人】 小学生の保護者を対象にした講座や陶芸教室の回数を増やしたことにより、成人利用が年間2,700人増加した。
- 【高齢者】 映画会、手芸タイム、お食事会等の事業を利用者からの要望により開催した結果、好評を得た。来年度は、定期的な開催を検討していく。
- 【世代間交流】 例年の夏まつり、町屋の森発表会、町屋の森美術館に加え、今年度は高齢者クリスマス会に小学生の参加を促す等、新たな交流の場を設け世代間交流を図った。
- 【地域交流】 町会主催イベントに参加する等、積極的に地域との交流を図った。

施設決算状況

年度		平成26年度	平成27年度	平成28年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	指定管理料	47,782,634	47,999,738	48,112,954	48,095,290
	その他収入	0	0	0	0
	計	47,782,634	47,999,738	48,112,954	48,095,290
支出	運営費	3,770,599	2,850,520	3,621,440	3,753,859
	管理費	10,870,382	10,946,913	10,474,535	10,812,678
	本部経費	1,300,000	1,740,186	1,750,396	1,750,396
	人件費	29,664,156	32,759,849	33,608,571	30,218,446
	修繕費	138,024	335,035	408,408	390,744
	その他支出	0	0	0	0
	計	44,443,161	46,892,317	48,112,954	45,175,727
収支差額		3,339,473	1,107,421	0	2,919,563

(各費目内容・改善すべき点等)

基本評価項目

評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
施設の維持管理	20			19
快適に利用できるための施設管理がなされている	5	4	80%	4
安全・安心に過ごすための施設管理がなされている	5	5	100%	5
危機管理・苦情・事故等の管理を徹底している	10	5	100%	10
区民サービス	80			72
利用者の事業に対する満足度が高い	20	4	80%	16
職員の接遇がきちとなされている	25	5	100%	25
ポスターや館だより等の広報方法を工夫している	5	3	60%	3
幅広い事業展開を行っている	5	3	60%	3
利用者数が増加している	25	5	100%	25
合計(A)	100	-	-	91

その他の評価項目				
評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
地域と連携した事業展開を行っている	3	5	100%	3
区民雇用を積極的に行っている	2	5	100%	2
施設全体における評価が高い	3	5	100%	3
安全に対する積極的な取組を行っている (上級救命講習の受講等)	2	5	100%	2
合 計 (B)	10	-	-	10
評価内容				
<p>「施設維持管理」については、利用者が安全・安心に過ごせるよう適正に管理されている。「区民サービス」及び「その他の評価項目」については、職員の接遇に対する意識は高く、適切に運営されている。事業では館の「夏まつり」「町屋の森発表会」等において、子供から高齢者までがボランティア活動やダンス等を通して世代間交流を図ったり、地域の祭りや行事へ参加する他、町会の防災訓練にも参加するなど積極的な地域交流を図っている。また、全ふれあい館の中で先駆けて災害時の二次避難所としての開設マニュアルを策定するなど、防災に対する意識も高い。</p>				
改善すべき点等				
合計 (A+B)				101.0
施設の維持管理・区民サービス等の総合評価				S

財務・労務評価表				
評価項目		評価内容		評価
会計	会計手続が適正である	決算書、科目別内訳表、事業報告書等の審査を行った結果、会計処理は適正に行われている。		優良
	予算管理が適正である	予算・決算、前年決算等と比較して収入・支出・収支差は少なく、予算管理は適正である。		
経営	経費の効果的活用が行われている	光熱水費について経費縮減の努力が行われている。		優良
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労働環境は適正である。		優良
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業者の三期の決算書に基づいて財務診断を行った結果、成長性、収益性、安定性、活動性・健全性は良好であり、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している。		良好

総評

サービス内容	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の維持管理については、安全等に配慮した適正な施設管理が行われている。区民サービスについては、利用者のニーズに柔軟に対応しており、満足を得られる内容の事業を実施している。また、区民の相互交流と自主的活動を促進し、福祉と生活文化を向上させるとともに、地域コミュニティの拠点施設としての役割を十分に果たしている。
財務・労務	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の会計手続きや予算管理が適正に行われており、経費の効果的活用が実施されている。 ・雇用契約条件、実施状況、健康診断などについて法令に準じた運用を行っている。 ・指定管理者である法人は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等が良好であり、安定的運営を行う財務力を有している。
総合評価	<ul style="list-style-type: none"> ・サービス面、会計面、労務面は優良であり、経費の効果的活用も行われているため、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部	
部	区民生活部
課	区民施設課

平成28年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

施設概要		
施設名	名称	荒木田ふれあい館
	所在地	荒川区町屋六丁目13番2号
指定管理者	名称	株式会社大起エンゼルヘルプ
	所在地	荒川区町屋五丁目10番9号
施設開設年月日		平成16年10月26日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成16年10月26日
指定期間		平成28年4月1日～平成33年3月31日
業務内容	<p>乳幼児から高齢者まで、あらゆる世代の区民が生き生きと集い、ふれあいと相互交流の輪を広げる場を提供する。遊び・スポーツ・健康づくり・教養娯楽活動等を通じて地域コミュニティの形成を図るとともに、地域住民の自主的かつ主体的な活動を促進する事業を実施する。</p> <p>【主な施設】 サロン、親子ふれあいひろば、プレイルーム、多目的室、洋室、和室、創作室、相談室、だれでもトイレ</p> <p>【特徴ある施設】 音楽室、調理・会議室</p> <p>【総入館者数】 84,713名 (内訳) 世代別事業参加者数 (保護者)6,338名 (乳幼児)9,009名 (小学生)16,012名 (中学生)3,087名 (高校生)438名 (成人)8,928名 (高齢者)5,616名 (合計)49,428名 貸室利用者数 35,285名</p>	
平成28年度の事業計画		
【乳幼児】	新たな友達作りと仲間同士の交流、親同士の情報交換の場を提供することで、ふれあい館の来館を促進し、子育ての孤立化を防止するとともに、子どもの知育・体力向上の取組を実施して、子育てを支援する。	
【小学生・中学生】	児童に健全な遊び場を提供し、健康増進と情操を豊かにすることを目的として、ルールを守って遊ぶ楽しさを知ってもらい、学年・学校を超えた仲間作りができる環境を提供する。	
【高齢者】	趣味・生きがい活動の場として、ふれあい館の利用促進を図るために、高齢者に魅力を感じてもらえるような事業や講座を実施する。また、定期的な発表の場を設け、利用者のやりがいと地域交流に繋げる。	
【その他】	乳幼児・児童・中学生・成人・高齢者まで、あらゆる世代の区民が生き生きと集い、ふれあいと相互交流の輪を広げる事業を行う。地域住民の自主的かつ主体的な活動（サークル活動支援）を促進する。	
平成28年度の事業実績		
【乳幼児】	2・3歳児クラスは、各々25組程度の登録があり、毎月、季節に応じた事業を実施した。他の親子との交流を通し、子供達は、生活体験を広げることができた。また、母親同士の交流も図った。夏季には、年齢制限無の「にこにこひろば」を実施した。その他、育児相談会やパパと遊ぼう等、乳幼児の活動を継続的に支援した。	
【小学生】	「荒木田クリスマス会」「荒木田ふれあいまつり」では、実行委員会を募り、企画から運営まで子供達の自主性を重んじる事業内容とした。当日はボランティアとして司会やゲームコーナー等で大活躍した。ふれあい館・ひろば館の交流事業「ドッジボール大会」「交流フェスタ」に参加する等、他の館の子供達と交流を図ることができた。	
【中学生】	近隣中学校の生徒受入れ、5日間の「勤労留学」を実施し、先生、生徒から好評であった。「中学生タイム」では、団体利用のない日に多目的室を17時～20時まで開放し、スポーツを楽しむ場を提供する他、ダンス教室を開催するなど中学生の利用促進を図った。	
【世代間交流】	社交ダンスパーティは、高齢者を中心に年々参加者が増加している。また、ボランティアによるオーケストラの演奏会等は幅広い世代に対して文化に触れる機会を提供することができた。	
【地域交流】	地域交流では、近隣の老人ホームと合同でハロウィンパーティを開催した。仮装姿で施設へ出向き、子供達がダンス発表や自作の名刺プレゼント等のふれあいを通して世代間交流を図ることができた。	

施設決算状況

年度		平成26年度	平成27年度	平成28年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	指定管理料	46,650,454	47,301,126	47,787,623	47,783,489
	その他収入	0	0	0	0
	計	46,650,454	47,301,126	47,787,623	47,783,489
支出	運営費	3,296,055	3,081,278	3,051,440	2,959,169
	管理費	12,340,691	11,359,893	12,264,060	11,895,218
		本部経費	4,228,215	4,215,258	4,200,000
	人件費	31,459,462	29,264,075	31,340,958	30,290,684
	修繕費	736,719	1,176,120	1,131,165	1,127,031
	その他支出	0	0	0	0
	計	47,832,927	44,881,366	47,787,623	46,272,102
収支差額		-1,182,473	2,419,760	0	1,511,387

(各費目内容・改善すべき点等)

基本評価項目

評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
施設の維持管理	20			18
快適に利用できるための施設管理がなされている	5	4	80%	4
安全・安心に過ごすための施設管理がなされている	5	4	80%	4
危機管理・苦情・事故等の管理を徹底している	10	5	100%	10
区民サービス	80			64
利用者の事業に対する満足度が高い	20	4	80%	16
職員の接遇がきちんとなされている	25	3	60%	15
ポスターや館だより等の広報方法を工夫している	5	3	60%	3
幅広い事業展開を行っている	5	5	100%	5
利用者数が増加している	25	5	100%	25
合計(A)	100	-	-	82

その他の評価項目

評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
地域と連携した事業展開を行っている	3	5	100%	3
区民雇用を積極的に行っている	2	4	80%	1.6
施設全体における評価が高い	3	3	60%	1.8
安全に対する積極的な取組を行っている (上級救命講習の受講等)	2	4	80%	1.6
合 計 (B)	10	-	-	8

評価内容

「施設維持管理」については、利用者が安全・安心に過ごせるよう適正に管理されている。「区民サービス」及び「その他の評価項目」については、利用者の事業に対する満足度は高く、安定した運営がされている。地域への取組では、「荒木田ふれあい祭り」等の企画・運営を担当し地域団体と連携して事業を実施している。また、近隣の有料老人ホームと合同ハロウィーンパーティを開催し、ふれあい遊び等を通して世代間交流を図っている。また、「荒木田クリスマス会」では、子供たちがボランティアや司会を務め、自主性を育む事業を展開するなど子育て支援も積極的に取り組んでいる。

改善すべき点等

--

合計 (A+B)	90.0
施設の維持管理・区民サービス等の総合評価	A

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	決算書、科目別内訳表、事業報告書等の審査を行った結果、会計処理は適正に行われている。	優良
	予算管理が適正である	予算・決算、前年決算等と比較して収入・支出・収支差は少なく、予算管理は適正である。	
経営	経費の効果的活用が行われている	水道光熱費、保険料について経費縮減の努力が行われている。	優良
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労働環境は適正である。	優良
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業者の三期の決算書に基づいて財務診断を行った結果、成長性、収益性、安定性、活動性・健全性は良好であり、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している。	良好

総評

サービス内容	<p>・施設の維持管理については、安全等に配慮した適正な施設管理が行われている。区民サービスについては、利用者のニーズに柔軟に対応した事業を実施している。また、区民の相互交流と自主的活動を促進し、福祉と生活文化を向上させるとともに、地域コミュニティの拠点施設としての役割を果たしている。</p>
財務・労務	<p>・施設の会計手続きや予算管理が適正に行われており、経費の効果的活用が実施されている。</p> <p>・雇用契約条件、実施状況、健康診断などについて法令に準じた運用を行っている。</p> <p>・指定管理者である法人は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等が良好であり、安易的な運営を行う財務力を有している。</p>
総合評価	<p>・サービス面は良好、会計面、労務面は優良であり、経費の効果的活用も行われているため、指定管理業務は適正であったと評価できる。</p>

担当所管部	
部	区民生活部
課	区民施設課

平成28年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

施設概要		
施設名	名称	尾久ふれあい館
	所在地	荒川区西尾久二丁目25番13号
指定管理者	名称	特定非営利活動法人ワーカーズコープ
	所在地	豊島区東池袋一丁目44番3号 池袋 I S P タマビル
施設開設年月日		平成24年4月1日
現在の指定管理者による 運営開始年月日		平成24年4月1日
指定期間		平成27年4月1日～平成30年3月31日
業務内容	<p>乳幼児から高齢者まで、あらゆる世代の区民が生き生きと集い、ふれあいと相互交流の輪を広げる場を提供する。遊び・スポーツ・健康づくり・教養娯楽活動等を通じて地域コミュニティの形成を図るとともに、地域住民の自主的かつ主体的な活動を促進する事業を実施する。</p> <p>【主な施設】 サロン、親子ふれあいひろば、プレイルーム、多目的室、洋室、和室、創作室、授乳室、相談室、だれでもトイレ（学童クラブ室併設）</p> <p>【特徴ある施設】 調理実習室、レクホール</p> <p>【総入館者数】 <u>101,002名</u> (内訳)</p> <p style="margin-left: 20px;">世代別事業参加者数 (保護者)7,567名 (乳幼児)8,225名 (小学生)9,060名 (中学生)1,755名 (高校生)251名 (成人)3,752名 (高齢者)15,223名 (合計)45,833名</p> <p style="margin-left: 20px;">貸室利用者数 <u>55,169名</u></p>	
平成28年度の事業計画		
<p>【乳幼児】</p> <p>【小学生】</p> <p>【中高生】</p> <p>【成人】</p> <p>【高齢者】</p> <p>【世代間交流】</p> <p>【地域交流】</p>	<p>プレママが参加できる企画の実施や、子どもの年齢が異なる母親同士が交流できる機会を作るなど、先輩ママの経験を聞き参加者同士が気軽に話ができる場を提供することで、母親が仲間を作って育児への不安を和らげる助けとなることを目指す。</p> <p>地域商店街への訪問や、地域の職人の仕事を知り、また、職人を招き実際の体験を通じて自分達の地域に触れ、地域への愛着を育てる事業を行う。</p> <p>館内だけでなく地域にも出て活躍できるボランティア育成を目指す。</p> <p>情報交換やスポーツなどを通して子育て世代の父親同士のつながりを作る「パパサークル」を作り、父親の育児参加を促すことで母親の育児支援につなげる。</p> <p>利用者からのニーズの高いフラワーアレンジメントや料理などの事業も単発で行っていく。また、専門的な技術や知識のある高齢者のをボランティア講師として活躍できる場を作る。</p> <p>館まつりなどのイベントの他、日常の事業の中で高齢者の方が講師となって児童に関わる事業を行っていく。引き続き近隣町会や商店街等のイベントの協賛を行う。また、館まつりでは、協力を得られる店舗数が昨年の2店舗より多くなるよう努力する。</p>	
平成28年度の事業実績		
<p>【乳幼児】</p> <p>【小学生】</p> <p>【成人】</p> <p>【高齢者】</p> <p>【世代間交流】</p> <p>【地域交流】</p>	<p>プレママ向け事業を実施した。プレママの仲間作りのきっかけになり参加者から好評を得た。来年度は毎月の事業として実施していく。</p> <p>荒川マイスターを講師として招き、職人から仕事を教えてもらう事業や、地域の商店街の店舗に行き、商店の方にインタビューをする等、町探検の事業を実施した。子供達が地域を知る機会を得る上に、職人や商店の方も仕事を知ってもらえる良い機会になり、好評であった。来年度は商店をリレー形式で紹介する事業へ拡大することを検討していく。</p> <p>パパサークルや夜間の事業が1年間で定着し、ふれあい館の新たな利用者が増加した。パパサークルでは2回の大会出場を通して、家族同士が顔見知りになることができ、新たな繋がりを生むことができた。</p> <p>ふれあい館まつり、演芸会、作品展等では、発表や出品に留まらず、当日運営にも携わり、参加者の主体的な活動を行うことができた。</p> <p>ふれあい館まつりやハロウィンイベントでは、小学生から大学生、高齢者が参加した上に運営にも関わり、イベントを一緒に作り上げた。</p> <p>グループホームへの訪問では、高齢者事業参加者と利用者との交流を継続的に実施したことで、自主的な活動を推進した。また、児童もダンス発表等を通してグループホーム利用者との交流を図った。</p>	

施設決算状況

年度		平成26年度	平成27年度	平成28年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	指定管理料	49,057,662	49,835,539	50,624,729	50,624,729
	その他収入	0	0	0	0
	計	49,057,662	49,835,539	50,624,729	50,624,729
支出	運営費	2,216,948	1,656,442	2,701,440	2,259,803
	管理費	15,610,656	13,806,766	17,248,262	16,335,364
		本部経費	4,600,000	2,899,998	5,000,000
	人件費	30,683,888	33,860,605	30,067,875	28,577,609
	修繕費	526,482	448,718	607,152	698,652
	その他支出	0	0	0	0
	計	49,037,974	49,772,531	50,624,729	47,871,428
収支差額		19,688	63,008	0	2,753,301

(各費目内容・改善すべき点等)

基本評価項目

評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
施設の維持管理	20			19
快適に利用できるための施設管理がなされている	5	5	100%	5
安全・安心に過ごすための施設管理がなされている	5	4	80%	4
危機管理・苦情・事故等の管理を徹底している	10	5	100%	10
区民サービス	80			64
利用者の事業に対する満足度が高い	20	5	100%	20
職員の接遇がきちんとなされている	25	4	80%	20
ポスターや館だより等の広報方法を工夫している	5	5	100%	5
幅広い事業展開を行っている	5	4	80%	4
利用者数が増加している	25	3	60%	15
合計(A)	100	-	-	83

その他の評価項目

評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
地域と連携した事業展開を行っている	3	5	100%	3
区民雇用を積極的に行っている	2	5	100%	2
施設全体における評価が高い	3	4	80%	2.4
安全に対する積極的な取組を行っている (上級救命講習の受講等)	2	5	100%	2
合 計 (B)	10	-	-	9.4

評価内容

「施設維持管理」については、利用者が安全・安心に過ごせるよう適正に管理されている。「区民サービス」及び「その他の評価項目」については、利用者の事業に対する満足度も高く、適切に運営がされている。働く世代の成人利用を増加させるため、事業の時間帯や内容を工夫して新規事業を実施し、幅広い事業を展開している。「パパサークル」「HIPHOPエクササイズ」等の成人事業は利用者が1年間で定着し、さらに「パパサークル」については、フットサルで区民大会に出場するまでになっており、家族間の交流にも繋がっている。また、地域のお祭りや防災訓練に参加したり、館のお祭りや「ハロウィン」等の事業で近隣商店や町会と連携するなど地域と積極的な交流を図っている。

改善すべき点等

合計 (A+B)	92.4
施設の維持管理・区民サービス等の総合評価	A

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	決算書、科目別内訳表、事業報告書等の審査を行った結果、会計処理は適正に行われている。	優良
	予算管理が適正である	予算・決算、前年決算等と比較して収入・支出・収支差は少なく、予算管理は適正である。	
経営	経費の効果的活用が行われている	職員旅費、光熱水費、消耗品費、運営費について経費縮減の努力が行われている。	優良
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労働環境は適正である。	優良
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業者の三期の決算書に基づいて財務診断を行った結果、成長性、収益性、安定性、活動性・健全性は良好であり、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している。	良好

総評

サービス内容	<p>・施設の維持管理については、安全等に配慮した適正な施設管理が行われている。区民サービスについては、利用者のニーズに柔軟に対応した事業を実施している。また、区民の相互交流と自主的活動を促進し、福祉と生活文化を向上させるとともに、地域コミュニティの拠点施設としての役割を果たしている。</p>
財務・労務	<p>・施設の会計手続きや予算管理が適正に行われており、経費の効果的活用が実施されている。</p> <p>・雇用契約条件、実施状況、健康診断などについて法令に準じた運用を行っている。</p> <p>・指定管理者である法人は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等が良好であり、安定的運営を行う財務力を有している。</p>
総合評価	<p>・サービス面は良好、会計面、労務面は優良であり、経費の効果的活用も行われているため、指定管理業務は適正であったと評価できる。</p>

担当所管部	
部	区民生活部
課	区民施設課

平成28年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

施設概要		
施設名	名称	西尾久ふれあい館
	所在地	荒川区西尾久八丁目33番31号
指定管理者	名称	株式会社日本デイケアセンター
	所在地	千代田区猿楽町二丁目2番3号
施設開設年月日		平成16年10月12日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成16年10月12日
指定期間		平成28年4月1日～平成33年3月31日
業務内容	<p>乳幼児から高齢者まで、あらゆる世代の区民が生き生きと集い、ふれあいと相互交流の輪を広げる場を提供する。遊び・スポーツ・健康づくり・教養娯楽活動等を通じて地域コミュニティの形成を図るとともに、地域住民の主体的かつ主体的な活動を促進する事業を実施する。</p> <p>【主な施設】サロン、親子ふれあいひろば、プレイルーム、多目的室、洋室、和室、創作室、だれでもトイレ（学童クラブ室併設）</p> <p>【総入館者数】 74,977名 (内訳) 世代別事業参加者数 (保護者)9,172名(乳幼児)12,188名(小学生)10,915名(中学生)1,799名(高校生)506名(成人)4,366名(高齢者)5,653名 (合計)44,599名 貸室利用者数 30,378名</p>	
平成28年度の事業計画		
【乳幼児】	ママリフレッシュ等の事業や要望の多い「ヨガ講座」を実施することで来館のきっかけを作り、保護者同士を繋ぐ場を提供することで子育て世代の孤立化を防ぐ。「パパとあそぼう」では、恒例の「芋ほり」、「流しそうめん」等を実施し、父親が子育ての喜びを感じられる事業を充実させる。また、「ママサークル」が自主運営できるよう継続して支援する。	
【小学生】	安全、安心な遊び場を提供する。サークル、実行委員会活動を充実させる。子どもの活動場が多様化する中、ふれあい館ならではの事業を模索する。土曜日は、他世代との交流を増やし、大人から学ぶ場を提供する。	
【中学生】	中学生タイムで興味を惹く事業を企画し更なる参加を促す。サマーボランティアを始め、子供達が力を発揮できる場を設定し、誰かに役立つことを体験できるようにする。	
【成人】	興味を惹く「クッキング」「スポーツ」等の事業を、参加しやすい夜間や土・日曜日に設定する。	
【高齢者】	社会福祉協議会、地域包括支援センター、保健所、警察署、消防署等の協力のもと、「健康チェック」「健康講座」をはじめ、生活向上に必要な内容を取り上げる。その他、高齢者が関心のある事業を幅広く用意し、健康で充実した毎日を過ごせるよう支援する。	
【世代間交流】	「じいばあばとあそぼう」「ふるまいむすび」等の事業を通し、高齢者と乳幼児の世代間交流を図る。また、高齢者の技の披露を通じて知恵の伝承に繋げる。土曜日は、創作活動や昔あそびを通して互いに刺激し合う時間を設定する。その他、「男声コーラス」と「コーラス」とのコラボレーション、「フラダンス」と「小学生フラダンス」とのコラボレーション等を通し、世代間交流を大切に行う。	
平成28年度の事業実績		
【乳幼児】	初来館の方が多く「ベビーマッサージ」等の中で、子育て支援事業の内容説明をして継続利用を促進した。親同士の繋がりを支援する「ママリフレッシュ交流会」を実施した。おもちゃづくり事業「ミニ制作」は好評であった。「ママサークル」は、利用者により自主的な活動が行われた。	
【小学生】	興味関心を引き出すよう事業内容を工夫した。また、見守りや支援が必要な児童については、個々に応じた柔軟な対応と指導を行った。大型行事や地域の高齢者施設交流会等では、ボランティア等を募り、子供達が企画、準備、運営をやり遂げることで子供達の自主性等の成長を促進した。	
【中学生】	声掛けや、館内の使用方法等の指導を通して、中学生との関係づくりができた。また、次年度中学生となる子供達を対象として、館利用方法説明会を行なった他、先輩中学生とバーベキューや遊びを通して交流を図った。サマーボランティア・職業体験で中学生を受入れ、小学生や高齢者等との世代間交流にも繋がった。	
【成人】	「大人のスポーツタイム」「スポーツ講座」等、対象事業を土曜日に実施した。事業は職員が講師を務め、館に親しみを感じてもらうことで利用を促進した。	
【高齢者】	継続事業の「手話歌」は好評であった。「ふれあいカフェ」もレクリエーション、クッキング等を通して利用者が増加した。「大人の遠足」も毎回人気で秋の遠足“水族館”は、定員を超えるほど好評であった。	
【世代間交流】	「フラダンス」は希望者が多く各世代で増加した上に、幼児の時間に親子や成人が参加する等、世代間交流の場にもなった。	

施設決算状況

年度		平成26年度	平成27年度	平成28年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	指定管理料	47,165,268	47,749,823	48,272,588	48,272,588
	その他収入	0	0	0	0
	計	47,165,268	47,749,823	48,272,588	48,272,588
支出	運営費	2,011,346	2,885,834	2,901,440	2,949,468
	管理費	13,102,462	11,637,961	11,639,189	11,813,702
		本部経費	4,193,224	3,297,136	2,043,189
	人件費	26,584,861	27,279,662	32,625,000	28,457,394
	修繕費	718,308	1,093,986	1,106,959	1,133,568
	その他支出	0	0	0	0
	計	42,416,977	42,897,443	48,272,588	44,354,132
収支差額		4,748,291	4,852,380	0	3,918,456

(各費目内容・改善すべき点等)

基本評価項目

評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
施設の維持管理	20			20
快適に利用できるための施設管理がなされている	5	5	100%	5
安全・安心に過ごすための施設管理がなされている	5	5	100%	5
危機管理・苦情・事故等の管理を徹底している	10	5	100%	10
区民サービス	80			79
利用者の事業に対する満足度が高い	20	5	100%	20
職員の接遇がきちとなされている	25	5	100%	25
ポスターや館だより等の広報方法を工夫している	5	5	100%	5
幅広い事業展開を行っている	5	4	80%	4
利用者数が増加している	25	5	100%	25
合計(A)	100	-	-	99

その他の評価項目

評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
地域と連携した事業展開を行っている	3	5	100%	3
区民雇用を積極的に行っている	2	4	80%	1.6
施設全体における評価が高い	3	4	80%	2.4
安全に対する積極的な取組を行っている (上級救命講習の受講等)	2	2	40%	0.8
合計 (B)	10	-	-	7.8

評価内容

「施設維持管理」については、利用者が安全・安心に過ごせるよう適正に管理されている。「区民サービス」及び「その他の評価項目」については、利用者の事業に対する満足度も高く、適切に運営がされている。また、職員の接遇に対する意識は高く、利用者からの評価も高い。事業については、人気の高いデイキャンプを2回に分け実施することで希望者全員を受けれる等、利用者のニーズに応えた事業展開をしている。また、夏休み等に小中学生のボランティアを募り事業を運営することで子供たちの積極性や自主性を育むようにしている。また、「パパの読み聞かせ」「コーラス」を初め世代別事業や町会のおまつり等に参加する等、地域での世代間交流にも積極的に取り組んでいる。

改善すべき点等

--

合計 (A+B)	106.8
施設の維持管理・区民サービス等の総合評価	S

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	決算書、科目別内訳表、事業報告書等の審査を行った結果、会計処理は適正に行われている。	優良
	予算管理が適正である	予算・決算、前年決算等と比較して収入・支出・収支差は少なく、予算管理は適正である。	
経営	経費の効果的活用が行われている	光熱水費、職員旅費について経費縮減の努力が行われている。	優良
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労働環境は適正である。	優良
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業者の三期の決算書に基づいて財務診断を行った結果、成長性、収益性、安定性、活動性・健全性は良好であり、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している。	良好

総評

サービス内容	<p>・施設の維持管理については、安全等に配慮した適正な施設管理が行われている。区民サービスについては、利用者のニーズに柔軟に対応しており、満足を得られる内容の事業を実施している。また、区民の相互交流と自主的活動を促進し、福祉と生活文化を向上させるとともに、地域コミュニティの拠点施設としての役割を十分に果たしている。</p>
財務・労務	<p>・施設の会計手続きや予算管理が適正に行われており、経費の効果的活用が実施されている。</p> <p>・雇用契約条件、実施状況、健康診断などについて法令に準じた運用を行っている。</p> <p>・指定管理者である法人は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等が良好であり、安定的運営を行う財務力を有している。</p>
総合評価	<p>・サービス面、会計面、労務面は優良であり、経費の効果的活用も行われているため、指定管理業務は適正であったと評価できる。</p>

担当所管部	
部	区民生活部
課	区民施設課

平成28年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

施設概要		
施設名	名称	東日暮里ふれあい館
	所在地	荒川区東日暮里一丁目17番13号
指定管理者	名称	学校法人道灌山学園
	所在地	荒川区西日暮里四丁目7番15号
施設開設年月日		平成17年4月1日
現在の指定管理者による 運営開始年月日		平成17年4月1日
指定期間		平成26年4月1日～平成29年3月31日
業務内容	<p>乳幼児から高齢者まで、あらゆる世代の区民が生き生きと集い、ふれあいと相互交流の輪を広げる場を提供する。遊び・スポーツ・健康づくり・教養娯楽活動等を通じて地域コミュニティの形成を図るとともに、地域住民の自主的かつ主体的な活動を促進する事業を実施する。</p> <p>【主な施設】サロン、プレイルーム（親子ふれあいひろば）、多目的室、洋室、和室、創作室、相談室、だれでもトイレ（学童クラブ併設）</p> <p>【特徴ある施設】音楽室</p> <p>【総入館者数】 60,852名 (内訳)</p> <p>世代別事業参加者数 (保護者)10,734名 (乳幼児)12,327名 (小学生)8,272名 (中学生)1,513名 (高校生)124名 (成人)3,646名 (高齢者)7,006名 (合計)43,622名</p> <p>貸室利用者数 17,230名</p>	
平成28年度の事業計画		
【乳幼児】	多様化する子育てニーズに対応すべく、乳幼児とその保護者が安心して伸び伸びと利用できる環境・活動の充実を図り、利用者が利用しやすい事業運営を実施する。	
【小学生】	大型の館行事や継続して行う活動の取組において中心として活動し、様々な体験を得られるような事業展開を図る。また、活動は遊びを通して心身の成長を促すよう、児童の興味・関心に寄り添い計画する。	
【中高生】	館の行事の中で、中高生のボランティアを積極的に受け入れ、主体的に事業に参加出来る環境を整える。	
【成人】	利用者のニーズを捉え、幅広い年齢層に対応した事業を展開する。利用者からの意見を取り入れる為に、アンケートなどを有効に活用する。	
【高齢者】	身近な施設として、高齢者の生活や教養の質の向上を目指し、事業を通して「仲間づくり」「生き甲斐づくり」を支援する。来館時に利用者が役割をもって事業に参加出来るように関わり方を工夫する。	
【地域交流事業】	地域の事に興味関心を向け、積極的に関わりをもって交流事業を推進する。	
【世代間交流】	あらゆる世代の区民が生き生きと集う中で、有意義な時間を共有し楽しみ、自然に相互交流が生まれる場を提供する。世代間交流を目的とした行事・施設交流などを通し、出会いやふれあいを促進する。	
平成28年度の事業実績		
【乳幼児】	幼児タイム、親子ふれあいひろば、パパとあそぼう等、年代に応じ対応する等して多くの方の利用に繋がった。特に幼児タイムは参加希望者が多く活動場所を考慮した他、内容も充実するよう工夫を図った。また、必要に応じてカウンセラーの個別相談を行った。	
【小学生】	子供達に大型行事で実行委員等の役割を担ってもらい主体性や自由遊びや制作への積極性の促進を図った。今後も子供達によるイベント案の募集や参画をしていく。また、館で様子が気になる児童の家庭には、必要に応じて連絡し、安心して館を利用できるよう努めた。	
【中高生】	中学生タイムの実施等、遊び方や事業内容を改善して対応した。また、児童との信頼関係構築を意識した関わり方を実践した。	
【成人】	人気のある講座(ヨガ・手芸)を継続実施し、多くの人に参加した。公平な申込方法の実施により、事業への参加機会の均等化を図った。	
【高齢者】	多くの利用者が笑顔で来館し、ふれあい館での活動を機に活発に事業へ参加した。特に、カラオケや保育園児との交流事業は、好評であった。	
【世代間交流】	多世代が利用するふれあい館の特性を活かし、行事や日常の関わりの中で交流をもてるよう配慮した。新1年生の歓迎行事や祖父母・父母・子世代が参加できるおはなし鑑賞会、日暮里地域のふれあい館合同行事等、多数の事業を実施し、同じ場所・時間を共有することで、参加者同士のふれあいを図った。	

施設決算状況

年度		平成26年度	平成27年度	平成28年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	指定管理料	45,980,986	45,986,456	47,469,955	47,469,955
	その他収入	0	0	0	0
	計	45,980,986	45,986,456	47,469,955	47,469,955
支出	運営費	1,835,492	2,587,243	2,901,440	1,855,467
	管理費	7,509,623	7,186,159	7,464,795	6,888,826
		本部経費	1,200,000	1,200,000	0
	人件費	35,671,831	35,469,540	36,007,933	37,500,910
	修繕費	777,708	604,908	1,095,787	1,108,152
	その他支出	0	0	0	0
	計	45,794,654	45,847,850	47,469,955	47,353,355
収支差額		186,332	138,606	0	116,600

(各費目内容・改善すべき点等)

基本評価項目

評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
施設の維持管理	20			19
快適に利用できるための施設管理がなされている	5	5	100%	5
安全・安心に過ごすための施設管理がなされている	5	4	80%	4
危機管理・苦情・事故等の管理を徹底している	10	5	100%	10
区民サービス	80			69
利用者の事業に対する満足度が高い	20	5	100%	20
職員の接遇がきちとなされている	25	5	100%	25
ポスターや館だより等の広報方法を工夫している	5	5	100%	5
幅広い事業展開を行っている	5	4	80%	4
利用者数が増加している	25	3	60%	15
合計(A)	100	-	-	88

その他の評価項目

評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
地域と連携した事業展開を行っている	3	5	100%	3
区民雇用を積極的に行っている	2	4	80%	1.6
施設全体における評価が高い	3	5	100%	3
安全に対する積極的な取組を行っている (上級救命講習の受講等)	2	3	60%	1.2
合計 (B)	10	-	-	8.8

評価内容

「施設維持管理」については、利用者が快適に利用できるよう適正に管理されている。「区民サービス」及び「その他の評価項目」については、職員の接遇に対する意識が高く、適切に運営がされている。また、利用者の事業に対する満足度も高い。「ミステリー行事」「デイキャンプ」等の大型事業は、子供たちが実行委員となって取り組むことで自主性が育まれている。また、自治会主催の防災セミナーや地域の防犯パトロールに参加、日暮里青空子どもまつりの地域行事に事務局として関わることで地域との連携や交流を図っている。

改善すべき点等

合計 (A+B)	96.8
施設の維持管理・区民サービス等の総合評価	A

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	決算書、科目別内訳表、事業報告書等の審査を行った結果、会計処理は適正に行われている。	優良
	予算管理が適正である	予算・決算、前年決算等と比較して収入・支出・収支差は少なく、予算管理は適正である。	
経営	経費の効果的活用が行われている	光熱水費、委託料に経費縮減の努力が行われている。	優良
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労働環境は適正である。	優良
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業者の三期の決算書に基づいて財務診断を行った結果、成長性、収益性、安定性、活動性・健全性は良好であり、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している。	良好

総評

サービス内容	<p>・施設の維持管理については、安全等に配慮した適正な施設管理が行われている。区民サービスについては、利用者のニーズに柔軟に対応した事業を実施している。また、区民の相互交流と自主的活動を促進し、福祉と生活文化を向上させるとともに、地域コミュニティの拠点施設としての役割を果たしている。</p>
財務・労務	<p>・施設の会計手続きや予算管理が適正に行われており、経費の効果的活用が実施されている。</p> <p>・雇用契約条件、実施状況、健康診断などについて法令に準じた運用を行っている。</p> <p>・指定管理者である法人は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等が良好であり、安定的運営を行う財務力を有している。</p>
総合評価	<p>・サービス面は良好、会計面、労務面は優良であり、経費の効果的活用も行われているため、指定管理業務は適正であったと評価できる。</p>

担当所管部	
部	区民生活部
課	区民施設課

平成28年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

施設概要		
施設名	名称	夕やけこやけふれあい館
	所在地	荒川区東日暮里三丁目11番19号
指定管理者	名称	社会福祉法人教信精舎
	所在地	荒川区西尾久六丁目9番7号
施設開設年月日		平成25年4月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成25年4月1日
指定期間		平成25年4月1日～平成30年3月31日
業務内容	<p>乳幼児から高齢者まで、あらゆる世代の区民が生き生きと集い、ふれあいと相互交流の輪を広げる場を提供する。遊び・スポーツ・健康づくり・教養娯楽活動等を通じて地域コミュニティの形成を図るとともに、地域住民の自主的かつ主体的な活動を促進する事業を実施する。</p> <p>【主な施設】 サロン、親子ふれあいひろば、プレイルーム、多目的室、洋室、和室、創作室、授乳室、だれでもトイレ</p> <p>【特徴ある施設】 レクリエーションホール</p> <p>【総入館者数】 112,353名 (内訳) 世代別事業参加者数 (保護者)10,171名 (乳幼児)11,172名 (小学生)16,239名 (中学生)1,258名 (高校生)302名 (成人)2,668名 (高齢者)8,759名 (合計)50,569名 貸室利用者数 61,784名</p>	
平成28年度の事業計画		
【乳幼児と保護者】	在宅の育児家庭に対して乳幼児向けのサービスを提供するとともに親同士のふれあいや助け合いの場ときっかけづくりを行う。保育園併設館の機能を生かし、乳児・幼児対象事業や子育て相談事業を通して、親同士相互交流と親子で気軽に遊べる場の提供を行う。専門の相談員が子育ての悩みや不安に応える。	
【小学生・中学生】	学童・中高生の健全育成を地域の運動と連携しながら実施する。合わせて、中高生の居場所づくりを推進する。また、法人のネットワークを活用し、保育経験と体育指導の専門資格を有するスタッフによる魅力ある遊びを提供する。さらに、区内外の中高校生等の職業体験を積極的に受け入れ、ボランティア活動に繋げる。	
【成人・高齢者】	和室や多目的室を利用して新規事業を実施することにより、利用者の少ない世代の利用を促進していく。また、既存事業の拡充を図り、高齢者の継続した活動を支援していく。	
【世代間交流】	館の事業やおまつり等地域の事業、また高齢者集合住宅への訪問等、館内の利用者間だけでなく地域の方を巻き込んだ世代間交流を図っていく。	
【その他】	モノづくり・布の街という日暮里の地域特性に着目し、地域資源を取り入れた教室・講座を開設する。また、地域における芸術文化活動支援を目的とした事業を実施する。さらに世界の玄関口である日暮里地域における国際化を荒川区国際交流協会との連携により推進する。	
平成28年度の事業実績		
【乳幼児と保護者】	乳幼児タイム運営体制の拡充と内容の充実として、「親子のふれあい」をテーマにしたリトミックを10月から実施した。よちよちタイム(0歳児)の登録者が増加し利用者からは好評を得た。親子ふれあいひろばの日曜日開設(新規)により、パパ、ママ、両親の利用が徐々に増えてきた。また、親子ふれあいひろばの巡回相談や、保育園保育士による育児相談などを実施し、子育て情報の交換やふれあいの場を提供し、助け合える関係を構築できる環境を整えた。	
【小学生・中学生】	日頃の活動を通じ、「あいさつ、見守り、きまり、思いやり、体験」の浸透を図った。創作室事業として「ボン鉄砲」、「羽子板づくり」、「お正月に向けたしめ縄づくり」、など、特色ある事業の充実を図った。にっぼり青空こどもまつり、東日暮里ふれあいまつりへの参加、発表、おすもうさんとお餅つきなど、活発な活動を行った。	
【成人・高齢者】	「和室DE活動」にスポーツ吹き矢連盟と吹き矢教室&検定を実施し、人気事業となった。また、交流都市ウィーン在住の日本人ソリストによるコンサート「大人のための文化講座」をラングウッドと共催により実施し、非常に好評を博した。今後も特色ある事業の一つとして友好都市の芸術家による公演等の事業を実施していく。	
【世代間交流】	日暮里地区ふれあい館が連携し、地区演芸会、文化祭の自主開催を行った。また、介護付き高齢者集合住宅「日暮里コミュニティ」入居者との交流が2年目となり、ハピネスによる奇数月の訪問を定例化した。	
【その他】	地域の舞踊家のプロデュースによるダンスショー「すぐcocoあーと・スノーフレイク」を実施した。ダンス、バレエ、パントマイム、バトン等のプロフェッショナルにワークショップ形式で直接指導を受けながら作り上げたダンスショー発表会は大好評であった。	

施設決算状況

年度		平成26年度	平成27年度	平成28年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	指定管理料	48,751,220	48,445,724	48,368,833	48,368,833
	その他収入	11,749	119,975	0	118,162
	計	48,762,969	48,565,699	48,368,833	48,486,995
支出	運営費	3,070,287	2,962,473	3,411,440	3,194,346
	管理費	10,017,990	9,889,468	10,163,275	10,455,744
		本部経費	2,160,738	2,186,365	1,480,000
	人件費	35,133,072	35,107,235	34,365,508	34,408,295
	修繕費	541,620	606,523	428,610	428,610
	その他支出	0	0	0	0
	計	48,762,969	48,565,699	48,368,833	48,486,995
収支差額		0	0	0	0

(各費目内容・改善すべき点等)

基本評価項目

評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
施設の維持管理	20			20
快適に利用できるための施設管理がなされている	5	5	100%	5
安全・安心に過ごすための施設管理がなされている	5	5	100%	5
危機管理・苦情・事故等の管理を徹底している	10	5	100%	10
区民サービス	80			74
利用者の事業に対する満足度が高い	20	4	80%	16
職員の接遇がきちんとなされている	25	5	100%	25
ポスターや館だより等の広報方法を工夫している	5	4	80%	4
幅広い事業展開を行っている	5	4	80%	4
利用者数が増加している	25	5	100%	25
合計(A)	100	-	-	94

その他の評価項目

評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
地域と連携した事業展開を行っている	3	5	100%	3
区民雇用を積極的に行っている	2	5	100%	2
施設全体における評価が高い	3	5	100%	3
安全に対する積極的な取組を行っている (上級救命講習の受講等)	2	5	100%	2
合 計 (B)	10	-	-	10

評価内容

「施設維持管理」については、利用者が安全・安心に過ごせるよう適正に管理されている。「区民サービス」及び「その他の評価項目」については、職員の接遇に対する意識が高く適切に運営がされている。また、事業については、「大人のための文化講座」「スノーフレーク」等、荒川区に関連した人物を通しての文化・芸術事業が人気であり、地元への愛着を育む特色ある事業となっている。地域への取組では、地域のおまつり等の行事に積極的に参加し、一緒に運営することで地域連携を図っている。また、館利用者と地元町会の方がバス旅行を共にする「春のバス小旅行」等により地域交流を図っており、地域コミュニティの拠点施設としての役割を果たしている。

改善すべき点等

合計 (A+B)	104.0
施設の維持管理・区民サービス等の総合評価	S

財務・労務評価表

評価項目	評価内容	評価	
会計	会計手続が適正である	決算書、科目別内訳表、事業報告書等の審査を行った結果、会計処理は適正に行われている。	優良
	予算管理が適正である		
経営	経費の効果的活用が行われている	本部経費が増加しているが、光熱水費、役務費について経費縮減の努力が行われている。	良好
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労働環境は適正である。	優良
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業者の三期の決算書に基づいて財務診断を行った結果、成長性、収益性、安定性、活動性・健全性は極めて良好であり、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している。	優良

総評

サービス内容	<p>・施設の維持管理については、安全等に配慮した適正な施設管理が行われている。区民サービスについては、利用者のニーズに柔軟に対応しており、満足を得られる内容の事業を実施している。また、区民の相互交流と自主的活動を促進し、福祉と生活文化を向上させるとともに、地域コミュニティの拠点施設としての役割を十分に果たしている。</p>
財務・労務	<p>・施設の会計手続きや予算管理が適正に行われており、経費の効果的活用が実施されている。</p> <p>・雇用契約条件、実施状況、健康診断などについて法令に準じた運用を行っている。</p> <p>・指定管理者である法人は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等が良好であり、安定的運営を行う財務力を有している。</p>
総合評価	<p>・サービス面、会計面、労務面は優良であり、経費の効果的活用も行われているため、指定管理業務は適正であったと評価できる。</p>

担当所管部	
部	区民生活部
課	区民施設課

平成28年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

施設概要		
施設名	名称	西日暮里ふれあい館
	所在地	荒川区西日暮里六丁目24番4号
指定管理者	名称	学校法人道灌山学園
	所在地	荒川区西日暮里四丁目7番15号
施設開設年月日		平成20年4月1日
現在の指定管理者による 運営開始年月日		平成20年4月1日
指定期間		平成26年4月1日～平成29年3月31日
業務内容	<p>乳幼児から高齢者まで、あらゆる世代の区民が生き生きと集い、ふれあいと相互交流の輪を広げる場を提供する。遊び・スポーツ・健康づくり・教養娯楽活動等を通じて地域コミュニティの形成を図るとともに、地域住民の自主的かつ主体的な活動を促進する事業を実施する。</p> <p>【主な施設】 サロン、プレイルーム（親子ふれあいひろば）、多目的室、洋室、和室、創作室、相談室、だれでもトイレ</p> <p>【特徴ある施設】 音楽室</p> <p>【総入館者数】 <u>70,155名</u> (内訳) 世代別事業参加者数 (保護者)9,153名(乳幼児)10,534名(小学生)6,581名(中学生)923名 (高校生)538名(成人)3,165名(高齢者)7,448名 (合計)<u>38,342名</u> 貸室利用者数 <u>31,813名</u></p>	
平成28年度の事業計画		
【乳幼児】	子育て世代のニーズに対応し、親子が関わりを深めることができ、安心して利用できる事業運営を実施する。年齢別幼児タイムの充実を図り、親同士の繋がりを深める。	
【小学生】	行事や遊びを通して、自主性等の児童の心身の成長を促す。児童が安心して、伸び伸びと利用できる環境を実現するため、事業を計画する。社会や集団生活の中での決まり事を指導する。昨年度に続き、ダンスサークル活動の充実を図る。	
【中学生】	中高生の生活スタイルや心情に合わせた居場所づくりをする。また、中高生の興味を惹き参加しやすい事業を展開し、利用者の拡大に努める。	
【成人】	利用者からの意見を取り入れ、来館の機会を増やすような魅力的な事業を展開する。	
【高齢者】	地域の身近な施設として、高齢者の生活や教養の質の向上を目指す。また、各種事業を通して「仲間づくり」「生きがいづくり」を支援する。高齢者が必要とする情報を提供し、要望に沿った事業を計画する。	
【世代間交流】	施設交流等の行事を通し、出合いやふれあいを促進し、地域に根ざした施設の役割を果たす。乳幼児から児童、青少年、成人、高齢者まで、あらゆる世代の区民が生き生きと集う、ふれあいと相互交流の場を提供する。	
平成28年度の事業実績		
【乳幼児】	週末や祝日に親子ふれあいひろばに来る父親が増加した。親子参加型行事、パパと遊ぼう（6月、9月、1月実施）では、計40組の家族の参加があった。また、日頃から安心して遊ぶ事ができる場の提供に努めた。親子ふれあいひろば事業、リサイクルでは日暮里地区以外の方の来館もあり大盛況であった。	
【小学生・中校生】	主にスポーツを通して、小学生の高学年、中学生、高校生が気軽に安心して過ごせる居場所を作ることができ利用者が増加した。館行事の参加は小学生低学年が多かったため、今後は、小学生高学年、中学生が参加しやすい行事や活動にも積極的に取り組んでいく。ダンスサークルの活動は活発であり、多くの地域イベントに参加した事で、西日暮里ふれあい館の芯となる活動として根付いた。活動発表の場などを通して、子供達の積極性や自主性の促進を図った。また、ダンスにより子供達の個性を伸ばすことができた。	
【成人】	人気のある講座（エアロビ・ヨガ）を継続実施し、多くの人に参加した。	
【高齢者】	一年を通して、カラオケ、詩吟、踊り、盆踊り等の事業を積極的に実施した。	
【世代間交流】	大型行事（ハッピーハロウィン・ハッピーえんにち）は、参加人数が400名を超える地域の行事として大変好評であった。	

施設決算状況

年度		平成26年度	平成27年度	平成28年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	指定管理料	46,715,159	46,941,029	47,427,097	47,412,633
	その他収入	0	0	0	0
	計	46,715,159	46,941,029	47,427,097	47,412,633
支出	運営費	1,831,274	2,501,444	2,901,440	1,856,116
	管理費	7,556,179	7,772,972	7,727,712	6,047,592
	本部経費	1,200,000	1,200,000	0	300,000
	人件費	35,829,262	35,867,089	36,007,933	38,715,175
	修繕費	758,614	782,460	790,012	775,548
	その他支出	0	0	0	0
	計	45,975,329	46,923,965	47,427,097	47,394,431
収支差額		739,830	17,064	0	18,202

(各費目内容・改善すべき点等)

基本評価項目

評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
施設の維持管理	20			19
快適に利用できるための施設管理がなされている	5	5	100%	5
安全・安心に過ごすための施設管理がなされている	5	4	80%	4
危機管理・苦情・事故等の管理を徹底している	10	5	100%	10
区民サービス	80			69
利用者の事業に対する満足度が高い	20	4	80%	16
職員の接遇がきちとなされている	25	5	100%	25
ポスターや館だより等の広報方法を工夫している	5	4	80%	4
幅広い事業展開を行っている	5	4	80%	4
利用者数が増加している	25	4	80%	20
合計(A)	100	-	-	88

その他の評価項目					
評価項目		配点	評価		得点 (配点×乗率)
			レベル	乗率	
地域と連携した事業展開を行っている		3	5	100%	3
区民雇用を積極的に行っている		2	4	80%	1.6
施設全体における評価が高い		3	5	100%	3
安全に対する積極的な取組を行っている (上級救命講習の受講等)		2	5	100%	2
合 計 (B)		10	-	-	9.6
評価内容					
<p>「施設維持管理」については、利用者が快適に利用できるよう適正に管理されている。「区民サービス」及び「その他の評価項目」については、職員の接遇に対する意識が高く、適切に運営がされている。また、事業については、西日暮里保育園、冠新道商興会と連携協力し実施しているハロウィンイベントは、地域を代表する事業に定着し、館と地域を繋ぐ全世代間交流事業となっている。また、地元のおまつり等にダンスサークルが参加したり、地域のペットボトルキャップ回収活動を一緒に取組む等、地域への取り組みにも積極的に携わっている。</p>					
改善すべき点等					
合計 (A+B)					97.6
施設の維持管理・区民サービス等の総合評価					A
財務・労務評価表					
評価項目		評価内容		評価	
会計	会計手続が適正である	決算書、科目別内訳表、事業報告書等の審査を行った結果、会計処理は適正に行われている。		優良	
	予算管理が適正である	予算・決算、前年決算等と比較して収入・支出・収支差は少なく、予算管理は適正である。			
経営	経費の効果的活用が行われている	光熱水費、役務費、委託料について経費縮減の努力が行われている。		優良	
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労働環境は適正である。		優良	
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業者の三期の決算書に基づいて財務診断を行った結果、成長性、収益性、安定性、活動性・健全性は良好であり、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している。		良好	

総評

サービス内容	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の維持管理については、安全等に配慮した適正な施設管理が行われている。区民サービスについては、利用者のニーズに柔軟に対応した事業を実施している。また、区民の相互交流と自主的活動を促進し、福祉と生活文化を向上させるとともに、地域コミュニティの拠点施設としての役割を果たしている。
財務・労務	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の会計手続きや予算管理が適正に行われており、経費の効果的活用が実施されている。 ・雇用契約条件、実施状況、健康診断などについて法令に準じた運用を行っている。 ・指定管理者である法人は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等が良好であり、安定的運営を行う財務力を有している。
総合評価	<ul style="list-style-type: none"> ・サービス面は良好、会計面、労務面は優良であり、経費の効果的活用も行われているため、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部	
部	区民生活部
課	区民施設課

平成28年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

施設概要		
施設名	名称	荒川区民会館（サンパール荒川）
	所在地	荒川区荒川一丁目1番1号
指定管理者	名称	MKT共同事業体 (構成団体:代表企業:三菱電機ビルテクノサービス株式会社、株式会社共立、株式会社スペースネットワーク)
	所在地	荒川区荒川七丁目19番1号(代表企業所在地)
施設開設年月日		昭和50年3月28日
現在の指定管理者による 運営開始年月日		平成18年4月1日
指定期間		平成27年4月1日～平成30年3月31日
業務内容	1 文化活動及び地域コミュニティ活動に関する相談及び情報の提供に関する業務 2 施設及び附属設備（以下「施設等」という。）の利用に関する業務 3 施設等の利用等の承認、不承認及び利用承認の取消に関する業務 4 施設等の利用料金の收受、減免及び還付に関する業務 5 施設等の維持管理に関する業務 6 前5号のほか、区長が必要と認める業務 <施設の概要> ○大ホール 収容人員975席 面積1,162㎡ ○小ホール 収容人員300席（移動席）面積281㎡ ○集会室 第1（洋室）定員50名 面積78㎡ 第2（洋室）定員50名 面積73㎡ 第3（洋室）定員50名 面積85㎡ ※第2・3は通し使用可能 第4（和室）定員40名 面積90㎡ 第5（洋室）定員50名 面積92㎡ 第6（洋室）定員50名 面積99㎡ ※第5・6は通し使用可能 第7（洋室）定員100名 面積184㎡	
平成28年度の事業計画		
1 管理運営事務 施設の安全管理（日常点検、保守点検）、報告書、統計資料の作成及び区への報告、意見交換会開催、利用者アンケート集計、情報誌発行、行事案内等 2 研修 安全管理研修、技術者研修、個人情報の取扱いに関する研修、ビジネスマナー研修等		
平成28年度の実績		
1 上記管理運営事務の実施 2 利用料金収入 65,887,344円 3 稼働率 大ホール55.5% 小ホール56.4% 集会室36.8% 4 利用者数 大ホール146,277人 小ホール56,815人 集会室74,476人		

施設決算状況

年度		平成26年度	平成27年度	平成28年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	指定管理料	163,397,000	37,133,192	171,570,000	154,850,000
	その他収入	71,134,125	3,727,318	68,639,364	71,274,134
	計	234,531,125	40,860,510	240,209,364	226,124,134
支出	運営費	0	0	0	0
	管理費	166,612,201	18,091,545	166,652,364	151,575,603
		本部経費	34,974,979	3,674,304	25,730,000
	人件費	59,172,427	21,457,647	60,000,000	59,074,617
	修繕費	4,962,513	176,040	9,557,000	8,587,782
	その他支出	0	0	4,000,000	4,124,304
	計	230,747,141	39,725,232	240,209,364	223,362,306
収支差額		3,783,984	1,135,278	0	2,761,828

(各費目内容・改善すべき点等)

平成27年度：大規模改修実施のため受付営業のみ
 平成28年度：舞台特別対応費を施設の収支決算書上に計上開始

基本評価項目

評価項目	配点	評価		得点
		レベル	乗率	配点×乗率
施設の維持管理				48
① 快適に利用できるための施設管理がなされている	30	4	80%	24
② 業務の遂行に必要な職員が配置されている	15	4	80%	12
③ 研修計画に基づいた職員の受講がなされている	15	4	80%	12
区民サービス				30
④ 利用者に対し、満足のいくサービスを提供している	15	4	80%	12
⑤ 利用者の意見を取入れ、改善につなげている	10	3	60%	6
⑥ 事故・苦情の再発防止策を策定し、効果を確認している	15	4	80%	12
合計(A)	100	-	-	78

その他の評価項目				
評価項目	配点	評価		得点
		レベル	乗率	配点×乗率
⑦ 区内事業者を活用している	5	4	80%	4
⑧ 周知活動に努めている	5	4	80%	4
合 計 (B)	10	-	-	8
評価内容				
<p>修繕工事では、37件中、専門性の高い工事等の17件を除く他の20件全てが区内事業者に発注されている。 施設情報誌の配付施設を8施設から18施設へ拡大し、配付部数も190部から340部へ増刷させている。 新装開館の周知を過去利用者へ送付する等のPRが実施されている。</p>				
改善すべき点等				
<p>利用者アンケートの収集数が少なく、積極的に多くの意見を集める必要がある。 より多様化したニーズに柔軟に対応できるよう一層の体制強化が望まれる。</p>				
合計 (A+B)				86
施設の維持管理・区民サービス等の総合評価				A

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	決算書、科目別内訳表、事業報告書等が適正に作成されており、収支推移表について要求したところ追加提出があった。	良好
	予算管理が適正である	人件費ならびに印刷製本費等が予算を上回るなど予実差異が見られたが、合理的な理由が示された。	
経営	経費の効果的活用が行われている	収支差額の実績が予算を上回り、過年度並の水準を維持し、一部費目では経費削減努力が見られた。	良好
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、一部の雇用契約書に不備があったが、改善意向が示された。	良好
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	決算状況・財務状況より安定的・継続的な運営に必要な財務力を有していると判断する。	良好

総評

サービス内容	<ul style="list-style-type: none"> ・法令を遵守し、適切な施設管理を行うとともに、利用者の要望に対し、誠実に対応している。接遇向上に向けた研修や災害時対応に関する教育も積極的に行っている。 ・地域文化団体と交流を図り、地域の文化活動の拠点として文化団体の活動支援をすることで、区の芸術文化の振興に寄与している。
財務・労務	<ul style="list-style-type: none"> ・会計手続および予算管理が適正に行われており、また経費縮減努力が行われていて、会計手続は良好である。 ・雇用契約条件、実施状況、健康診断などについて法令に準じた運用を行っているが、一部に改善を要する。 ・指定管理者であるMKT共同事業体各社の財務状態は良好であり、安定的な財務力を有している。
総合評価	<ul style="list-style-type: none"> ・サービス面、会計面、労務面は良好であり、経費の効果的活用も行われているため、荒川区民会館における指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部	
部	地域文化スポーツ部
課	文化交流推進課

平成28年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

施設概要

施設名	名称	日暮里サニーホール
	所在地	荒川区東日暮里五丁目50番5号 ホテルラングウッド4・5階
指定管理者	名称	日暮里サニーホールさくらグループ (構成団体：代表企業・株式会社コングレ、株式会社共立、株式会社スペースネットワーク)
	所在地	千代田区麴町五丁目1番 弘済会館ビル(代表企業所在地)
施設開設年月日		平成元年2月9日
現在の指定管理者による 運営開始年月日		平成24年4月1日
指定期間		平成27年4月1日～平成30年3月31日
業務内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 施設及び附帯設備(以下「施設等」という。)の利用に関する業務 2 施設等の利用等の承認、不承認及び利用承認の取消に関する業務 3 施設等の利用料金の収受、減免及び還付に関する業務 4 施設等の維持管理に関する業務 5 公益財団法人荒川区芸術文化振興財団(以下「ACC」という。)の事業に側面から協力する業務 6 利用者に対する芸術文化活動に関する情報の提供に関する業務 7 前6号のほか、区長が必要と認める業務 <p><施設の概要></p> <ul style="list-style-type: none"> ○多目的ホール 収容人員500名(フラット時)／面積404㎡ ○コンサートサロン 収容人員100名(フラット時)／面積113㎡ ○会議室 第1会議室 収容人員24名(面積57㎡) 第2会議室 収容人員12名(面積25㎡) 第3会議室 収容人員12名(面積28㎡) ※第2, 3会議室は通し使用可能 	

平成28年度の事業計画

- 1 管理運営業務
施設の安全管理(日常点検、保守点検)、報告書・統計資料の作成及び区への報告、利用者アンケート調査、情報誌の発行
- 2 研修
普通救命講習、舞台安全管理研修、個人情報取扱研修、その他施設運営に必要な研修

平成28年度の事業実績

- 1 上記管理運営事務の実施
- 2 利用料金収入 56,923,050円
- 3 稼働率 ホール70.8% コンサートサロン91.4% 会議室73.1%
- 4 利用者数 ホール63,429人 コンサートサロン32,735人 会議室44,168人

施設決算状況

年度		平成26年度	平成27年度	平成28年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	指定管理料	43,247,000	41,682,000	44,698,000	37,725,000
	その他収入	55,952,185	59,459,561	53,228,000	57,103,402
	計	99,199,185	101,141,561	97,926,000	94,828,402
支出	運営費	0	0	0	0
	管理費	46,914,076	43,713,941	53,468,050	42,459,608
		本部経費	1,360,460	-2,433,023	5,612,914
	人件費	44,860,512	46,717,925	41,693,485	46,241,679
	修繕費	2,673,412	2,246,202	2,764,465	2,472,496
	その他支出	0	0	0	0
	計	94,448,000	92,678,068	97,926,000	91,173,783
収支差額		4,751,185	8,463,493	0	3,654,619

(各費目内容・改善すべき点等)

基本評価項目

評価項目	配点	評価		得点
		レベル	乗率	配点×乗率
施設の維持管理				48
① 快適に利用できるための施設管理がなされている	30	4	80%	24
② 業務の遂行に必要な職員が配置されている	15	4	80%	12
③ 研修計画に基づいた職員の受講がなされている	15	4	80%	12
区民サービス				32
④ 利用者に対し、満足のいくサービスを提供している	15	4	80%	12
⑤ 利用者の意見を取入れ、改善につなげている	10	4	80%	8
⑥ 事故・苦情の再発防止策を策定し、効果を確認している	15	4	80%	12
合計(A)	100	-	-	80

評価項目	配点	評価		得点
		レベル	乗率	配点×乗率
⑦ 区内事業者を活用している	5	4	80%	4
⑧ 周知活動に努めている	5	4	80%	4
合 計 (B)	10	-	-	8

評価内容

消耗品購入や修繕工事に際しては、可能な限り区内事業者への発注を行っている。消耗品購入では45件中18件（40.0%）、修繕工事では15件中8件（53.3%）を区内事業者に発注している。

ムーブ町屋と一体化した情報誌「サニー・プレス」の月1回発行を継続して行い、コラム欄では区の街歩きスポットを紹介する等、区民が手に取りやすい情報誌になるよう工夫を施している。

長期利用を希望する舞踊団体に対して、適切なアドバイスや誘致を図り、稼働率向上に寄与している。

改善すべき点等

より多様化したニーズに柔軟に対応できるよう一層の体制強化が望まれる。

合計 (A+B) 88

施設の維持管理・区民サービス等の総合評価

A

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	決算書、科目別内訳表、事業報告書等が適正に作成されており、確認事項について合理的な理由が示された。	良好
	予算管理が適正である	一部予算と実績の間に乖離が見られるが、合理的な理由、および予算精度向上の意志が示され、改善の見込みがある。	
経営	経費の効果的活用が行われている	収支差額の実績が予算を上回り、過年度並の水準を維持し、一部費目では経費削減努力が見られた。	良好
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労働環境は適正である。	優良
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業者の三期の決算書に基づいて財務評価をした結果、収益性、成長性、安全性、活動性、健全性等、いずれも良好であり、収益性および安全性で特に優れた財務体質を備えている。	優良

総評

サービス内容	<p>法令を遵守し、適切な施設管理を行うとともに、利用者の要望に対し、誠実に対応している。接遇向上に向けた研修や災害時対応に関する教育も積極的に行っている。</p> <p>地域文化団体と交流を図り、地域の文化活動の拠点として文化団体の活動支援をすることで、区の芸術文化の振興に寄与している。</p>
財務・労務	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会計手続および予算管理は概ね適切に実施されている。予算精度の向上を始め一部に改善を要する。 ・ 雇用契約条件、実施状況、健康診断などについて法令に準じた運用を行っている。 ・ 法人決算は全体として優れており、とりわけコングレならびに共立の収益性と安定性が優れている。スペースネットワークの収益性が改善されるとなお良い。
総合評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ サービス面、会計面は良好、労務面は優良であり、経費の効果的活用も行われているため、日暮里サニーホールにおける指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部	
部	地域文化スポーツ部
課	文化交流推進課

平成28年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

施設概要		
施設名	名称	荒川区ムーブ町屋
	所在地	荒川区荒川七丁目50番9号 センターまちや3・4階
指定管理者	名称	ムーブ町屋さくらグループ (構成団体:代表企業・株式会社コングレ、株式会社共立、株式会社スペースネットワーク)
	所在地	千代田区麴町五丁目1番 弘済会館ビル(代表企業所在地)
施設開設年月日		平成8年6月1日
現在の指定管理者による 運営開始年月日		平成24年4月1日
指定期間		平成27年4月1日～平成30年3月31日
業務内容		<ol style="list-style-type: none"> 1 施設及び附帯設備(以下「施設等」という。)の利用に関する業務 2 施設等の利用等の承認、不承認及び利用承認の取消に関する業務 3 施設等の利用料金の收受、減免及び還付に関する業務 4 施設等の維持管理に関する業務 5 公益財団法人荒川区芸術文化振興財団(以下「ACC」という。)の事業に側面から協力する業務 6 利用者に対する芸術文化活動に関する情報の提供に関する業務 7 前6号のほか、区長が必要と認める業務 <p><施設の概要></p> <ul style="list-style-type: none"> ○多目的ホール 収容人員296席/面積343㎡ ○会議室A(ハイビジョンルーム) 収容人員70席/面積59㎡ ○会議室B(ミニギャラリー) 収容人員28名/面積70㎡ ○スタジオ 収容人員10名程度/面積51㎡ ○企画展示コーナー オープンスペース/面積145㎡ (ギャラリー) (4階全施設を使用する場合185㎡)
平成28年度の事業計画		
<ol style="list-style-type: none"> 1 管理運営業務 施設の安全管理(日常点検、保守点検)、報告書・統計資料の作成及び区への報告、利用者アンケート調査、情報誌の発行 2 研修 普通救命講習、舞台安全管理研修、個人情報取扱研修、その他施設運営に必要な研修 		
平成28年度の事業実績		
<ol style="list-style-type: none"> 1 上記管理運営事務の実施 2 利用料金収入 31,446,750円 3 稼働率 ムーブホール59.9% 会議室A 62.1% 会議室B 62.1% スタジオ70.4% 企画展示コーナー(ギャラリー) 54.3% 4 利用者数 ムーブホール40,620人 会議室A・B 11,387人 スタジオ・ギャラリー32,659人 		

施設決算状況

年度		平成26年度	平成27年度	平成28年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	指定管理料	33,991,000	35,011,000	35,524,000	35,524,000
	その他収入	29,258,898	32,908,179	29,363,000	31,679,089
	計	63,249,898	67,919,179	64,887,000	67,203,089
支出	運営費	0	0	0	0
	管理費	29,446,181	29,930,923	30,021,956	31,150,227
		本部経費	6,816,205	6,347,261	3,930,171
	人件費	31,791,380	32,259,064	32,097,571	29,349,873
	修繕費	2,655,439	2,723,013	2,767,473	2,750,176
	その他支出	0	0	0	0
	計	63,893,000	64,913,000	64,887,000	63,250,276
収支差額		-643,102	3,006,179	0	3,952,813

(各費目内容・改善すべき点等)

基本評価項目

評価項目	配点	評価		得点
		レベル	乗率	配点×乗率
施設の維持管理				48
① 快適に利用できるための施設管理がなされている	30	4	80%	24
② 業務の遂行に必要な職員が配置されている	15	4	80%	12
③ 研修計画に基づいた職員の受講がなされている	15	4	80%	12
区民サービス				32
④ 利用者に対し、満足のいくサービスを提供している	15	4	80%	12
⑤ 利用者の意見を取入れ、改善につなげている	10	4	80%	8
⑥ 事故・苦情の再発防止策を策定し、効果を確認している	15	4	80%	12
合計(A)	100	-	-	80

その他の評価項目

評価項目	配点	評価		得点
		レベル	乗率	配点×乗率
⑦ 区内事業者を活用している	5	4	80%	4
⑧ 周知活動に努めている	5	4	80%	4
合 計 (B)	10	-	-	8

評価内容

消耗品購入や修繕工事に際しては、可能な限り区内事業者への発注を行っている。消耗品購入では33件中17件（51.5%）、修繕工事では16件中9件（56.3%）を区内事業者に発注しており、過半数を占めている。

日暮里サニーホールと一体化した情報誌「ムーブ・プレス」の月1回発行を継続して行い、コラム欄では区の街歩きスポットを紹介する等、区民が手に取りやすい情報誌になるよう工夫を施している。長期利用を希望する演劇やミュージカルの団体に対して適切なアドバイスや誘致を行うことで、稼働率の向上に寄与している。

改善すべき点等

より多様化したニーズに柔軟に対応できるよう一層の体制強化が望まれる。

合計 (A+B) 88

施設の維持管理・区民サービス等の総合評価

A

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	決算書、科目別内訳表、事業報告書等が適正に作成されており、確認事項について合理的な理由が示された。	良好
	予算管理が適正である	一部予算と実績の間に乖離が見られるが、合理的な理由、および予算精度向上の意志が示され、改善の見込みがある。	
経営	経費の効果的活用が行われている	収支差額の実績が予算を上回り、過年度に比べ向上し、一部費目では経費削減努力が見られた。	優良
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労働環境は適正である。	優良
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業者の三期の決算書に基づいて財務評価をした結果、収益性、成長性、安全性、活動性・健全性等、いずれも良好であり、収益性および安全性で特に優れた財務体質を備えている。	優良

総評	
サービス内容	法令を遵守し、適切な施設管理を行うとともに、利用者の要望に対し、誠実に対応している。接遇向上に向けた研修や災害時対応に関する教育も積極的に行っている。 地域文化団体と交流を図り、地域の文化活動の拠点として文化団体の活動支援をすることで、区の芸術文化の振興に寄与している。
財務・労務	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会計手続および予算管理は概ね適切に実施されている。予算精度の向上を始め一部に改善を要する。 ・ 雇用契約条件、実施状況、健康診断などについて法令に準じた運用を行っている。 ・ 法人決算は全体として優れており、とりわけコングレならびに共立の収益性と安定性が優れている。スペースネットワークの収益性が改善されるとなお良い。
総合評価	・ サービス面、会計面は良好、労務面は優良であり、経費の効果的活用も行われているため、荒川区ムーブ町屋における指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部	
部	地域文化スポーツ部
課	文化交流推進課

平成28年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

施設概要		
施設名	名称	荒川区立町屋文化センター
	所在地	荒川区荒川七丁目20番1号
指定管理者	名称	公益財団法人 荒川区芸術文化振興財団
	所在地	荒川区荒川七丁目20番1号
施設開設年月日		昭和63年11月1日
現在の指定管理者による 運営開始年月日		平成18年4月1日
指定期間		平成27年4月1日～平成30年3月31日
業務内容		生涯学習の推進と地域文化の振興を図ることを目的として、文化・カルチャー講座の開催、区民の学習、文化活動に役立つ情報提供や相談業務、施設の案内等を行う。 【施設概要】 会議室4室（33人～45人）、多目的ホール（154人）、音楽練習室、ふれあい広場
平成28年度の事業計画		
<ul style="list-style-type: none"> ・区民の学習・文化活動の場を提供し、生涯学習の推進と地域文化の振興を図る。 ・カルチャー講座では、絵画や音楽、外国語など幅広いジャンルの講座を実施する。 ・自主事業として、利用者や地域住民が自由に鑑賞できる「なないろひろば」や「一日文化体験フェア」等を開催し、普段あまり来館しない利用者層にも足を運んでもらうきっかけ作りとする。 ・28年度も昨年度と同様に年2回のアンケートのほか、意見箱・懇親会等により、時期によって異なる要望を把握し、利用者のニーズに合ったサービスを提供する。 ・貸出施設及び館内の案内・施設問合せ対応・各種講座・清掃業務・機械設備等点検業務を適切に実施する。 		
平成28年度の事業実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・「なないろひろば事業」は開催5年目となり、延べ1,010人の参加があり、地域事業として根付いてきている。また、「一日文化体験フェア」は、体験講座に加えて、特別講演会やスタンプラリー、被災地支援物産展など、工夫を凝らして事業を展開し、延べ1,200人の参加があった。 ・カルチャー講座は659講座を実施し、受講者は4,388人と、前年度より296人の減少となった。 ・施設管理については、老朽化した設備や備品等の修繕を管理者として実施した他、電子ピアノや茶道用具一式の更新を行い、附帯設備の充実を図った。 また、大規模災害時の帰宅困難者一時受入れに備え、施設の備蓄物資として、アルファ米と乾パン300食、水300ℓを整えた。 		

施設決算状況

年度		平成26年度	平成27年度	平成28年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	指定管理料	23,342,000	24,192,000	24,257,000	24,257,000
	その他収入	14,368,828	14,318,448	13,700,000	14,213,852
	計	37,710,828	38,510,448	37,957,000	38,470,852
支出	運営費	1,129,619	1,144,089	0	1,122,484
	管理費	29,874,189	29,665,953	31,873,632	29,705,557
		本部経費	0	0	0
	人件費	3,479,936	3,891,888	3,795,368	3,737,456
	修繕費	2,408,324	2,510,460	2,288,000	2,319,694
	その他支出	0	0	0	0
	計	36,892,068	37,212,390	37,957,000	36,885,191
収支差額		818,760	1,298,058	0	1,585,661

(各費目内容・改善すべき点等)

基本評価項目

評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
施設の維持管理				24
快適に利用できるための施設管理がなされている	10	4	80%	8
業務遂行に必要な職員が配置されている	10	4	80%	8
研修計画に基づいた職員の受講がなされている	10	4	80%	8
区民サービス				56
施設利用等の満足度が高い	30	4	80%	24
防災計画に明示されている訓練等を行っている	20	4	80%	16
事故・苦情の再発防止に向けた取組を行っている	20	4	80%	16
合計(A)	100	-	-	80

その他の評価項目				
評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
地域との連携・協働	5	4	80%	4
区内事業者の活用	5	4	80%	4
合 計 (B)	10	-	-	8
評価内容				
<p>・「一日文化体験フェア」や「なないろひろば」等の地域住民が気軽に参加できる事業の他、プレイコーナーを「街なか避暑地」や「ほっとサロン」として開放し、地域交流の場としても活用している。</p> <p>・28年度は13の再委託業務のうち10業務について区内の業者に再委託。消耗品購入や修繕等でも区内業者を活用するようにしている。</p>				
改善すべき点等				
合 計 (A+B)				88
施設の維持管理・区民サービス等の総合評価				A

財務・労務評価表				
評価項目		評価内容	評価	
会計	会計手続が適正である	決算書、科目別内訳表、事業報告書等が適正に作成されており、経費計算の精度向上が図られている。	良好	
	予算管理が適正である	予算実績差異はもっぱら経費節減努力等の要因による支出減少である。自主事業の予算管理の更なる適正化に向けた意向が示された。		
経営	経費の効果的活用が行われている	収入の水準がほぼ維持され、また経費削減努力等による収支差額の増大が見られた。	優良	
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労働環境は適正である。	優良	
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	健全な財務力と高い安定性を有しており、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している。	良好	

総評	
サービス内容	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者アンケートに加え、講座利用者、講座講師、一般利用者等による「利用者懇談会」を実施し、利用者ニーズの把握に努めている。 ・老朽化した設備や備品の修繕及び更新を適切に行ったほか、大規模災害時の帰宅困難者一時受入れに備えて備蓄物資を整え、安全安心で快適な施設管理を進めたことは、評価できる。 ・区民が気軽に参加できる「1日文化体験フェア」、無料でコンサートや落語、講演会などに参加できる「なないろひろば」等の自主事業により、広く地域の利用者層の拡大を図っている。
財務・労務	<ul style="list-style-type: none"> ・会計手続および予算管理が適正に行われており、また経費縮減努力が行われていて、会計手続は良好である。 ・雇用契約条件、実施状況、健康診断などについて法令に準じた運用を行っている。 ・指定管理者である公益財団法人荒川区芸術文化振興財団は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等がいずれも良好であり、安定的な財務力を有している。
総合評価	<ul style="list-style-type: none"> ・サービス面、会計面は良好であり、労務面は優良で、経費の効果的活用も行われているため、指定管理業務は適正であったと評価できる。また、昨年と比較して、事業内容の工夫がなされ、適正な運営が行われている。

担当所管部	
部	地域文化スポーツ部
課	生涯学習課

平成28年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

施設概要		
施設名	名称	荒川区立生涯学習センター
	所在地	荒川区荒川三丁目49番1号
指定管理者	名称	株式会社 読売・日本テレビ文化センター
	所在地	江東区清澄一丁目2番1号
施設開設年月日		平成9年7月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成18年4月1日
指定期間		平成27年4月1日～平成30年3月31日
業務内容	<p>区民の生涯にわたる学習の場の提供や、多様化する学習要望への対応として、区民のニーズを考慮しながら講座を開催するとともに、生涯学習の情報提供、学習相談など学習活動の推進を図る。</p> <p>【施設概要】 会議室5室（30人～80人）、音楽室（40人）、多目的室（60人）、コンピューター室、学習室、情報提供コーナー、体育館、多目的広場</p>	

平成28年度の事業計画

- ・区民カレッジについては、俳句関連講座「俳句を旅する～芭蕉から山頭火まで」など、講座の柱は維持しながら、新たな講師に講義を依頼していく。夏休みには、前回好評だった読響OBのコンサートを実施し、一般の方から家族連れまで楽しめる企画とする。
- ・IT講習会は、初歩的な講座よりも実践的な講座を求める傾向が強くなっているため、「年賀状作成」や「写真加工」などの実用講座を増やし、区民のパソコンスキルの向上を支援していく。
- ・施設管理については、利用者が安全で快適に過ごせる施設を目指して、経年劣化の見られる設備に対して修繕等の対応を行う。受付業務については、利用者に挨拶・声掛けを積極的に行うなど、親しみのもてる雰囲気づくりに努める。

平成28年度の事業実績

- ・区民カレッジは、年間受講者の総数は3,688人と前年度より165人減少となったが、全体として多くの応募者があり、安定した参加実績が続いている。
- ・IT講習会は、一人ひとりの受講者ニーズに対応するため、引き続き段階的な講座構成により実施した。また、パワーポイントや写真加工等の実践的講座を増やした。
- ・施設管理としては、女子トイレ1か所の洋式化や多目的室の床の改修等、課題となっていた箇所を優先して修繕を実施した。
- ・受付業務については、利用者に積極的に挨拶を行い、接遇の向上と利用者に親しまれる雰囲気づくりに努めた。また、施設アンケートは多くの団体等に呼びかけ、前年度より100枚以上多い776枚を回収し、利用者の声の把握に努めた。

施設決算状況

年度		平成26年度	平成27年度	平成28年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	指定管理料	62,103,000	60,940,000	60,818,900	60,818,900
	その他収入	2,387,072	2,413,233	2,336,500	2,214,203
	計	64,490,072	63,353,233	63,155,400	63,033,103
支出	運営費	7,543,868	7,543,740	7,957,000	8,285,039
	管理費	32,320,096	32,218,925	33,209,400	32,735,464
	本部経費	7,215,735	7,073,519	7,284,000	6,186,000
	人件費	21,292,856	19,035,245	19,989,000	19,902,564
	修繕費	2,466,535	2,351,349	2,000,000	2,008,584
	その他支出	0	0	0	0
	計	63,623,355	61,149,259	63,155,400	62,931,651
収支差額		866,717	2,203,974	0	101,452

(各費目内容・改善すべき点等)

基本評価項目

評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
施設の維持管理				26
快適に利用できるための施設管理がなされている	10	4	80%	8
業務遂行に必要な職員が配置されている	10	5	100%	10
研修計画に基づいた職員の受講がなされている	10	4	80%	8
区民サービス				62
施設利用等の満足度が高い	30	5	100%	30
防災計画に明示されている訓練等を行っている	20	4	80%	16
事故・苦情の再発防止に向けた取組を行っている	20	4	80%	16
合計(A)	100	-	-	88

その他の評価項目

評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
地域との連携・協働	5	4	80%	4
区内事業者の活用	5	4	80%	4
合 計 (B)	10	-	-	8

評価内容

・シルバー人材センターを活用するとともに、パート職員は区民を積極的に雇用している。28年度のパート職員11人のうち8人が区民であった。
 ・多目的広場は、近隣保育園の遊び場、運動会、町会行事の活動場所として提供しており、地域と連携しながら運営している。
 ・28年度は、12事業者のうち8事業者について区内の業者に再委託。修繕工事では、9割以上の修繕で区内業者を活用した。

改善すべき点等

合計 (A+B) 96

施設の維持管理・区民サービス等の総合評価

A

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	決算書、科目別内訳表、事業報告書等が適正に作成されており、確認事項について合理的な理由が示された。	良好
	予算管理が適正である	印刷製本費等一部予算と実績の間に乖離が見られるが、原因分析が十分行われており、合理的な理由が示された。	
経営	経費の効果的活用が行われている	委託料等の増加による収支差額の悪化が見られたが、改善意向が示された。経費削減努力が見られた。	良好
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労働環境は適正である。	優良
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	健全な財務力と高い安定性を有しており、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している。	良好

総評

サービス内容	<ul style="list-style-type: none"> ・区民カレッジは、全ての講座で定員を超える応募があるなど、大変好評となっている。より多くの方が参加できるよう、イス席を増やすなど、実施方法についても工夫をしている。 ・1階の女性トイレ1か所を洋式化するなど、利用者からの意見に迅速に対応したほか、事故や苦情について区に迅速に報告し、区と協力して事態の把握と再発防止の対応を図っている。 ・人員体制について、土日及び夜間の配置人数を2人から3人に増員し、サービスの向上と危機管理体制の強化を進めていることは評価できる。
財務・労務	<ul style="list-style-type: none"> ・会計手続および予算管理は適切に実施されている。利用料収入の維持・拡大に向けた努力と創意工夫を継続することが望まれる。 ・雇用契約条件、実施状況、健康診断などについて法令に準じた運用を行っている。 ・指定管理者である株式会社読売・日本テレビ文化センターは、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等が良好であり、安定的な財務力を有している。
総合評価	<ul style="list-style-type: none"> ・サービス面、会計面は良好、労務面は優良であり、経費の効果的活用も行われているため、指定管理業務は適正であったと評価できる。また、昨年と比較して、事業内容の工夫がなされ、適正な運営が行われている。

担当所管部	
部	地域文化スポーツ部
課	生涯学習課

平成28年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

施設概要		
施設名	名称	荒川区立清里高原ロッジ・荒川区立清里高原少年自然の家
	所在地	山梨県北杜市高根町清里3545番地5
指定管理者	名称	ニッコクトラスト・東京パワーテクノロジープロジェクト
	所在地	東京都中央区日本橋堀留町二丁目4番3号 新堀留ビル9階
施設開設年月日		昭和58年4月15日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成18年4月1日
指定期間		平成27年4月1日～平成30年3月31日
業務内容		<p>荒川区民、在勤在学者及びその家族、区立小中学校の移動教室等の利用者が、自然観察等を行えるように賄業務や宿泊業務等のサービス提供と、利用者が快適に過ごせるように清掃業務や機械設備等の保守点検等の施設維持を行う。</p> <p>【施設概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定員：ロッジ35人、少年自然の家200人 ・ロッジ：宿泊室12畳5室、9畳（ベッド）1室 研修室洋間55㎡、談話室、食堂、浴室 ・少年自然の家：宿泊室24.5畳10室、研修室24.5畳1室 リーダー室10畳2室・8畳2室、食堂、浴室、体育館 ・開設期間（平成28年度）：4月29日（金）～11月6日（月）
平成28年度の事業計画		
<ul style="list-style-type: none"> ・管理フロント業務、賄業務、清掃業務、機械設備等の保守点検業務を適切に実施する。 ・自動販売機の設置による飲料水の提供や、朝・夕食時のサラダバーの設置、浴衣や歯磨きセット等のアメニティの提供等により、利用者サービスの向上を図る。 ・区報及びホームページへの施設情報の掲載により、施設の魅力をPRする。 ・自主事業として、区やレクリエーション協会と共催により、バスツアー（区民ハイキング）を実施する。 		
平成28年度の事業実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・管理フロント業務、賄業務、清掃業務、機械設備等の保守点検業務について、計画どおり適切に実施することができた。賄いについては、地産野菜のサラダバーや朝食時の牛乳等のサービスなど、地域資源を活かしたおもてなしを引き続き実施し、好評であった。 ・利用者実績は、学校利用は5,467人となり前年度より1,422人の減少。一般及び社会教育関係団体の利用は1,657人と、100人の減少となった。 ・定期的に区報及びホームページへ施設情報を掲載し施設の魅力を発信するとともに、施設の案内パンフレットを区内施設等に配布することで、施設のPRを図った。 ・区及びレクリエーション協会との共催により、1泊2日のバスツアー（区民ハイキング）を50名規模で実施することができたことに加え、夏季における一般利用者の増加に向け、「ランニング合宿「N清里」」を新たな事業として実施し、好評であった。 		

施設決算状況

年度		平成26年度	平成27年度	平成28年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	指定管理料	52,738,000	51,015,000	55,826,000	55,826,000
	その他収入	25,291,072	22,695,955	20,582,000	18,824,431
	計	78,029,072	73,710,955	76,408,000	74,650,431
支出	運営費	539,113	1,064,967	858,000	276,210
	管理費	57,629,840	51,966,946	54,831,000	50,846,553
	人件費	17,371,936	17,093,776	18,617,000	16,027,697
	修繕費	2,005,138	2,013,281	2,000,000	2,132,479
	その他支出	0	0	0	0
	計	77,546,027	72,138,970	76,306,000	69,282,939
収支差額		483,045	1,571,985	102,000	5,367,492

(各費目内容・改善すべき点等)

・28年度は、重油単価の変動による燃料費の実績減、人件費の実績減などにより、収支差額が増加した。

基本評価項目

評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
施設の維持管理	30			24
快適に利用できるための施設管理がなされている	10	4	80%	8
業務遂行に必要な職員が配置されている	10	4	80%	8
研修計画に基づいた職員の受講がなされている	10	4	80%	8
区民サービス	70			56
施設利用等の満足度が高い	30	4	80%	24
防災計画に明示されている訓練等を行っている	20	4	80%	16
事故・苦情の再発防止に向けた取組を行っている	20	4	80%	16
合計(A)	100	-	-	80

その他の評価項目

評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
地域との連携・協働	5	4	80%	4
自主事業への取組	5	5	100%	5
合 計 (B)	10	-	-	9

評価内容

・地産野菜や地元工場生産の牛乳を利用者に提供し、好評を得ている。また、地元シルバー人材センター活用による敷地内の雑木林整備や、清里観光振興会のホームページに施設情報の掲載を依頼するなど、地域と連携を図りながらPRに努めている。

・28年度も、区及びレクリエーション協会との共催で、バスツアー（区民ハイキング）を実施したほか、標高1300mの立地を生かす事業として、区と連携しながら、新たにランニング合宿事業を開始し、好評を得た。

改善すべき点等

合計 (A+B) 89

施設の維持管理・区民サービス等の総合評価

A

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	決算書、科目別内訳表、事業報告書等が適正に作成されており、確認事項について合理的な理由が示された。	良好
	予算管理が適正である	ごみ処理費等、一部予算と実績の間に乖離が見られるが、原因分析が十分行われており、合理的な理由が示された。	
経営	経費の効果的活用が行われている	利用料収入改善策が実施され、一部に効果が顕れた。経費削減に向けた一定の努力が見られた。	良好
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、雇用契約書の管理に一部改善を要する。	良好
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	健全な財務力と高い安定性を有しており、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している。	良好

総評

サービス内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 開設から34年が経過して施設設備の劣化が進むなか、機械設備の保守点検等や修繕を適切に実施し、安全かつ快適な施設づくりに努めている。 また、開設前清掃や日常清掃の徹底、食事選択制の導入や地産食材の提供など、継続的に、良好なサービスの提供を行っている。 ・ 食物アレルギーへの対応については、マニュアルに沿った料理提供の徹底を図るとともに、再委託先の弁当業者に対しても区と協力して注意喚起を行い、事故防止に努めた。 ・ 施設の利用者増加と区民サービスの向上に向けて、区民ハイキングを実施したほか、新たにランニング合宿事業を区と連携して開始するなど、積極的な姿勢は評価できる。
財務・労務	<ul style="list-style-type: none"> ・ 予算管理は適正である。収益力強化と会計手続きの適正化に向けた一層の努力を望む。 ・ 雇用契約条件、実施状況、健康診断などについて法令に準じた運用を行っている。宿泊施設としての営業実態に即した労務管理体制を強化されたい。 ・ 指定管理者である株式会社ニッコトラストは経営改善に向けた取り組みが進んでおり、また東京パワーテクノロジー株式会社は業績が一層伸長していることから、全体として安定的な財務体質の確立に到達しつつある。
総合評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ サービス面、会計面、労務面ともに良好であり、経費の効果的活用も行われているため、指定管理業務は適正であったと評価できる。また、昨年と比較して、事業内容の工夫がなされ、適正な運営が行われている。

担当所管部	
部	地域文化スポーツ部
課	生涯学習課

平成28年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

施設概要		
施設名	名称	荒川総合スポーツセンター
	所在地	荒川区南千住六丁目45番5号
指定管理者	名称	TM共同事業体
	所在地	代表企業：株式会社東京アスレティッククラブ 中野区中野二丁目14番16号
施設開設年月日		昭和60年6月2日
現在の指定管理者による 運営開始年月日		平成19年4月1日
指定期間		平成28年4月1日～平成31年3月31日
業務内容		<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツセンターの施設及び附帯設備の使用に関する業務 ・スポーツ及びレクリエーションの普及・振興に関する業務 ・利用の承認及び利用の不承認に関する業務 ・利用料金の收受、減免及び還付に関する業務 ・利用承認の取消し等に関する業務 ・施設等の変更の承認に関する業務 ・スポーツセンターの施設等の維持管理に関する業務 ・その他スポーツセンターの管理に関し、荒川区が必要と認める業務

平成28年度の事業計画

- ・利用者の声に耳を傾け「安全・安心・快適」な空間を提供する。
- ・区民の誰もが楽しく気軽にスポーツを楽しめる健康づくりの場を提供する。
- ・人員計画に定める職員を適正に配置すると共に、各種研修を実施し人材育成に努める。
- ・利用率の向上をめざす（利用者数、年間600,000人を目標）。
- ・利用者からの要望が多い、子ども向け教室の充実を図る。
- ・セルフモニタリングの結果を反映したサービスの向上を図る。
- ・経費の縮減を念頭においた運営を行い、電気・ガス・水道使用量の縮減に努める。
- ・キッズルームの利用者増を目指す（無料開放利用者数、12,000人を目標）。

平成28年度の事業実績

【利用者数】

- ・団体利用者数 271,688人(前年度比 +9,407人)
- ・個人利用者数 159,269人(前年度比 +21,087人)
- ・利用料免除者 62,186人(前年度比 +8,091人)
- ・教室受講者数 156,020人(前年度比 +20,777人)
- 合計 649,163人(前年度比 +59,362人)

【教室・講習会】

- ①固定会員制教室（スポーツ教室／17種類・1,121回(+1)）（水泳教室／10種類・2,328回(+480)）
- ②自由会員制教室（スポーツ教室／13種類・654回(+22)）（水泳教室／2種類・299回(+68)）
- ③キッズルーム教室（14種類・1,154回(△18)）
- ④自主事業教室（26種類・1,630回(+87)）

施設決算状況

年度		平成26年度	平成27年度	平成28年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	指定管理料	98,268,030	111,079,344	103,011,610	102,968,028
	その他収入	182,567,786	164,009,376	171,854,512	190,099,236
	計	280,835,816	275,088,720	274,866,122	293,067,264
支出	運営費	401,120	0	2,879,974	986,310
	管理費	125,172,506	114,068,270	120,673,135	116,924,456
		本部経費	21,497,378	14,155,713	25,621,596
	人件費	111,712,578	113,869,408	110,319,988	109,836,294
	修繕費	14,441,323	21,731,099	15,371,429	15,327,847
	その他支出	0	0	0	0
	計	273,224,905	263,824,490	274,866,122	272,991,262
収支差額		7,610,911	11,264,230	0	20,076,002

(各費目内容・改善すべき点等)

- ・個人利用と教室受講の増加により、収支は予算額を上回る黒字である。
- ・体験型の教室や大人向け教室を新たに実施したほか、健康落語会の開催など、子どもから高齢者まで新たな区民の利用促進を図る取組を行ったことにより、利用者及び収入の増加を図っている。
- ・「本部経費」には、共同事業体の経理に係る管理経費と教室事業の事業企画費、本部が派遣した講師及び受付に要する経費等を計上。
- ・平成27年度の「本部経費」は、プール休業（3か月）による教室事業中止に伴い大幅に減少している。
- ・「運営費」には広告費、損害保険料を計上。（平成27年度は左記項目に関する決算は無し）
- ・なお、指定管理者は、協定に基づき「収支差額（収益）」の2分の1を区に納付する。

基本評価項目

評価項目	配点	評価		得点
		レベル	乗率	配点×乗率
施設の維持管理	40	—	—	34
建物・設備・備品等が適切に管理されている	10	4	80%	8
利用者が快適に利用できるよう清掃されている	10	4	80%	8
プール施設の衛生管理が適切に実施されている	10	5	100%	10
業務の遂行に必要な職員が配置されている	10	4	80%	8
区民サービス	60			53
利用者アンケートの結果、施設利用の満足度が高い	15	4	80%	12
区民の体力向上・健康増進に資する事業展開を行っている	15	5	100%	15
地域との連携、地域貢献を行っている	10	4	80%	8
事故や災害発生時の適切な対応体制が構築されている	10	5	100%	10
個人情報の保護に対する体制が構築されている	10	4	80%	8
合計(A)	100	-	-	87

その他の評価項目

評価項目	配点	評価		得点 配点×乗率
		レベル	乗率	
障がい者スポーツ推進の取組を実施している	5	3	60%	3
区民雇用、区内業者への発注を積極的に行っている	5	5	100%	5
合 計 (B)	10	-	-	8

評価内容

- ・施設の老朽化が目立つなか、安全性や利便性に配慮し、適切な施設管理が行われている。
- ・事業運営においても、利用者の意見を積極的に取り入れ、必要な見直しを迅速に行うなど、区民のニーズに即した運営を行っている。
- ・障がい者スポーツについて、区主催のサポーター養成講座への参加やイベントにおける体験会の実施など、取組の姿勢について評価できるものであるが、障がい者スポーツに関わる資格を有する職員の育成が課題である。

改善すべき点等

- ・区や体育協会のほか、近隣の警察署や消防署と協力を図るなど、地域団体等との連携について一定程度評価できるが、さらに積極的な取組を期待する。

合計 (A+B)	95
施設の維持管理・区民サービス等の総合評価	A

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	決算書、科目別内訳表、事業報告書等が概ね適正に作成されており、一部の経費処理に関する指摘事項について、速やかに修正された。	良好
	予算管理が適正である	利用料の前受金の計上に関する指摘事項について速やかに修正され、予算管理は適正である。	
経営	経費の効果的活用が行われている	広告費、保険料等の費目について見直しが見られ、予算削減努力が見られた。	優良
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、一部雇用契約書および賃金台帳に関する指摘事項について速やかに修正され、また追加の資料が提出された。	良好
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業者の三期の決算書に基づいて財務評価をした結果、安全性に一部注意を要するものの、収益性、成長性、活動性、健全性等良好であり、健全な財務体質を備えている。	良好

総評

サービス内容	<p>利用者の意見・要望を取り入れた事業運営を行うと共に、スポーツに触れる機会の少なかった区民にスポーツを楽しむ機会を提供するための取組を積極的に行い、利用者数を大幅に増（前年度比 約6万人増）したことは、区民へのスポーツ機会の提供、スポーツ意欲の向上につながるものであり、高く評価することができる。</p>
財務・労務	<ul style="list-style-type: none"> ・会計手続について、概ね適切に実施されており、更なる改善に向けた意向が示され、会計手続は適正である。 ・また労務面については、雇用契約条件、実施状況、健康診断などについて法令に準じた運用を行っている。一部指摘事項についても、すぐに改善がされた。 ・指定管理者であるTM共同事業体は、収益性、成長性、安定性、活動性、健全性等いずれも概ね良好であり、安定的な財務力を有している。
総合評価	<p>・サービス面、会計面、労務面は良好であり、経費の効果的活用も行われており、全体として指定管理事業は確実に行われていたと評価できる。</p>

担当所管部	
部	地域文化スポーツ部
課	スポーツ振興課

平成28年度 指定管理者実績評価結果表【A施設】

施設概要

施設名	名称	荒川区立特別養護老人ホームグリーンハイム荒川
	所在地	荒川区南千住六丁目36番5号
指定管理者	名称	社会福祉法人 聖風会
	所在地	足立区花畑四丁目39番10号
施設開設年月日		平成元年4月1日
現在の指定管理者による 運営開始年月日		平成元年4月1日
指定期間		平成24年4月1日～平成29年3月31日（5年間）
業務内容		<p>要介護と認定をされ、常時介護が必要で在宅介護を受けることが困難な高齢者に対し、入浴、排泄、食事等の日常生活上の介護や機能訓練、健康管理等のサービスを提供する。</p> <p>（定員）特養 100名 短期入所生活介護（ショートステイ）10名</p>

平成28年度の事業計画

- 1 【法人が設定した目標利用率】特養：95.0%、ショートステイ：105.0%
- 2 利用者の健康管理の徹底を図り、利用者の状況変化の早期発見・早期対応に努めるとともに、入院時における空床ベッドを活用したショートステイの利用を図るなど、安定した事業運営を目指す。
- 3 安定した質の高い介護サービスを提供するため、職員を指導する役職に就く係長・主任・リーダーの育成を図る。
- 4 利用者が安心してサービスの利用ができるよう、職員の質の向上を目的に定期的に研修を実施する。
- 5 利用者の日々の生活が楽しめるよう、余暇活動に季節感を取り入れた支援を実施する。

平成28年度の事業実績

- 1 特養：利用率93.2% 平均介護度4.0、ショートステイ：利用率94.9% 平均介護度3.0
- 2 体調管理を徹底することで、早期に医療機関へつなげることができ、ベッドの効率的な運用ができた一方で、1月から2月にインフルエンザが発生するなどしたため、全体の利用率は横ばいに推移した。
- 3 外部講師を招き研修を実施したことで、リーダー職以上の職員の意識改革やスキルアップが図られた。
- 4 一般職員全員に対して、ユニット会議等を利用し感染症研修や衛生研修などの基礎研修を実施したことにより、一定水準の知識と介護技術を持ちサービス提供に努めた。
- 5 施設内に季節感のある飾りつけを行うとともに、納涼祭やクリスマス会を実施した。また、力士の慰問、保育園やふれあい館の子供たちとの交流を図り利用者に楽しい一時を提供できた。

施設決算状況

年度		平成26年度	平成27年度	平成28年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	介護保険事業収益	440,660,886	438,487,653	449,725,000	443,522,476
	その他収入	124,280	25,720	575,000	2,068,200
	計	440,785,166	438,513,373	450,300,000	445,590,676
支出	運営費	68,707,536	67,729,490	70,183,000	66,537,638
	管理費	53,953,299	56,044,887	55,758,000	59,692,876
	本部経費	—	—	—	—
	人件費	313,252,391	318,741,136	313,514,000	349,259,126
	修繕費	3,992,616	3,910,968	3,800,000	3,792,040
	その他支出	2,917,801	3,251,341	162,000	2,116,555
	計	442,823,643	449,677,822	443,417,000	481,398,235
収支差額		-2,038,477	-11,164,449	6,883,000	-35,807,559

(各費目内容・改善すべき点等)

- ・介護保険事業収益により運営を行っており、区として指定管理料を支出していない。
- ・4年連続の赤字決算となっている。特に赤字幅が拡大しているのは、人件費における職員の賞与引当金について、計上時期の適格化を図るため28年度から計上したこと、また、翌年度決算としていた非常勤職員の3月分の給与等についても当該年度に計上したことに起因する一過性のものである。

法令基準等への適合状況

確認項目		適合判断
運営基準を満たしているか		
	運営規定を定めており、適切に守られている	○
	重要事項を記した文書を交付して説明を行い、利用者等の同意を得ている	○
	食中毒及び感染症を防止する処置等を行っている	○
人員配置基準を満たしているか		
	管理者を配置している	○
	看護職員、介護職員等を配置している	○
設備基準を満たしているか		
	サービス提供に必要な設備を備えている	○

結果

適合

その他の評価項目

項目	評価	極めて良好である	良好である	取組が行われていない、または取組が十分でない
利用率（特養）		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
利用者アンケートの結果、施設利用の満足度		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自主的な取り組み		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

評価内容

- ・利用率については、93.2%と良好である。
- ・利用者アンケートの結果から、施設サービス全般に対する満足度が89%に達するなど、良好な評価を得ている。
- ・自主的な取り組みについては、おげんきランチ卒業者向けに「みなこいランチ」の実施や施設主催による「みなこい祭り」をはじめ、防災訓練などの行事や各イベントを通じ、近隣の町会・保育園・ふれあい館等と日頃より交流を深めるとともに、ボランティアの受入れも積極的に行うなど開かれた施設として地域に貢献していることが評価ができる。

改善すべき点等

- ・利用率は良好であるが、更なる利用率の向上や収支の改善に向けた取り組みが必要である。

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	グリーンハイム荒川拠点区分の決算であるが適正な手続きと見られる。	良好
	予算管理が適正である	予算管理に特段の問題は見られない。	
経営	経費の効果的活用が行われている	人件費の増加に伴い経費全体も増加しているが、一過性のものと認められる。	良好
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労働環境は適正である。	優良
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	成長性、収益性、安定性、活動性、健全性等は、事業所の三期の決算書に基づき総合的に判断し良好である。	良好

総評

サービス内容	<ul style="list-style-type: none"> ・入浴、排泄、食事等の日常生活上の介護や機能訓練、健康管理等のサービス提供を専門的なスキルをもって、安定的に実施している。 ・利用者が穏やかにその人らしく安らかな最期を迎えるよう他職種と連携し、看取り介護にも取り組んでいる。 ・職員の意識や質を高めるため、リーダー向けの研修・新入職者研修など、職員のスキルアップや体制整備などに取り組んでいる。今後、職員の確保がより困難になると見込まれる中で、安定的な職員の確保ため、計画的な職員採用や育成が望まれる。
財務・労務	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の会計手続や予算管理は適正である。サービス活動収支の差額に赤字が続いているため、利用率等の改善とともに、一過性ではあるものの、人件費の増加に伴い経費全体も増加しているため、経費の効果的活用に向けて努力が必要である。 ・雇用契約条件、実施状況、健康診断などについて法令に準じた運用を行っている。 ・指定管理者である社会福祉法人聖風会は、収益性、成長性、安定性、活動性、健全性等いずれも良好であり、安定的な財務力を有している。
総合評価	<ul style="list-style-type: none"> ・法令基準については、すべて適合している。利用者に対するサービスの提供や労務管理についても適切に行われていた。サービス活動収支の差額に赤字が続いているため、利用率の向上および収支の改善が必要である。

担当所管部	
部	福祉部
課	福祉推進課

平成28年度 指定管理者実績評価結果表【A施設】

施設概要

施設名	名称	荒川区立特別養護老人ホームサンハイム荒川
	所在地	荒川区南千住三丁目14番7号
指定管理者	名称	社会福祉法人 上宮会
	所在地	荒川区東日暮里二丁目29番8番
施設開設年月日		平成7年2月1日
現在の指定管理者による 運営開始年月日		平成7年2月1日
指定期間		平成24年4月1日～平成29年3月31日（5年間）
業務内容		<p>要介護と認定をされ、常時介護が必要で在宅介護を受けることが困難な高齢者に対し、入浴、排泄、食事等の日常生活上の介護や機能訓練、健康管理等のサービスを提供する。</p> <p>（定員）特養 56名 短期入所生活介護（ショートステイ）12名</p>

平成28年度の事業計画

- 1 【法人が設定した目標利用率】特養：95.0%、ショートステイ：100.0%
- 2 安定した経営を行うため、前年度の利用率を保つとともに、ショートステイについては利用率100%を目標とする。
- 3 利用者や家族からの相談やサービス提供の体制強化を図り、地域福祉の拠点として、地域コミュニティに積極的に参画し交流を深める。
- 4 施設介護サービスにおいて、ケース会議等での協議や意見交換により作成されたケアプランに基づき生活支援を行う。
- 5 事故・感染症予防等のリスクマネジメントについて、衛生管理対策などの意識付けや個々の啓発に努めるよう講習等を実施する。

平成28年度の事業実績

- 1 特養：利用率89.3% 平均介護度3.9、ショートステイ：利用率120.6% 平均介護度2.8
- 2 これまでの経験を活かした感染症対策等を実施したことにより、利用率の低下を最小限に留めた。ショートステイにおいては、利用率120%を達成した。
- 3 町内会、高校、保育園等の行事に積極的に参加し、地域に根づいた特養として地域福祉に努め、利用者の生きがい支援につなげた。
- 4 モニタリングを定期的に行い、ケース会議においてケアの状態を確認するなど、プランの適切な見直しを行うとともに、職員研修や講習会も積極的に実施し、ケア方法等の見直しも図った。
- 5 事故防止については、同じことが起こらないよう過去のヒヤリハット分析や要因について、職員に周知徹底した。感染予防については、外部からの持ち込みを防ぐよう徹底したことで、蔓延防止にもつながった。

施設決算状況

年度		平成26年度	平成27年度	平成28年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	介護保険事業収益	278,074,023	297,623,752	333,013,000	288,162,597
	その他収入	10,793,364	260,685	2,172,000	50,000
	計	288,867,387	297,884,437	335,185,000	288,212,597
支出	運営費	48,120,409	53,730,624	46,840,000	119,155,891
	管理費	58,642,100	36,115,577	53,405,000	40,047,790
	本部経費	—	—	—	—
	人件費	165,169,219	185,675,402	188,462,000	204,558,248
	修繕費	1,179,339	934,565	2,800,000	1,493,780
	その他支出	4,105,843	4,545,548	1,260,000	4,951,609
	計	277,216,910	281,001,716	292,767,000	370,207,318
収支差額		11,650,477	16,882,721	42,418,000	-81,994,721

(各費目内容・改善すべき点等)

- ・介護保険事業収益により運営を行っており、区として指定管理料を支出していない。
- ・指定管理者変更に伴う引継ぎ業務により運営費や、職員の退職金支払いによる人件費が増加したことにより、大幅な赤字決算となっている。

法令基準等への適合状況

確認項目		適合判断
運営基準を満たしているか		
運営規定を定めており、適切に守られている		○
重要事項を記した文書を交付して説明を行い、利用者等の同意を得ている		○
食中毒及び感染症を防止する処置等を行っている		○
人員配置基準を満たしているか		
管理者を配置している		○
看護職員、介護職員等を配置している		○
設備基準を満たしているか		
サービス提供に必要な設備を備えている		○
結果		適合

その他の評価項目

項目	評価	極めて良好である	良好である	取組が行われていない、または取組が十分でない
利用率（特養）		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
利用者アンケートの結果、施設利用の満足度		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自主的な取り組み		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

評価内容

- ・利用率については、89.3%であり、十分な利用率とはいえなかった。
- ・過去5年間に施設長が6人も交代するという状況の中で、利用者アンケートの結果では、施設サービス全般に対する満足度が92%に達するなど、極めて良好な評価を得ている。
- ・自主的な取り組みについては、家族介護教室、おげんきランチ、おげんきランチの卒業者を対象に体操などを実施し介護予防事業に努めていること、また、近隣の保育園との毎月の交流や地元の中学生を対象に「勤労留学」を積極的に受け入れるなど、開かれた施設として地域との交流や連携を密にしていることが評価できる。

改善すべき点等

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	サンハイム荒川拠点区分の決算であるが適正な手続きと見られる。	良好
	予算管理が適正である	当初予算額と決算額に大幅な乖離が見られるが、これは指定管理者変更に伴う引継ぎ業務が生じたことによるものである。	
経営	経費の効果的活用が行われている	人件費、雑費が増加しているため経費全体も増加しているが、これは指定管理者変更に伴う引継ぎ業務が生じたことによるものである。	良好
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労働環境は適正である。	優良
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	成長性、収益性、安定性、活動性、健全性等は、事業所の三期の決算書に基づき総合的に判断し極めて良好である。	優良

総評

サービス内容	<ul style="list-style-type: none"> ・入浴・排泄・食事等の介護、生活相談、機能訓練等のサービス提供を専門的なスキルをもって、安定的に実施している。 ・感染症及び食中毒の予防と蔓延予防のため、施設内の衛生保持、うがいの徹底等に努めるなど、施設全体で感染症等の予防に取り組んでいる。 ・新規入所に際しては、利用者や家族の意向調査を十分に行った上で、集中観察やケアプランの作成を行い、介護経過等についても情報共有を図るなど、利用者の生きがい支援に努めるとともに、総合的に幅広くきめ細やかな介護サービスを提供できる体制が図られている。
財務・労務	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の会計手続は適正であるが、指定管理者変更に伴う引継ぎ業務により、当初予算額と決算額に大幅な乖離が生じたとともに、人件費等の増加によりサービス活動収支の差額が大きく赤字となった。 ・雇用契約条件、実施状況、健康診断などについて法令に準じた運用を行っている。 ・指定管理者である社会福祉法人上宮会は、収益性、成長性、安定性、活動性、健全性等いずれも良好であり、安定的な財務力を有している。
総合評価	<ul style="list-style-type: none"> ・法令基準については、すべて適合している。利用者に対するサービスの提供や労務管理については適切に行われていた。 ・また、指定管理者変更に伴う引継ぎ業務も適切に行われ、次期指定管理者が円滑に事業を開始することができた。

担当所管部	
部	福祉部
課	福祉推進課

平成28年度 指定管理者実績評価結果表【A施設】

施設概要

施設名	名称	荒川区立特別養護老人ホーム花の木ハイム荒川
	所在地	荒川区荒川五丁目47番2号
指定管理者	名称	社会福祉法人 上智社会事業団
	所在地	荒川区町屋四丁目9番10号
施設開設年月日		平成11年4月1日
現在の指定管理者による 運営開始年月日		平成11年4月1日
指定期間		平成24年4月1日～平成29年3月31日（5年間）
業務内容		<p>要介護と認定をされ、常時介護が必要で在宅介護を受けることが困難な高齢者に対し、入浴、排泄、食事等の日常生活上の介護や機能訓練、健康管理等のサービスを提供する。</p> <p>（定員）特養50名 短期入所生活介護（ショートステイ）6名</p>

平成28年度の事業計画

- 1 【法人が設定した目標利用率】特養：98.0%、ショートステイ：85.0%
- 2 ケアプラン会議等への家族参加を促し、サービス提供の内容を双方が理解し、共通の理解のもとサービス提供ができるよう努める。
- 3 感染症予防に関する研修や知識の向上を図り、感染症対策を強化し継続する。
- 4 施設設備等の経年劣化が進む中、サービス提供に支障が出ないように、保守・点検・修理を実施する。
- 5 地域のニーズを把握し、地域包括支援センター・みまもりステーションと連携して福祉拠点としての役割を果たすとともに、専門性を地域へ還元し、資源の提供を行い地域力強化に貢献する。

平成28年度の事業実績

- 1 特養：利用率95.9% 平均介護度3.9、ショートステイ：利用率75.3% 平均介護度3.7
- 2 半数以上の家族がケアプラン会議に参加し、共通の理解のもとサービスを提供した。不参加の家族にも書面により要望や意見を収集し、サービス提供に反映させた。
- 3 感染症の一つであるインフルエンザが発症したが、日頃からの対策が功を奏し重症化せず短期間で終息させることができた。
- 4 設備の不具合については、都度、応急修繕等で対応した。利用者への影響を最小限に抑えるため、今後は、法定点検等で指摘があった事項について、優先順位をつけて対応することも検討する。
- 5 近隣町会等と協力し、「見守りマップ」を完成させたが活用に際し課題も見えたため、今後はマップを更に充実させ、高齢者世帯の見守り強化に取り組む。

施設決算状況

年度		平成26年度	平成27年度	平成28年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	介護保険事業収益	246,939,537	247,524,529	251,904,000	239,777,409
	その他収入	0	0	2,339,000	0
	計	246,939,537	247,524,529	254,243,000	239,777,409
支出	運営費	51,171,830	47,454,331	51,964,000	46,678,565
	管理費	22,192,188	22,137,719	23,444,000	22,623,887
	本部経費	—	—	—	—
	人件費	163,014,764	159,228,962	165,267,000	165,428,098
	修繕費	3,030,112	1,613,390	3,140,000	1,125,425
	その他支出	772,936	671,820	31,000	629,677
	計	240,181,830	231,106,222	243,846,000	236,485,652
収支差額		6,757,707	16,418,307	10,397,000	3,291,757

(各費目内容・改善すべき点等)

・介護保険事業収益により運営を行っており、区として指定管理料を支出していない。

法令基準等への適合状況

確認項目		適合判断
運営基準を満たしているか		
	運営規定を定めており、適切に守られている	○
	重要事項を記した文書を交付して説明を行い、利用者等の同意を得ている	○
	食中毒及び感染症を防止する処置等を行っている	○
人員配置基準を満たしているか		
	管理者を配置している	○
	看護職員、介護職員等を配置している	○
設備基準を満たしているか		
	サービス提供に必要な設備を備えている	○
結果		適合

その他の評価項目

項目	評価	極めて良好である	良好である	取組が行われていない、または取組が十分でない
利用率（特養）		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
利用者アンケートの結果、施設利用の満足度		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自主的な取り組み		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

評価内容

- ・利用率については、95.9%と極めて良好である。
- ・利用者アンケートの結果から、施設サービス全般に対する満足度が87%に達するなど、良好な評価を得ている。
- ・自主的な取り組みについては、近隣町会と協力し、閉じこもりがちな高齢者を対象としたサロンや定期的に歌を楽しむ会を開催するなど、交流を図りながら地域との連帯感を深めていること、また、動物専門学校との協力により、動物介在療法や学生との交流を図っていること、法人系列の保育園児との交流を定期的に行っていることが評価できる。

改善すべき点等

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	花の木ハイム荒川拠点区分の決算であるが適正な手続きと見られる。	良好
	予算管理が適正である	予算管理に特段の問題は見られない。	
経営	経費の効果的活用が行われている	昨年度に比べ、人件費は増加しているが、経費縮減は認められる。	良好
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労働環境は適正である。	優良
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業法人の三期の決算書に基づいて財務評価を行った結果、収益性、成長性、安定性、活動性、健全性等が極めて優れていて、安定した運営を行う財務力を有している。	優良

総評

サービス内容	<ul style="list-style-type: none"> ・入浴・排泄・食事等の介護、生活相談、機能訓練等のサービス提供を専門的なスキルをもって、安定的に実施している。 ・長年、身体拘束ゼロを継続しており、精神的な拘束についても権利擁護委員会において検討がなされ、具体的な職員の行動を示すことで利用者の人権を守るなど、抑制しない介護に取り組んでいる。 ・施設として看取り介護の必要性を認識しており、看取り介護への家族の理解を深めるための説明会を開催したり、職員のスキルアップや体制整備を図っている。
財務・労務	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の会計手続や予算管理は適正であり、経費縮減の努力を行っている。 ・雇用契約条件、実施状況、健康診断などについて法令に準じた運用を行っている。 ・指定管理者である社会福祉法人上智社会事業団は、収益性、成長性、安定性、活動性、健全性等いずれも良好であり、安定的な財務力を有している。
総合評価	<ul style="list-style-type: none"> ・法令基準等については、すべて適合している。指定管理者業務は確実に履行され、サービス面、会計面は良好、労務面は優良であり、経費の効果的活用も行われているため、指定管理業務は適正に行われていた。

担当所管部	
部	福祉部
課	福祉推進課

平成28年度 指定管理者実績評価結果表【A施設】

施設概要		
施設名	名称	荒川区立グリーンハイム荒川在宅高齢者通所サービスセンター
	所在地	荒川区南千住六丁目36番5号
指定管理者	名称	社会福祉法人 聖風会
	所在地	足立区花畑四丁目39番10号
施設開設年月日		平成元年4月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成元年4月1日
指定期間		平成24年4月1日～平成29年3月31日（5年間）
業務内容		<p>要介護又は要支援と認定された方を対象に、利用者が居宅で自立した日常生活を営めることを目指し、入浴・排泄・食事等の介護、生活相談、機能訓練等のサービスを提供する。</p> <p>（定員）通所介護（一般デイ）40名 *介護予防含む</p>

平成28年度の事業計画

- 1 【法人が設定した目標利用率】 一般デイ：85.0%
- 2 利用者に満足いただけるよう、安心安全なサービス提供に努め、安定した事業運営を目指す。
- 3 特に利用者のニーズが高いリハビリサービスや入浴サービスについて、利用者の要望にできる限り応じられるように努める。
- 4 職員の確保と育成に努めるとともに、職員体制を安定させより良いサービス提供ができるように努める。
- 5 近隣施設や地域との交流を積極的に図り、地域の活動拠点となるように開かれた施設として活動する。

平成28年度の事業実績

- 1 一般デイ：利用率62.7% 平均介護度1.9
- 2 利用者に十分なサービスを提供するため、派遣職員も活用しながら運営体制を整え事業を実施するとともに、イベントや外出行事などの利用者に人気のある事業に力を注いだ。
- 3 看護職や介護職員の協力を得ながら、リハビリサービスを実施している。入浴サービスとともにニーズが高いため、利用回数や入浴回数など利用者の希望に概ね応えられた。
- 4 研修や運営に必要な情報共有を徹底することで、職員同士のコミュニケーションが深まるとともに業務がスムーズになり、利用者へのサービス還元につながっている。
- 5 地域の活動拠点としての役割を担うため、体験ボランティア・学生の職場体験の受入れや保育園やふれあい館の子供たちとの交流活動の場となるよう施設運営を行った。

施設決算状況

年度		平成26年度	平成27年度	平成28年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	介護保険事業収益	94,467,887	88,213,991	100,029,000	72,253,067
	その他収入	0	29,416	386,000	1,902,733
	計	94,467,887	88,243,407	100,415,000	74,155,800
支出	運営費	17,123,222	14,848,575	16,127,000	14,599,673
	管理費	9,006,113	8,668,435	9,390,000	8,492,361
	本部経費	—	—	—	—
	人件費	63,559,474	64,886,345	71,067,000	70,860,076
	修繕費	2,024,681	670,430	1,231,000	757,902
	その他支出	778,287	850,440	120,000	610,326
	計	92,491,777	89,924,225	97,935,000	95,320,338
収支差額		1,976,110	-1,680,818	2,480,000	-21,164,538

(各費目内容・改善すべき点等)

- ・介護保険事業収益により運営を行っており、区として指定管理料を支出していない。
- ・2年連続の赤字決算となっている。特に赤字幅が拡大しているのは、人件費における職員の賞与引当金について、計上時期の適格化を図るため28年度から計上したこと、また、翌年度決算としていた非常勤職員の3月分の給与等についても当該年度に計上したことに起因する一過性のものである。

法令基準等への適合状況

確認項目		適合判断
運営基準を満たしているか		
運営規定を定めており、適切に守られている		○
重要事項を記した文書を交付して説明を行い、利用者等の同意を得ている		○
食中毒及び感染症を防止する処置等を行っている		○
人員配置基準を満たしているか		
管理者を配置している		○
看護職員、介護職員等を配置している		○
設備基準を満たしているか		
サービス提供に必要な設備を備えている		○

結果

適合

その他の評価項目

項目	評価	極めて 良好である	良好である	取組が行われていない、または取組が十分でない
利用率（一般デイ）		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
利用者アンケートの結果、施設利用の満足度		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自主的な取り組み		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

評価内容

- ・利用率については、62.7%であり、十分な利用率とはいえなかった。
- ・利用者アンケートの結果から、施設サービス全般に対する満足度が80%に達するなど、良好な評価を得ている。
- ・自主的な取り組みについては、おげんきランチ卒業者向けに「みなこいランチ」の実施や施設主催による「みなこい祭り」をはじめ、防災訓練などの行事や各イベントを通じ、近隣の町会・保育園・ふれあい館等と日頃より交流を深めるとともに、ボランティアの受入れも積極的に行うなど開かれた施設として地域に貢献していることが評価ができる。

改善すべき点等

- ・利用率について62.7%であったことから、施設のPR活動や新規利用者の獲得など、利用率を向上させるための改善が必要である。

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	グリーンハイム荒川在宅高齢者通所サービスセンター拠点区分の決算であるが適正な手続きと見られる。	良好
	予算管理が適正である	予算管理に特段の問題は見られない。	
経営	経費の効果的活用が行われている	人件費は増加しているが、一過性のものであり軽費の効果的活用は認められる。	良好
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労働環境は適正である。	優良
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	成長性、収益性、安定性、活動性、健全性等は、事業所の三期の決算書に基づき総合的に判断し良好である。	良好

総評

サービス内容	<ul style="list-style-type: none"> ・入浴・排泄・食事等の介護、生活相談、機能訓練等のサービス提供を専門的なスキルをもって、安定的に実施している。 ・毎月、感染症予防委員会を開催するなど、感染症を未然に防ぐ取り組みが行われている。 ・職員の意識や質を高めるため、リーダー向けの研修・新入職者研修など、職員のスキルアップや体制整備などに取り組んでいる。今後、職員の確保がより困難になると見込まれる中で、安定的な職員の確保ため、計画的な職員採用や育成が望まれる。
財務・労務	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の会計手続や予算管理は適正である。サービス活動収支の差額に赤字が続いているため、経費の効果的活用だけでなく、利用率等の改善も含め収支の向上が必要である。 ・雇用契約条件、実施状況、健康診断などについて法令に準じた運用を行っている。 ・指定管理者である社会福祉法人聖風会は、収益性、成長性、安定性、活動性、健全性等いずれも良好であり、安定的な財務力を有している。
総合評価	<ul style="list-style-type: none"> ・法令基準については、すべて適合している。サービス活動収支の差額が赤字であるため、利用率に改善が必要であるが、利用者に対するサービスの提供や労務管理については適切に行われていた。

担当所管部	
部	福祉部
課	福祉推進課

平成28年度 指定管理者実績評価結果表【A施設】

施設概要		
施設名	名称	荒川区立サンハイム荒川在宅高齢者通所サービスセンター
	所在地	荒川区南千住三丁目14番7号
指定管理者	名称	社会福祉法人 上宮会
	所在地	荒川区東日暮里二丁目29番8番
施設開設年月日		平成7年2月1日
現在の指定管理者による 運営開始年月日		平成7年2月1日
指定期間		平成24年4月1日～平成29年3月31日（5年間）
業務内容		<p>要介護又は要支援と認定された方を対象に、利用者が居宅で自立した日常生活を営めることを目指し、入浴・排泄・食事等の介護、生活相談、機能訓練等のサービスを提供する。</p> <p>（定員）通所介護（一般デイ）35名 *介護予防含む</p>

平成28年度の事業計画

- 1 【法人が設定した目標利用率】一般デイ：86.0%
- 2 前年度の実績も踏まえ設定した目標利用率を達成できるよう、収支を常に意識した事業運営を行う。
- 3 食に対するニーズが高いため、利用者個人の嗜好に応じられるよう代替食で対応する。また、季節感を大事にした食事の提供を行う。
- 4 健康の維持増進や生活意欲の向上に結び付くような支援や機能訓練を行い、利用者の生活機能の維持向上に努める。
- 5 入浴サービスに対する要望が多いことから、サービスの提供にあたっては、安全で楽しみながら利用いただけるように工夫を図る。

平成28年度の事業計画

- 1 一般デイ：利用率80.4% 平均介護度2.2
- 2 利用者の利用状況を踏まえながら、要支援者枠も一定確保しつつ利用者の拡大に努めた。
- 3 嗜好を凝らした盛り付けを工夫をするなど、季節にちなんだ献立の行事食やお楽しみ弁当を取り入れることで、食事により季節を体感できるサービス提供を実施した。
- 4 利用者の持久力、筋力、歩行能力などの機能の向上を目的に機能訓練に取り組んだ成果として、自分から体を動かす楽しみを知り、率先して訓練に参加する人が増えた。
- 5 入浴回数に制限はあるが、皮膚疾患のある方や介護者不在等で清潔保持が困難な方については、週3回の入浴を実施した。また、季節感が味わえるしょうぶ湯、リンゴ湯、柚子湯等の入浴サービスを提供し好評であった。

施設決算状況

年度		平成26年度	平成27年度	平成28年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	介護保険事業収益	90,562,353	93,166,199	91,724,000	81,611,413
	その他収入	1,727,885	0	1,120,000	0
	計	92,290,238	93,166,199	92,844,000	81,611,413
支出	運営費	12,263,994	13,959,159	12,650,000	10,092,057
	管理費	15,934,321	11,809,557	10,190,000	12,781,169
	本部経費	—	—	—	—
	人件費	58,128,631	61,524,228	62,224,000	57,264,663
	修繕費	1,085,689	223,837	600,000	260,758
	その他支出	1,752,528	1,687,787	1,100,000	1,773,486
	計	89,165,163	89,204,568	86,764,000	82,172,133
収支差額		3,125,075	3,961,631	6,080,000	-560,720

(各費目内容・改善すべき点等)

- ・介護保険事業収益により運営を行っており、区として指定管理料を支出していない。
- ・介護保険事業収益が前年度に比べ12%減少したため、赤字決算になっている。

法令基準等への適合状況

確認項目		適合判断
運営基準を満たしているか		
運営規定を定めており、適切に守られている		○
重要事項を記した文書を交付して説明を行い、利用者等の同意を得ている		○
食中毒及び感染症を防止する処置等を行っている		○
人員配置基準を満たしているか		
管理者を配置している		○
看護職員、介護職員等を配置している		○
設備基準を満たしているか		
サービス提供に必要な設備を備えている		○
結果		適合

その他の評価項目

項目	極めて良好である	良好である	取組が行われていない、または取組が十分でない
利用率（一般デイ）	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
利用者アンケートの結果、施設利用の満足度	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自主的な取り組み	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

評価内容

- ・利用率については、80.4%と良好であるが、前年度に比べ、10%低下している。
- ・過去5年間に施設長が6人も交代するという状況の中で、施設サービス全般に対する満足度は90%に達するなど、極めて良好な評価を得ている。
- ・自主的な取り組みについては、家族介護教室、おげんきランチ、おげんきランチの卒業者を対象に体操などを実施し介護予防事業に努めていること、また、近隣の保育園との毎月の交流や地元の中学生を対象に「勤労留学」を積極的に受け入れるなど、開かれた施設をとして地域との交流や連携を密にしていることが評価できる。

改善すべき点等

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	サンハイム荒川在宅高齢者通所サービスセンター拠点区分決算であるが適正な手続きと見られる。	良好
	予算管理が適正である	運営費の当初予算と決算額に12%の乖離が見られるが、これは指定管理者変更に伴うものである。	
経営	経費の効果的活用が行われている	経費縮減の努力は認められる。	良好
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労働環境は適正である。	優良
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	成長性、収益性、安定性、活動性、健全性等は、事業所の三期の決算書に基づき総合的に判断し極めて良好である。	優良

総評	
サービス内容	<ul style="list-style-type: none"> ・入浴・排泄・食事等の介護、生活相談、機能訓練等のサービス提供を専門的なスキルをもって、安定的に実施している。 ・感染症及び食中毒の予防と蔓延予防のため、施設内の衛生保持、うがいの徹底等に努めるなど、施設全体で感染症等の予防に取り組んでいる。 ・居宅介護支援事業所や地域包括支援センターとの連携によって、利用者が希望する在宅介護サービスを提供できる体制が図られている。
財務・労務	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の会計手続は適正であるが、指定管理者変更に伴う引継ぎ業務により、当初予算額と決算額に乖離が生じている。 ・雇用契約条件、実施状況、健康診断などについて法令に準じた運用を行っている。 ・指定管理者である社会福祉法人上宮会は、収益性、成長性、安定性、活動性、健全性等いずれも良好であり、安定的な財務力を有している。
総合評価	<ul style="list-style-type: none"> ・法令基準については、すべて適合している。利用者に対するサービスの提供や労務管理については適切に行われていた。 ・また、指定管理者変更に伴う引継ぎ業務も適切に行われ、次期指定管理者が円滑に事業を開始することができた。

担当所管部	
部	福祉部
課	福祉推進課

平成28年度 指定管理者実績評価結果表【A施設】

施設概要

施設名	名称	荒川区立花の木ハイム荒川在宅高齢者通所サービスセンター
	所在地	荒川区荒川五丁目47番2号
指定管理者	名称	社会福祉法人 上智社会事業団
	所在地	荒川区町屋四丁目9番10号
施設開設年月日		平成11年4月1日
現在の指定管理者による 運営開始年月日		平成11年4月1日
指定期間		平成24年4月1日～平成29年3月31日（5年間）
業務内容		<p>要介護又は要支援と認定された方を対象に、利用者が居宅で自立した日常生活を営めることを目指し、入浴・排泄・食事等の介護、生活相談、機能訓練等のサービスを提供する。</p> <p>（定員）通所介護（一般デイ）40名 *介護予防含む</p>

平成28年度の事業計画

- 1 【法人が設定した目標利用率】 一般デイ：75.0%
- 2 通所サービスのみだけではなく、在宅生活全体を支え家族の負担軽減や在宅生活が継続できるよう支援を行う。
- 3 介護支援専門員との綿密な情報交換により、より利用者に適した個別計画を作成し実行する。
- 4 施設設備等の経年劣化が進む中、サービス提供に支障が出ないように、保守・点検・修理を実施する。
- 5 地域のニーズを把握し、地域包括支援センター・見守りステーションと連携して福祉拠点としての役割を果たすとともに、専門性を地域へ還元し、資源の提供を行い地域力強化に貢献する。

平成28年度の事業実績

- 1 一般デイ：利用率65.6% 平均介護度2.3
- 2 在宅サービス、ショートステイサービス等を効率的に組み合わせ、利用者及び家族の在宅生活全体を支えることができた。また、利用者の状況を的確に把握しその情報を活用することで、安定したサービス提供ができた。
- 3 他職種間でのアセスメントや通所介護計画の作成を行い、そのうえで共通した認識のもとに作成した個別計画に沿ったサービス提供が実施できた。
- 4 設備の不具合については、都度、応急修繕等で対応した。利用者への影響を最小限に抑えるため、今後は、法定点検等で指摘があった事項について、優先順位をつけて対応することも検討する。
- 5 近隣町会等と協力し、「見守りマップ」を完成させたが活用に際し課題も見えたため、今後はマップを更に充実させ、高齢者世帯の見守り強化に取り組む。

施設決算状況

年度		平成26年度	平成27年度	平成28年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	介護保険事業収益	76,017,581	75,340,541	77,894,000	70,475,141
	その他収入	0	0	7,000	0
	計	76,017,581	75,340,541	77,901,000	70,475,141
支出	運営費	12,736,512	13,345,576	7,542,000	11,490,715
	管理費	4,434,810	4,247,294	3,294,000	3,681,003
	本部経費	—	—	—	—
	人件費	57,168,033	50,711,077	54,912,000	52,291,530
	修繕費	227,221	0	350,000	14,223
	その他支出	81,902	25,222	0	22,819
	計	74,648,478	68,329,169	66,098,000	67,500,290
収支差額		1,369,103	7,011,372	11,803,000	2,974,851

(各費目内容・改善すべき点等)

・介護保険事業収益により運営を行っており、区として指定管理料を支出していない。

法令基準等への適合状況

確認項目		適合判断
運営基準を満たしているか		
	運営規定を定めており、適切に守られている	○
	重要事項を記した文書を交付して説明を行い、利用者等の同意を得ている	○
	食中毒及び感染症を防止する処置等を行っている	○
人員配置基準を満たしているか		
	管理者を配置している	○
	看護職員、介護職員等を配置している	○
設備基準を満たしているか		
	サービス提供に必要な設備を備えている	○
結果		適合

その他の評価項目

項目	評価	極めて 良好である	良好である	取組が行われていない、または取組が十分でない
利用率（一般デイ）		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
利用者アンケートの結果、施設利用の満足度		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自主的な取り組み		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

評価内容

- ・利用率については、65.6%であり、十分な利用率とはいえなかった。
- ・利用者アンケートの結果から、施設サービス全般に対する満足度が84%に達するなど、良好な評価を得ている。
- ・自主的な取り組みについては、近隣町会と協力し、閉じこもりがちな高齢者を対象としたサロンや定期的に歌を楽しむ会を開催するなど、交流を図りながら、地域との連帯感を深めていること、また、動物専門学校との協力により、動物介在療法や学生との交流を図っていること、法人系列の保育園児との交流を定期的に行っていることが評価できる。

改善すべき点等

- ・利用率について65.6%であったことから、施設のPR活動や新規利用者の獲得など、利用率を向上させるための改善が必要である。

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	花の木ハイム荒川在宅高齢者通所サービスセンター拠点区分の決算であるが適正な手続きと見られる。	良好
	予算管理が適正である	予算管理に特段の問題は見られない。	
経営	経費の効果的活用が行われている	昨年度に比べ、人件費は増加したが他経費の削減により経費全体は減少している。収益は減収となっているが、黒字を保っている。	良好
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労働環境は適正である。	優良
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業法人の三期の決算書に基づいて財務評価を行った結果、収益性、成長性、安定性、活動性、健全性等が極めて優れていて、安定した運営を行う財務力を有している。	優良

総評

サービス内容	<ul style="list-style-type: none"> ・入浴・排泄・食事等の介護、生活相談、機能訓練等のサービス提供を専門的なスキルをもって、安定的に実施している。 ・認知症状が進んだ重度介護者や医療的ケアの必要な利用者等の受入れを積極的に行い、特養併設施設であるため、設備が充実しており地域包括支援センターとの連携ができる強みや、職員の経験を活かしたサービス提供に努め、家族介護の負担軽減の一助となる支援が図られている。 ・利用者の自立支援を念頭に置き、在宅生活の中でより自立した日常生活を送るためのアセスメントや個別計画の策定を行うとともに、定期的な評価に基づいたサービスの提供が行われている。
財務・労務	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の会計手続や予算管理は適正であり、経費縮減の努力を行っている。収益は減収となっているが、黒字を保っている。 ・雇用契約条件、実施状況、健康診断などについて法令に準じた運用を行っている。 ・指定管理者である社会福祉法人上智社会事業団は、収益性、成長性、安定性、活動性、健全性等いずれも良好であり、安定的な財務力を有している。
総合評価	<ul style="list-style-type: none"> ・法令基準等については、すべて適合している。指定管理者業務は確実に履行され、サービス面、会計面は良好、労務面は優良であり、経費の効果的活用も行われているため、指定管理業務は適正に行われていた。

担当所管部	
部	福祉部
課	福祉推進課

平成28年度 指定管理者実績評価結果表【A施設】

施設概要

施設名	名称	荒川区立西日暮里在宅高齢者通所サービスセンター
	所在地	荒川区西日暮里五丁目36番1号
指定管理者	名称	社会福祉法人 聖風会
	所在地	足立区花畑四丁目39番10号
施設開設年月日		平成3年2月1日
現在の指定管理者による 運営開始年月日		平成3年2月1日
指定期間		平成26年4月1日～平成31年3月31日（5年間）
業務内容		<p>要介護又は要支援と認定された方を対象に、利用者が居宅で自立した日常生活を営めることを目指し、入浴・排泄・食事等の介護、生活相談、機能訓練等のサービスを提供する。</p> <p>（定員）通所介護（一般デイ）40名 *介護予防含む</p>

平成28年度の事業計画

- 1 【法人が設定した目標利用率】一般デイ：85.0%
- 2 目標利用率の達成を目指すため、サービス内容（入浴回数等）の見直しや、職員の接遇マナー向上に向けた取り組みを行う。
- 3 利用者からこれまで好評を得てきたプログラムを維持しつつ、自立度の高い利用者が自主的に行えるプログラムや、継続的に取り組めるプログラムを検討する。
- 4 当施設内の様子や実績をホームページや個別活動報告書などを通して、居宅介護支援事業所に働きかけることにより、新規利用者の紹介・獲得や既存の利用者の通所回数増加につなげる。
- 5 利用者のサービス提供時間に合わせ、職員配置の効率化を図るため、常勤職員の勤務時間の見直しを行う。

平成28年度の事業実績

- 1 一般デイ：利用率76.4% 平均介護度2.5
- 2 入浴サービスについては、土曜日の午前入浴を実施し、週2回の入浴を確保した。職員の接遇マナーについては、全職員を対象に年2回「不適切な対応をなくす為の自己振り返りチェックシート」による自己チェックを実施するとともに、チェックシートを基に接遇等の振り返りを行った。
- 3 外出事業を土曜日から水曜日に変更したことで、水曜日の利用者の増加につながった。また、季節にあわせた外出行事を実施した。
- 4 毎月「個別活動状況報告書」を介護支援専門員に直接届けることで新規利用者の獲得につながった。また、3か月に1度、個別機能訓練に関わる居宅訪問を実施し、家族との情報交換ができた。
- 5 サービス提供時間に合わせ、常勤職員の勤務時間を、3勤務体制・8時間勤務に変更した。

施設決算状況

年度		平成26年度	平成27年度	平成28年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	介護保険事業収益	111,668,298	107,331,026	113,910,000	101,694,713
	その他収入	12,740	682,440	240,000	5,684,511
	計	111,681,038	108,013,466	114,150,000	107,379,224
支出	運営費	16,153,636	14,995,026	14,770,000	14,284,537
	管理費	11,587,351	11,883,024	12,502,000	12,692,340
	本部経費	—	—	—	—
	人件費	72,638,579	78,170,579	78,075,000	87,697,458
	修繕費	6,016,064	962,632	1,500,000	966,537
	その他支出	838,983	1,048,477	22,000	1,138,112
	計	107,234,613	107,059,738	106,869,000	116,778,984
収支差額		4,446,425	953,728	7,281,000	-9,399,760

(各費目内容・改善すべき点等)

- ・介護保険事業収益により運営を行っており、区として指定管理料を支出していない。
- ・今年度の収支差額が赤字に転換したのは、人件費における職員の賞与引当金について、計上時期の適格化を図るため28年度から計上したこと、また、翌年度決算としていた非常勤職員の3月分の給与等についても当該年度に計上したことに起因する一過性のものである。

法令基準等への適合状況

確認項目		適合判断
運営基準を満たしているか		
運営規定を定めており、適切に守られている		○
重要事項を記した文書を交付して説明を行い、利用者等の同意を得ている		○
食中毒及び感染症を防止する処置等を行っている		○
人員配置基準を満たしているか		
管理者を配置している		○
看護職員、介護職員等を配置している		○
設備基準を満たしているか		
サービス提供に必要な設備を備えている		○

結果

適合

その他の評価項目

項目	評価	極めて良好である	良好である	取組が行われていない、または取組が十分でない
利用率（一般デイ）		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
利用者アンケートの結果、施設利用の満足度		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自主的な取り組み		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

評価内容

- ・利用率については、76.4%と良好であるが、収益が減少している。
- ・利用者アンケートの結果から、施設サービス全般に対する満足度が83%に達するなど、良好な評価を得ている。
- ・自主的な取り組みについては、おげんきランチ卒業生を対象に「いきいきランチ」を実施していること、また、近隣の保育園の園児とは、年間計画を立て毎月交流会を行うとともに、小学生・中学生の勤労留学や大学生の福祉体験実習を受け入れていることが評価できる。

改善すべき点等

- ・利用率は良好であるが、更なる利用率の向上や収支の改善に向けた取り組みが必要である。

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	西日暮里在宅高齢者通所サービスセンター拠点区分決算であるが適正な手続きと見られる。	良好
	予算管理が適正である	予算管理に特段の問題は見られない。	
経営	経費の効果的活用が行われている	人件費の増加に伴い経費全体も増加しているが、一過性のものと認められる。	良好
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労働環境は適正である。	優良
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	成長性、収益性、安定性、活動性、健全性等は、事業所の三期の決算書に基づき総合的に判断し良好である。	良好

総評	
サービス内容	<ul style="list-style-type: none"> ・入浴・排泄・食事等の介護、生活相談、機能訓練等のサービス提供を専門的なスキルをもって、安定的に実施している。 ・「出来ることは自分で」の方針に沿って、施設内においては、利用者ができるだけ自分の足で歩くように、また、食事や活動の中では、車いすの方は、車いすから椅子に移乗するなど、残存機能を意識した援助やサービス提供が行われている。 ・毎月の居宅介護支援事業所の訪問を継続し、利用者の個々の状況や施設のサービス内容について報告することで、介護支援専門員との信頼関係を構築するなど、安定した事業運営が行われている。
財務・労務	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の会計手続や予算管理は適正であるが、サービス活動収支の差額が赤字であるため、利用率等の改善が必要である。また、昨年度に比べ、一過性ではあるものの人件費の増加に伴い経費全体も増加しているため、経費の効果的活用に向けて努力が必要である。 ・雇用契約条件、実施状況、健康診断などについて法令に準じた運用を行っている。 ・指定管理者である社会福祉法人聖風会は、収益性、成長性、安定性、活動性・、健全性等いずれも良好であり、安定的な財務力を有している。
総合評価	<ul style="list-style-type: none"> ・法令基準については、すべて適合している。利用者に対するサービスの提供や労務管理については適切に行われていたが、サービス活動収支の差額が赤字であるため、利用率に改善が必要である。 ・なお、過年度分の介護報酬について、事業所として見直しを行っており、過誤と思われる請求については取り下げ再請求を行い、別途法人として介護報酬の返還が行われている。

担当所管部	
部	福祉部
課	福祉推進課

平成28年度 指定管理者実績評価結果表【A施設】

施設概要

施設名	名称	荒川区立町屋在宅高齢者通所サービスセンター
	所在地	荒川区町屋七丁目2番15号
指定管理者	名称	社会福祉法人 聖風会
	所在地	足立区花畑四丁目39番10号
施設開設年月日		平成5年3月1日
現在の指定管理者による 運営開始年月日		平成5年3月1日
指定期間		平成26年4月1日～平成31年3月31日（5年間）
業務内容		<p>要介護又は要支援と認定された方を対象に、利用者が居宅で自立した日常生活を営めることを目指し、入浴・排泄・食事等の介護、生活相談、機能訓練等のサービスを提供する。</p> <p>（定員）通所介護（一般デイ）40名 *介護予防含む</p>

平成28年度の事業計画

- 1 【法人が設定した目標利用率】一般デイ：85.0%
- 2 年間利用率85%を目標とし、個別機能訓練Ⅰ・中重度者ケア体制加算等を算定するための要件を整備し、安定した事業運営を目指す。
- 3 利用者の「自立支援」を目指し、職員一人ひとりが利用者のニーズにあった支援を行う。
- 4 利用者にとって楽しく安全に安心して利用することができる施設を目指し、満足のいくサービス提供を行う。
- 5 建物および設備面で経年劣化している個所が見られるため、関係機関と綿密な連携を図り、利用者の安全を優先に考え修繕等を計画的に実施する。

平成28年度の事業実績

- 1 一般デイ：78.0% 平均介護度2.2
- 2 利用者の重度化等に伴いデイサービスを休止し、ショートステイサービス等を利用する方が増えたため、利用率が横ばいで推移した。
人員配置を増やし「中重度者ケア体制」を確保した。また、3ヶ月毎に自宅訪問し評価することで「個別機能訓練加算Ⅰ」を算定し、安定した事業運営に寄与した。
- 3 利用者の「自立支援」を念頭に活動の見える化を実施し、利用者自身が活動プログラムを選択することが多くなった。今後も自立に向けた支援を充実させていく。
- 4 利用者が安全に安心して利用できる施設を目指し、利用者、家族のニーズに合わせたサービスの提供に努めてきた結果、利用回数の増加につながった。
- 5 荒川区と連携しながら、計画的に老朽化した設備等の修繕を行った。

施設決算状況

年度		平成26年度	平成27年度	平成28年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	介護保険事業収益	113,004,235	108,924,541	114,389,000	98,328,097
	その他収入	0	0	381,000	8,278,710
	計	113,004,235	108,924,541	114,770,000	106,606,807
支出	運営費	17,789,130	16,630,571	17,628,000	14,954,211
	管理費	12,656,616	11,056,183	11,213,000	11,261,935
	本部経費	—	—	—	—
	人件費	75,400,849	77,415,313	79,781,000	79,448,395
	修繕費	544,050	1,307,105	200,000	1,122,240
	その他支出	306,799	944,685	11,000	1,370,619
	計	106,697,444	107,353,857	108,833,000	108,157,400
収支差額		6,306,791	1,570,684	5,937,000	-1,550,593

(各費目内容・改善すべき点等)

- ・介護保険事業収益により運営を行っており、区として指定管理料を支出していない。
- ・今年度の収支差額が赤字に転換したのは、人件費における職員の賞与引当金について、計上時期の適格化を図るため28年度から計上したこと、また、翌年度決算としていた非常勤職員の3月分の給与等についても当該年度に計上したことに起因する一過性のものである。

法令基準等への適合状況

確認項目		適合判断
運営基準を満たしているか		
運営規定を定めており、適切に守られている		○
重要事項を記した文書を交付して説明を行い、利用者等の同意を得ている		○
食中毒及び感染症を防止する処置等を行っている		○
人員配置基準を満たしているか		
管理者を配置している		○
看護職員、介護職員等を配置している		○
設備基準を満たしているか		
サービス提供に必要な設備を備えている		○

結果

適合

その他の評価項目

項目	評価	極めて良好である	良好である	取組が行われていない、または取組が十分でない
利用率（一般デイ）		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
利用者アンケートの結果、施設利用の満足度		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自主的な取り組み		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

評価内容

- ・利用率については、78.0%と良好であるが、収益が減少している。
- ・利用者アンケートの結果から、施設サービス全般に対する満足度が89%に達するなど、良好な評価を得ている。
- ・自主的な取り組みについて、おげんきランチ卒業生を対象に絵手紙教室を実施していること、また、母子生活支援施設の「ハイツ尾竹」、「町屋幼稚園」との交流会や中学生を対象とした勤労留学、教員免許の特例による社会福祉施設等体験大学生の受入れを積極的に行っていることが評価できる。

改善すべき点等

- ・利用率は良好であるが、更なる利用率の向上や収支の改善に向けた取り組みが必要である。

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	町屋在宅高齢者通所サービスセンター拠点区分決算であるが適正な手続きと見られる。	良好
	予算管理が適正である	予算管理に特段の問題は見られない。	
経営	経費の効果的活用が行われている	人件費の増加に伴い経費全体も増加しているが、一過性のものと認められる。	良好
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労働環境は適正である。	優良
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	成長性、収益性、安定性、活動性、健全性等は、事業所の三期の決算書に基づき総合的に判断し良好である。	良好

総評

サービス内容	<ul style="list-style-type: none"> ・入浴・排泄・食事等の介護、生活相談、機能訓練等のサービス提供を専門的なスキルをもって、安定的に実施している。 ・感染症予防マニュアル等に従い職員の周知徹底に努めたことにより、食中毒や感染症を予防するなど、感染症等予防に対する取り組みが行われている。 ・「出来ることは自分で」の方針に沿って、施設内においては、利用者ができるだけ自分の足で歩くように、また、食事や活動の中では、車いすの方は、車いすから椅子に移乗するなど、残存機能を意識した援助やサービス提供が行われている。
財務・労務	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の会計手続や予算管理は適正であるが、サービス活動収支の差額が赤字であるため、利用率等の改善が必要である。また、昨年度に比べ、一過性ではあるものの人件費の増加に伴い経費全体も増加しているため、経費の効果的活用に向けて努力が必要である。 ・雇用契約条件、実施状況、健康診断などについて法令に準じた運用を行っている。 ・指定管理者である社会福祉法人聖風会は、収益性、成長性、安定性、活動性、健全性等いずれも良好であり、安定的な財務力を有している。
総合評価	<ul style="list-style-type: none"> ・法令基準については、すべて適合している。利用者に対するサービスの提供や労務管理については適切に行われていたが、サービス活動収支の差額が赤字であるため、利用率に改善が必要である。 ・なお、過年度分の介護報酬について、事業所として見直しを行っており、過誤と思われる請求については取り下げ再請求を行い、別途法人として介護報酬の返還が行われている。

担当所管部	
部	福祉部
課	福祉推進課

平成28年度 指定管理者実績評価結果表【A施設】

施設概要

施設名	名称	荒川区立南千住中部在宅高齢者通所サービスセンター
	所在地	荒川区南千住四丁目9番6号
指定管理者	名称	社会福祉法人 聖風会
	所在地	足立区花畑四丁目39番10号
施設開設年月日		平成12年4月1日
現在の指定管理者による 運営開始年月日		平成12年4月1日
指定期間		平成26年4月1日～平成31年3月31日（5年間）
業務内容		<p>要介護又は要支援と認定された方を対象に、利用者が居宅で自立した日常生活を営めることを目指し、入浴・排泄・食事等の介護、生活相談、機能訓練等のサービスを提供する。</p> <p>（定員）通所介護（一般デイ）30名 *介護予防含む</p>

平成28年度の事業計画

- 1 【法人が設定した目標利用率】一般デイ：85.0%
- 2 安定した経営を重点目標とし、業務改善や経費削減に努め、居宅介護支援事業所や地域の方へのPR等の強化を図り、目標利用率を達成する。
- 3 利用者の個別ニーズあったサービスの提供に努め、職員間の連携を密にしながら、利用者一人ひとりが安心して楽しく利用できる施設を目指す。
- 4 利用者の重度化予防、身体機能低下予防を目標に機能訓練を行い、利用者が末永く住み慣れた地域で生活できるよう支援していく。
- 5 開設から17年目を迎え、施設内で経年劣化している箇所が多くみられるため、荒川区と連携を密に図りながら、計画的に修繕や備品購入を行う。

平成28年度の事業実績

- 1 一般デイ：利用率72.7% 平均介護度1.9
- 2 他の居宅介護支援事業所を訪問し、当施設の取組や実績を伝えるなどPRに努めたが、利用率は伸び悩んでいる。
- 3 利用者の日々の健康管理に努め、大きな事故等もなく利用者からは感謝の声が多く寄せられた。
- 4 集団で行う体操や個別訓練を毎日実施するなど、身体機能低下防止に努めたことにより、多くの利用者の身体機能の維持が図られた。
- 5 荒川区の予算において、「入浴特殊浴槽」の交換を実施した。また、法人の予算においては、「入浴室換気扇」や「貯湯槽ポンプ温度調整器」「スタッフルーム照明設備」等の交換工事も実施した。

施設決算状況

年度		平成26年度	平成27年度	平成28年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	介護保険事業収益	73,670,681	63,439,843	68,903,000	58,478,472
	その他収入	0	0	276,000	2,231,826
	計	73,670,681	63,439,843	69,179,000	60,710,298
支出	運営費	13,793,644	12,834,403	13,079,000	12,014,488
	管理費	7,536,007	7,234,111	7,534,000	7,562,928
	本部経費	—	—	—	—
	人件費	55,385,957	49,887,373	47,770,000	52,735,047
	修繕費	584,310	145,800	580,000	887,076
	その他支出	844,902	1,066,598	194,000	1,143,831
	計	78,144,820	71,168,285	69,157,000	74,343,370
収支差額		-4,474,139	-7,728,442	22,000	-13,633,072

(各費目内容・改善すべき点等)

- ・介護保険事業収益により運営を行っており、区として指定管理料を支出していない。
- ・5年連続の赤字決算となっている。特に赤字幅が拡大しているのは、人件費における職員の賞与引当金について、計上時期の適格化を図るため28年度から計上したこと、また、翌年度決算としていた非常勤職員の3月分の給与等についても当該年度に計上したことに起因する一過性のものである。

法令基準等への適合状況

確認項目		適合判断
運営基準を満たしているか		
運営規定を定めており、適切に守られている		○
重要事項を記した文書を交付して説明を行い、利用者等の同意を得ている		○
食中毒及び感染症を防止する処置等を行っている		○
人員配置基準を満たしているか		
管理者を配置している		○
看護職員、介護職員等を配置している		○
設備基準を満たしているか		
サービス提供に必要な設備を備えている		○

結果

適合

その他の評価項目

項目	評価	極めて良好である	良好である	取組が行われていない、または取組が十分でない
利用率（一般デイ）		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
利用者アンケートの結果、施設利用の満足度		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自主的な取り組み		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

評価内容

- ・利用率については、72.7%と良好であるが、年々利用率が低下するとともに、収益も減少している。
- ・利用者アンケートの結果から、施設サービス全般に対する満足度が84%に達するなど、良好な評価を得ている。
- ・自主的な取り組みについては、お元気ランチ卒業生の自主グループに、毎週1回施設を開放し、体操や昼食の提供を行っていること、また、近隣の保育園児と月1回、小学生とは年2回の交流を行うとともに、開かれた施設として勤労留学、福祉専門学校、教員免許取得介護等体験の大学生を積極的に受け入れていることが評価できる。

改善すべき点等

- ・利用率は良好であるが、定員数の拡大の検討など、更なる利用率の向上や収支の改善に向けた取り組みが早急に必要である。

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	南千住中部在宅高齢者通所サービスセンター拠点区分決算であるが適正な手続きと見られる。	良好
	予算管理が適正である	予算管理に特段の問題は見られない。	
経営	経費の効果的活用が行われている	人件費の増加に伴い経費全体も増加しているが、一過性のものと認められる。	良好
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労働環境は適正である。	優良
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	成長性、収益性、安定性、活動性、健全性等は、事業所の三期の決算書に基づき総合的に判断し良好である。	良好

総評

サービス内容	<ul style="list-style-type: none"> ・入浴・排泄・食事等の介護、生活相談、機能訓練等のサービス提供を専門的なスキルをもって、安定的に実施している。 ・感染症予防マニュアル等に従い職員の周知徹底に努め、食中毒や感染症を予防するなど、感染症等予防に対する取り組みが行われている。 ・入浴介助加算・処遇改善加算Ⅰ以外は算定できていないことから、サービス提供体制強化加算などを算定していくためには、介護福祉士・社会福祉士・介護支援専門員等の職員に資格の取得を推奨していくなどの改善が求められる。
財務・労務	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の会計手続や予算管理は適正であるが、サービス活動収支の差額に赤字が続いているため、利用率等の改善が早急に必要である。また、昨年度に比べ、一過性ではあるものの、人件費の増加に伴い経費全体も増加しているため、経費の効果的な活用に向けて努力が必要である。 ・雇用契約条件、実施状況、健康診断などについて法令に準じた運用を行っている。 ・指定管理者である社会福祉法人聖風会は、収益性、成長性、安定性、活動性、健全性等いずれも良好であり、安定的な財務力を有している。
総合評価	<ul style="list-style-type: none"> ・法令基準については、すべて適合している。利用者に対するサービスの提供や労務管理については適切に行われていたが、サービス活動収支の差額に赤字が続いているため、利用率に改善が必要であるとともに、定員数の拡大について検討が必要である。 ・なお、過年度分の介護報酬について、事業所として見直しを行っており、過誤と思われる請求については取り下げ再請求を行い、別途法人として介護報酬の返還が行われている。

担当所管部	
部	福祉部
課	福祉推進課

平成28年度 指定管理者実績評価結果表【A施設】

施設概要

施設名	名称	荒川区立東日暮里在宅高齢者通所サービスセンター
	所在地	荒川区東日暮里三丁目8番16号
指定管理者	名称	社会福祉法人 東京都福祉事業協会
	所在地	北区王子二丁目19番21号
施設開設年月日		平成6年11月1日
現在の指定管理者による 運営開始年月日		平成6年11月1日
指定期間		平成26年4月1日～平成31年3月31日（5年間）
業務内容		<p>要介護又は要支援と認定された方を対象に、利用者が居宅で自立した日常生活を営めることを目指し、入浴・排泄・食事等の介護、生活相談、機能訓練等のサービスを提供する。</p> <p>（定員）通所介護（一般デイ）40名 認知症対応型通所介護（認知デイ）12名 ＊各々介護予防含む</p>

平成28年度の事業計画

- 1 【法人が設定した目標利用率】 一般デイ：75.0%、認知デイ：50.0%
- 2 関係法令を遵守しながら、地域に開かれた福祉サービスの拠点としての役割を果たす。また、介護予防事業にも積極的に取り組み効果を上げていく。
- 3 利用者の残存能力の維持と活用を図りながら、自立援助に視点を置いたサービス提供に努め、個々に応じた指導を行うとともに、心身機能の維持向上を図る。
- 4 利用者や家族との信頼関係を築き、相談や要望には迅速かつ適正に対応するとともに、利用者目線に立った利用者のためのサービスを提供する。
- 5 職員が福祉サービスのプロとしての自覚を持ち、事故の発生を未然に防止するとともに、食事の提供、施設管理等の安全管理の徹底に努める。

平成28年度の事業実績

- 1 一般デイ：利用率62.6% 平均介護度2.0、認知デイ：利用率23.8% 平均介護度4.3
- 2 福祉サービスの拠点としての役割を果たし、地域に開かれた施設として、地域住民向けに「介護者教室」を毎月開催、「おげんきランチ」及び「粹き生きサロン」を毎週実施した。
- 3 入浴介助、食事介助、トイレ介助等を通して、利用者の心身の様子や必要な介助について把握に努めるとともに、個々に応じたサービスの提供に努めた。
- 4 連絡帳を活用したり電話等で家族とのコミュニケーションを図り、利用者一人ひとりに適したサービスを受けられるよう努めた。
- 5 毎朝、全職員による朝礼を実施し、月1回の職員会議やデイ会議を利用し情報共有を図るとともに、サービスの改善等に取り組み、日常業務や利用者サービスの向上および安全管理に努めた。

施設決算状況

年度		平成26年度	平成27年度	平成28年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	介護保険事業収益	96,931,952	91,978,308	84,013,000	89,177,024
	その他収入	2,733,561	1,869,283	939,000	700,000
	計	99,665,513	93,847,591	84,952,000	89,877,024
支出	運営費	8,887,723	8,059,863	8,015,000	7,800,381
	管理費	18,479,258	17,654,524	13,234,000	15,054,092
	本部経費	—	—	—	—
	人件費	80,009,500	81,627,052	60,300,000	83,100,893
	修繕費	—	892,888	650,000	1,433,262
	その他支出	552,460	0	481,000	0
	計	107,928,941	108,234,327	82,680,000	107,388,628
収支差額		-8,263,428	-14,386,736	2,272,000	-17,511,604

(各費目内容・改善すべき点等)

- ・介護保険事業収益により運営を行っており、区として指定管理料を支出していない。
- ・5年連続の赤字決算となっている。利用率の低下による収益の減少に伴い、年々、赤字幅が拡大している。

法令基準等への適合状況

確認項目		適合判断
運営基準を満たしているか		
運営規定を定めており、適切に守られている		○
重要事項を記した文書を交付して説明を行い、利用者等の同意を得ている		○
食中毒及び感染症を防止する処置等を行っている		○
人員配置基準を満たしているか		
管理者を配置している		○
看護職員、介護職員等を配置している		○
設備基準を満たしているか		
サービス提供に必要な設備を備えている		○
結果		適合

その他の評価項目

項目	評価	極めて良好である	良好である	取組が行われていない、または取組が十分でない
利用率（一般デイ）		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
利用者アンケートの結果、施設利用の満足度		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自主的な取り組み		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

評価内容

- ・利用率については、一般デイが62.6%、認知デイが23.8%であり、いずれも十分な利用率とはいえなかった。
- ・利用者アンケートの結果から、施設サービス全般に対する満足度が91%に達するなど、極めて良好な評価を得ている。
- ・自主的な取り組みについては、地域における福祉サービスの拠点として、地域ふれあい祭り等を実施するとともに、様々なボランティアを積極的に受け入れていること、また、近隣の学校等と積極的に交流を図り、中学生の「勤労留学」や「教員免許法の特例による社会福祉施設における介護等体験事業」の大学生の受け入れを行っていることが評価できる。

改善すべき点等

- ・一般デイ・認知デイとも、施設のPR活動や新規利用者の獲得、サービス提供時間の見直しなど、利用率を向上させるための改善が必要である。

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	東日暮里在宅高齢者通所サービスセンター拠点区分決算であるが会計手続きは適正と見られる。	良好
	予算管理が適正である	予算管理は適正と見られる。	
経営	経費の効果的活用が行われている	経費縮減に向けた努力が認められる。	良好
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労働環境は適正である。	優良
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	成長性、収益性、安定性、活動性、健全性等は、事業所の三期の決算書に基づき総合的に判断し良好である。	良好

総評	
サービス内容	<ul style="list-style-type: none"> ・入浴・排泄・食事等の介護、生活相談、機能訓練等のサービス提供を専門的なスキルをもって、安定的に実施している。 ・利用者が可能な限り居宅において、その残存機能を最大限に活かし、自立した日常生活を営むことができるように適正な介護サービスを提供し、自立生活へ向けての援助及び心身機能の維持向上に努めている。 ・利用者状況をみると、一般デイ・認知デイともに利用率が低迷しており、早急な利用率の改善が必要である。
財務・労務	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の会計手続は適正であるが、サービス活動収支の差額に赤字が続いているため、経費縮減に向けた努力だけでなく、利用率を改善し、収支を向上させる必要がある。 ・雇用契約条件、実施状況、健康診断などについて法令に準じた運用を行っている。 ・指定管理者である社会福祉法人東京都福祉事業協会は、収益性、成長性、安定性、活動性、健全性等いずれも良好であり、安定的な財務力を有している。
総合評価	<ul style="list-style-type: none"> ・法令基準については、すべて適合している。利用者に対するサービスの提供や労務管理については適切に行われていたが、サービス活動収支の差額に赤字が続いているため、経費の縮減、サービス提供時間の見直しや利用率等の改善が必要である。

担当所管部	
部	福祉部
課	福祉推進課

平成28年度 指定管理者実績評価結果表【A施設】

施設概要

施設名	名称	荒川区立荒川東部在宅高齢者通所サービスセンター
	所在地	荒川区荒川一丁目34番6号
指定管理者	名称	社会福祉法人 荒川区社会福祉協議会
	所在地	荒川区南千住一丁目13番20号
施設開設年月日		平成6年12月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成6年12月1日
指定期間		平成26年4月1日～平成31年3月31日（5年間）
業務内容		<p>要介護又は要支援と認定された方を対象に、利用者が居宅で自立した日常生活を営めることを目指し、入浴・排泄・食事等の介護、生活相談、機能訓練等のサービスを提供する。</p> <p>（定員）通所介護（一般デイ）35名 認知症対応型通所介護（認知デイ）10名 ＊各々介護予防含む</p>

平成28年度の事業計画

- 【法人が設定した目標利用率】一般デイ：85.0%、認知デイ：75.0%
- 認知デイ事業のプログラム充実を図り、利用率の向上を目指す。
- 重度の認知症の方や受入れが困難な重度介護者を積極的に受け入れるとともに、関係機関との連携を密にし、在宅生活を支えるようなサービス提供に努める。
- 祝日開館や入浴サービスの毎日実施を継続し、5時間以上7時間未満・7時間以上9時間未満の幅を持たせた受入れを実施するとともに、個々の状態に合わせたサービス提供に努める。
- 要介護状態となることの予防目的として、定期的集える自主事業を提供していく。

平成28年度の事業実績

- 一般デイ利用率：78.9% 平均介護度2.2、認知デイ利用率：36.1% 平均介護度3.5
- アロマハンドマッサージなどの触れ合うプログラムを実施した。また、自力で食事が行えるように環境に配慮するなど工夫に努めたが、利用率は伸び悩んでいる。
- 介護度が重いことで、より家族への介護負担も増すことから、家族との連携を大切にしながら、重度や困難なケースの受入れを積極的に行った。また、医療行為の必要な方の受入れもできる限り実施し、関係機関との密なる連携を図っている。
- 新規においては、短い時間から始められる利用者が多いため、5時間以上7時間未満から受入れ、希望に応じて利用時間を長くしていくよう柔軟に対応したことで、個々のニーズや状態に合わせたサービス提供につながっている。
- 通所介護を卒業された利用者が、引き続き慣れた場所で安心して自主事業活動に参加できることから、併設施設の老人福祉センターの利用へも促すことができている。

施設決算状況

年度		平成26年度	平成27年度	平成28年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	介護保険事業収益	101,765,793	107,056,799	108,163,000	98,122,101
	その他収入	1,806,956	2,133,137	2,213,000	2,211,923
	計	103,572,749	109,189,936	110,376,000	100,334,024
支出	運営費	15,435,330	15,300,189	17,142,000	14,107,428
	管理費	15,588,124	15,369,431	19,379,000	15,061,525
	本部経費	—	—	—	—
	人件費	60,883,504	69,498,713	72,880,000	67,450,979
	修繕費	281,836	363,211	975,000	2,001,341
	その他支出	2,050,812	0	0	0
	計	94,239,606	100,531,544	110,376,000	98,621,273
収支差額		9,333,143	8,658,392	0	1,712,751

(各費目内容・改善すべき点等)

・介護保険事業収益により運営を行っており、区として指定管理料を支出していない。

法令基準等への適合状況

確認項目		適合判断
運営基準を満たしているか		
運営規定を定めており、適切に守られている		○
重要事項を記した文書を交付して説明を行い、利用者等の同意を得ている		○
食中毒及び感染症を防止する処置等を行っている		○
人員配置基準を満たしているか		
管理者を配置している		○
看護職員、介護職員等を配置している		○
設備基準を満たしているか		
サービス提供に必要な設備を備えている		○
結果		適合

その他の評価項目

項目	評価	極めて 良好である	良好である	取組が行われていない、または取組が十分でない
利用率（一般デイ）		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
利用者アンケートの結果、施設利用の満足度		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自主的な取り組み		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

評価内容

- ・利用率については、一般デイは78.9%と良好である。認知デイについては、36.1%であり十分な利用率とはいえなかった。
- ・利用者アンケートの結果から、施設サービス全般に対する満足度が89%で、良好な評価を得ている。
- ・自主的な取り組みについては、おげんきランチ卒業生に対して、健康茶話会「ころから」の実施や近隣保育園、小学校のすずらん学級との地域交流、勤労留学・介護等体験・サマーボランティア、企業の研修など積極的に受け入れていること、また、認知症対応型通所介護のプログラムである屋上園芸の手入れについて、地域団体に協力を得て実施していることが評価できる。

改善すべき点等

- ・認知デイの利用率が、36.1%と区立施設の中では一番高い利用率であるが、施設のPR活動や新規利用者の獲得など、利用率を向上させるための改善が必要である。

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	荒川東部在宅高齢者通所サービスセンター拠点区分決算であるが概ね適正な手続きと見られる。	良好
	予算管理が適正である	予算管理に特段の問題は見られない。	
経営	経費の効果的活用が行われている	人件費を含め経費全体が減少しており、経費縮減が認められる。	良好
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労働環境は適正である。	優良
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	三期分の法人決算書に基づき財務評価を行った結果、成長性、安定性、健全性は良好である。安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している。	良好

総評

サービス内容	<ul style="list-style-type: none"> ・入浴・排泄・食事等の介護、生活相談、機能訓練等のサービス提供を専門的なスキルをもって、安定的に実施している。 ・利用者の高齢化・重度化が進む中で、より良いサービス提供を目的に、日々の記録の取り方、アセスメントやモニタリングが丁寧に実施されるなど、サービスの改善につなぐ取り組みがなされている。 ・利用者の体調不良等により長期入院や施設入所が重なるなど、利用が安定せず厳しい施設運営ではあるが、職員が一丸となって利用者の自立支援につながるサービスを提供できるように取り組んでいる。
財務・労務	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の会計手続や予算管理は適正であり、経費縮減の努力を行っている。 ・雇用契約条件、実施状況、健康診断などについて法令に準じた運用を行っている。 ・指定管理者である社会福祉法人荒川区社会福祉協議会は、収益性、成長性、安定性、活動性、健全性等いずれも良好であり、安定的な財務力を有している。
総合評価	<ul style="list-style-type: none"> ・法令基準等については、すべて適合している。指定管理者業務は確実に履行され、サービス面、会計面は良好、労務面は優良であり、経費の効果的活用も行われているため、指定管理業務は適正に行われていた。 ・一般デイについては良好な利用率を維持できているが、認知デイについては利用率の改善が必要である。

担当所管部	
部	福祉部
課	福祉推進課

平成28年度 指定管理者実績評価結果表【A施設】

施設概要

施設名	名称	荒川区立西尾久西部在宅高齢者通所サービスセンター
	所在地	荒川区西尾久六丁目17番3号
指定管理者	名称	社会福祉法人 荒川区社会福祉協議会
	所在地	荒川区南千住一丁目13番20号
施設開設年月日		平成7年4月1日
現在の指定管理者による 運営開始年月日		平成7年4月1日
指定期間		平成26年4月1日～平成31年3月31日（5年間）
業務内容		<p>要介護又は要支援と認定された方を対象に、利用者が居宅で自立した日常生活を営めることを目指し、入浴・排泄・食事等の介護、生活相談、機能訓練等のサービスを提供する。</p> <p>（定員）通所介護（一般デイ）35名 認知症対応型通所介護（認知デイ）10名 ＊各々介護予防含む</p>

平成28年度の事業計画

- 1 【法人が設定した目標利用率】 一般デイ：85.0%、認知デイ：25.0%
- 2 利用者個々のニーズの掘り下げるとともに、再アセスメントを行い残存機能の維持・向上に努める。
- 3 利用者個々の「楽しみ」を見出し、施設でいきいきと過ごせるように趣味や遊びなどを上手に取り入れ日常生活の充実を図る。
- 4 災害時に備え、避難場所や避難所での生活を知るための訓練を実施する。
- 5 利用者個々に合わせた介護サービスを提供し、希望に応えられる施設作りを行うため、職員の専門性を高め、資質の向上を目指す。

平成28年度の事業実績

- 1 一般デイ利用率：83.3% 平均介護度1.9、認知デイ利用率：17.5% 平均介護度3.8
- 2 利用者の身体状況の変化及び排泄や食事の介助方法等の変更は、日々の留意事項であるため、職員間の情報共有の徹底に努めることで適切な介助につなげるとともに、利用者の生活機能の維持・向上に努めた。
- 3 創作活動等では、個々の認知機能や作業レベルに応じた教材や材料の提供を行うことにより、集中力の向上や自発行動に結びついている。
- 4 併設している障害者施設と合同で、参集から避難者受入れまでの福祉避難所開設・運営訓練を実施した。
- 5 法人内研修、東京都や区などの関係団体が主催する外部研修へも参加し、知識・技術の習得に努め、専門職としての資質の向上を図った。

施設決算状況

年度		平成26年度	平成27年度	平成28年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	介護保険事業収益	84,360,104	92,590,283	97,874,000	85,504,256
	その他収入	1,767,228	2,014,214	2,091,000	2,089,784
	計	86,127,332	94,604,497	99,965,000	87,594,040
支出	運営費	16,080,359	16,167,360	18,243,000	15,127,109
	管理費	15,005,486	14,604,807	15,287,000	14,962,483
	本部経費	—	—	—	—
	人件費	60,661,255	61,277,251	65,365,000	60,804,923
	修繕費	1,308,540	1,116,529	1,070,000	3,805,851
	その他支出	152,280	0	0	0
	計	93,207,920	93,165,947	99,965,000	94,700,366
収支差額		-7,080,588	1,438,550	0	-7,106,326

(各費目内容・改善すべき点等)

- ・介護保険事業収益により運営を行っており、区として指定管理料を支出していない。
- ・収支差額について、前年度は黒字であったが、28年度は赤字に転換した。

法令基準等への適合状況

確認項目		適合判断
運営基準を満たしているか		
運営規定を定めており、適切に守られている		○
重要事項を記した文書を交付して説明を行い、利用者等の同意を得ている		○
食中毒及び感染症を防止する処置等を行っている		○
人員配置基準を満たしているか		
管理者を配置している		○
看護職員、介護職員等を配置している		○
設備基準を満たしているか		
サービス提供に必要な設備を備えている		○
結果		適合

その他の評価項目

項目	評価	極めて良好である	良好である	取組が行われていない、または取組が十分でない
利用率（一般デイ）		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
利用者アンケートの結果、施設利用の満足度		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
自主的な取り組み		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

評価内容

- ・利用率については、一般デイは83.3%と良好であるが、認知デイについては、17.5%であり十分な利用率とはいえなかった。
- ・利用者アンケートの結果から、施設サービス全般に対する満足度が79%であり、十分であるとはいえなかった。
- ・自主的な取り組みについては、おげんきランチ卒業生に対して、健康茶話会「ころから」の実施や勤労留学生や企業研修、ボランティアの受け入れを積極的に実施していること、また、施設公開や近隣保育園児、小学生を季節行事に招待するなど、開かれた施設として地域と交流を深めていることが評価できる。

改善すべき点等

- ・施設のPR活動や新規利用者の獲得など、認知デイの利用率を向上させるための改善が必要である。
- ・利用者からの多くの要望に応じていくための工夫を図るなど、満足度を向上させるための改善が必要である。

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	西尾久西部在宅高齢者通所サービスセンター拠点区分決算であるが適正な手続きと見られる。	良好
	予算管理が適正である	予算管理に特段の問題は見られない。	
経営	経費の効果的活用が行われている	収入は減少しているが、経費縮減の努力は認められる。	良好
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労働環境は適正である。	優良
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	三期分の法人決算書に基づき財務評価を行った結果、成長性、安定性、健全性は良好である。安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している。	良好

総評	
サービス内容	<ul style="list-style-type: none"> ・入浴・排泄・食事等の介護、生活相談、機能訓練等のサービス提供を専門的なスキルをもって、安定的に実施している。 ・個別機能訓練以外にも体を動かす機会を確保するため、毎日、集団体操を実施しており、全員で同じ動きをすることが利用者にとっての意欲向上につながり、個別の機能訓練では得られない運動意欲を促すサービスの提供ができています。 ・利用者個々に合わせたサービス提供に取り組んだ結果、一般デイの利用率が80%以上維持できている。
財務・労務	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の会計手続や予算管理は適正であるが、サービス活動収支の差額が赤字であるため、利用率等の改善が必要である。 ・雇用契約条件、実施状況、健康診断などについて法令に準じた運用を行っている。 ・指定管理者である社会福祉法人荒川区社会福祉協議会は、収益性、成長性、安定性、活動性、健全性等いずれも良好であり、安定的な財務力を有している。
総合評価	<ul style="list-style-type: none"> ・法令基準については、すべて適合している。労務管理については適切に行われていたが、利用者アンケートの結果から施設サービス全般に対する満足度を向上させるための工夫が必要であるとともに、サービス活動の収支差額が赤字であるため、利用率等の改善が必要である。

担当所管部	
部	福祉部
課	福祉推進課

平成28年度 指定管理者実績評価結果表【A施設】

施設概要

施設名	名称	荒川区立荒川老人福祉センター
	所在地	荒川区荒川一丁目34番6号
指定管理者	名称	社会福祉法人 荒川区社会福祉協議会
	所在地	荒川区南千住一丁目13番20号
施設開設年月日		昭和45年12月1日開設
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成7年4月1日
指定期間		平成26年4月1日～平成31年3月31日（5年間）
業務内容		<p>(1) 事業に関する業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活、就労、健康等の相談及び指導に関する業務 ・機能回復訓練その他健康の保持増進に関する業務 ・教養の向上及びレクリエーションに関する業務 ・その他区が必要と認める事業に関する業務 <p>(2) 本施設の維持管理に関する業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設及び付属設備の保守点検に関する業務 ・施設の清掃に関する業務 ・備品の管理に関する業務 ・その他の維持管理に関する業務 <p>(3) 区が実施する早期の介護予防、認知症予防事業に関する業務</p>

平成28年度の事業計画

- 1 【介護予防促進事業】新規事業として、「健康維持増進事業」「介護予防事業」「認知症予防事業」を実施する。
- 2 【健康相談事業及び生活相談事業】日頃から健康相談員や看護師が利用者の身体状況を把握し、健康で快適な生活が維持できるよう支援するとともに、気軽に健康相談・生活相談ができる環境を整える。
- 3 【文化教養教室事業】文化教養教室（12教室）と定例事業（6教室）、公開講座（9講座）を開催する。新規の公開講座を増やすとともに、人気の高い講座についても回数を増やして実施する。
- 4 【高年者クラブ連合会に対する援助】地域に根差した施設づくりを目指し、世代間交流など出合いやふれあいを通じた施設に対する理解の促進を図る。

平成28年度の事業実績

- 1 28年10月から健康維持増進事業として「健康アップステーション」を開設し、専門の相談員による介護予防や健康づくり等の相談を実施した。また、介護予防及び認知症予防を目的とした4つのプログラムを週1回実施した。参加者は6か月間で体力向上が見られた。
- 2 地域包括支援センター等の関係機関と連携を図りながら、身近に相談ができるとともに安心感につながる環境づくりを行った。
- 3 新規公開講座の「ぬり絵で簡単はがき絵講座」と「おりがみ講習会」は好評であった。また、介護予防事業と関連付けて「プレ介護者講座～介護をするその前に～」を実施した。
- 4 高年者クラブ連合会の月例会長会や女性部全体会への職員参加や会場設営等を行うなど、連携・協力して事業を実施した。

施設決算状況

年度		平成26年度	平成27年度	平成28年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	指定管理料	61,869,883	55,498,444	70,060,510	67,755,269
	その他収入	0	0	0	0
	計	61,869,883	55,498,444	70,060,510	67,755,269
支出	運営費	6,413,796	6,172,388	10,787,802	9,386,816
	管理費	16,563,856	10,122,163	12,943,045	11,987,126
	人件費	37,027,518	38,857,394	44,308,814	44,189,427
	修繕費	1,864,713	346,499	2,020,849	2,191,900
	その他支出	0	0	0	0
	計	61,869,883	55,498,444	70,060,510	67,755,269
収支差額		0	0	0	0

(各費目内容・改善すべき点等)

- ・本部経費は基本協定により、運営費の決算額の2%相当額となっている。
- ・決算では、支出に応じて指定管理料を精算しており、収支に差額は生じない。

法令基準等への適合状況

確認項目		適合判断
運営基準を満たしているか		
	運営規定を定めており、適切に守られている	○
事業について		
	生活相談、健康相談を行っている	○
	教養講座等を行っている	○
	老人クラブに対する援助等を行っている	○
人員配置基準を満たしているか		
	施設の長を配置している	○
	相談・指導を行う職員を配置している	○
設備基準を満たしているか		
	サービス提供に必要な設備を備えている	○

結果

適合

その他の評価項目

項目	評価	極めて 良好である	良好である	取組が行われていない、または取組が十分でない
来館者数		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
利用者アンケートの結果、施設利用の満足度		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自主的な取り組み		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

評価内容

- ・ 1日の平均利用者は、155人と多くの来館者がある。（年間利用者総数45,948人、新規利用登録者515人）。
- ・ 利用者アンケートの結果から、施設サービス全般に対する満足度が87%に達するなど、良好な評価を得ている。
- ・ 夏季と冬季に「街なか避暑地」「街なかほっとサロン」を実施し、施設の地域開放を行っていること、また、近隣保育園との交流、サマーボランティアスクールや仕事体験プログラムの小中学生を受け入るなど、地域に根差し開かれた施設として、地域との交流を深めている。

改善すべき点等

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	荒川老人福祉センター拠点区分決算であるが適正な手続きと見られる。	良好
	予算管理が適正である	予算管理に特段の問題は見られない。	
経営	経費の効果的活用が行われている	人件費を含めた経費全体の増加は、28年10月から新たな事業が開始されたことによる。	良好
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労働環境は適正である。	優良
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	三期分の法人決算書に基づき財務評価を行った結果、成長性、安定性、健全性は良好である。安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している。	良好

総評

サービス内容	<ul style="list-style-type: none"> ・老人福祉センターとして担うべき、生活、就労、健康等の相談及び指導に関する業務などを確実に履行している。 ・高齢者が健康で生きがいを持って暮らせるように、また、介護予防や健康づくりに主体的に取り組めるよう、様々なプログラムやサービス提供が行われている。また、荒川区内・区外を問わず、多くの高齢者に社会参加に促す役割を果たしている。 ・利用者アンケート等に基づき、事業についての周知方法、新規講座の開講や事業内容を要望に沿った形で見直しを行い改善を重ねるなど、アンケート結果を反映させている。
財務・労務	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の会計手続や予算管理は適正である。また、経費の増加は、28年10月からの新規事業の開始によるものである。 ・雇用契約条件、実施状況、健康診断などについて法令に準じた運用を行っている。 ・指定管理者である社会福祉法人荒川区社会福祉協議会は、収益性、成長性、安定性、活動性、健全性等いずれも良好であり、安定的な財務力を有している。
総合評価	<ul style="list-style-type: none"> ・法令基準等については、すべて適合している。指定管理者業務は確実に履行され、サービス面、会計面は良好、労務面は優良であり、経費の効果的活用も行われており、指定管理業務は適正に行われていた。

担当所管部	
部	福祉部
課	福祉推進課

平成28年度 指定管理者実績評価結果表【A施設】

施設概要

施設名	名称	荒川区立授産場
	所在地	荒川区東尾久四丁目32番7号
指定管理者	名称	公益社団法人 荒川区シルバー人材センター
	所在地	荒川区東尾久四丁目32番7号
施設開設年月日		昭和55年3月東京都から移管
現在の指定管理者による 運営開始年月日		平成18年4月1日
指定期間		平成26年4月1日～平成31年3月31日（5年間）
業務内容		<p>荒川区立授産場条例の規定に基づく業務</p> <p>(1) 事業に関する業務 ア：作業及びそれに必要な設備の提供に関すること イ：作業の相談及び指導に関すること</p> <p>(2) 本施設の維持管理に関する業務 ア：施設及び付属設備の保守点検に関する業務 イ：施設の清掃に関する業務 ウ：備品の管理に関する業務 エ：その他維持管理に関する業務</p> <p>(3) その他区が必要と認める業務</p>

平成28年度の事業計画

- (1) 事業の運営については、今日まで培ってきた授産場運営のノウハウを活かし、利用者に適切な仕事を提供することで、生き甲斐づくりと健康で安定した生活を営んでもらえるよう努める。
- (2) 利用者の安定的な加工賃確保のため、受注量の安定化と工賃の増額を図るとともに、新規企業の開拓に努める。
- (3) 利用者の健康維持のために医師による健康診断を月に2回実施するとともに、毎日体操の時間を設け、作業の安全と健康増進に努める。
- (4) 利用者等の個人情報保護については、緊急時対応のための情報のみを保有することとし、取扱いには常に細心の注意を払う。

平成28年度の事業実績

- 28年度末利用者は、20名（27年度末利用者：20名）であった。
- 受注については10社（27年度実績10社から不変）、受注額は10,157,520円（27年度受注額は9,949,418円で約2%増）であった。
- 月別平均工賃は、44,469円（27年度：41,455円）、最高月は12月の56,466円（27年度最高月：12月52,201円）、最低月は8月の29,309円（27年度最低月：7月26,971円）であった。
- 健康管理については、毎月2回（第2・4火曜日）に嘱託医による問診、血圧測定等を行った。

施設決算状況

年度		平成26年度	平成27年度	平成28年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	指定管理料	16,059,559	16,721,091	17,689,261	17,587,259
	その他収入	0	0	0	0
	計	16,059,559	16,721,091	17,689,261	17,587,259
支出	運営費	629,620	627,588	943,594	623,350
	管理費	5,593,230	6,101,109	5,966,767	5,922,857
		本部経費	764,740	796,242	842,345
	人件費	9,592,353	9,295,265	9,743,718	9,709,326
	修繕費	244,356	697,129	1,035,182	1,331,726
	その他支出	0	0	0	0
	計	16,059,559	16,721,091	17,689,261	17,587,259
収支差額		0	0	0	0

(各費目内容・改善すべき点等)

- ・本部経費は年度協定により、運営費・管理費（修繕費含む）・人件費の決算額の5%相当額と定めている。
- ・決算では、支出に応じて指定管理料を精算しており、収支に差額は生じない。

法令基準等への適合状況

確認項目		適合判断
	荒川区立授産場指定管理者業務仕様書に則して適切に運営されている	○
	苦情を受け付けるための窓口を設置している	○
	非常災害対策を行っている	○
	健康管理を行っている	○
	施設長を配置している	○
	作業指導員を配置している	○
	作業室、作業設備など基準を満たした設備を設けている	○

結果

適合

その他の評価項目

項目	評価	極めて良好である	良好である	取組が行われていない、または取組が十分でない
安定した工賃確保に努めている		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
利用者アンケートの結果、施設利用の満足度		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自主的な取り組み		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

評価内容

- ・一人当たりの平均工賃額及び受注額は、それぞれ前年度比で約9%、約2%増加している。
- ・利用者アンケートの結果から、授産場での作業を続けたいかの問いに対し、全員が継続したいと回答しており、良好な評価を得ている。
- ・電力不足への対応として、室内照明器具の間引き及び空調温度の設定、昼休みの消灯等を徹底した。

改善すべき点等

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	荒川区シルバー人材センターの決算であるが注記・付属明細書が付記され適正な手続きと見られる。	良好
	予算管理が適正である	予算管理に特段の問題は見られない。	
経営	経費の効果的活用が行われている	予算上は人件費により5%弱増加しているが、収入増に応じた増加であり、特段の問題は見られない。	良好
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労働環境は適正である。	優良
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	人件費の増加により前期の収支は赤字であるが、財務構成は良好で懸念は見られない。	良好

総評

サービス内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域貢献等を目的として、授産場の会議室を区民の利用に供している。 ・ 施設及び付属設備の保全については、シルバー人材センターの会員による館内日常清掃及び樹木剪定を始め各種設備保守を効果的、効率的に行い、適切な維持管理に努めている。 ・ 安全な就業環境と健康管理を推進する取り組みが行われている。
財務・労務	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設の会計手続や予算管理は適正である。 ・ 経常収支は昨年までの赤字（△4百万円）から若干の黒字（+0.2百万円）に転換した。 ・ 雇用契約条件、実施状況、健康診断などについて法令に準じた運用を行っている。 ・ 短期負債が多額で若干流動性に欠けるが、資産構成は概ねバランスが取れている。
総合評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ 法令基準等については、すべて適合している。 ・ サービス面、会計面は良好で、労務面は優良であり、経費の効果的活用も行われているため、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部	
部	福祉部
課	高齢者福祉課

平成28年度 指定管理者実績評価結果表【A施設】

施設概要

施設名	名称	荒川区立荒川福祉作業所
	所在地	荒川区荒川一丁目53番9号
指定管理者	名称	社会福祉法人 荒川区社会福祉協議会
	所在地	荒川区南千住一丁目13番20号
施設開設年月日		昭和48年6月
現在の指定管理者による 運営開始年月日		平成19年4月1日
指定期間		平成24年4月1日～平成29年3月31日
業務内容		<ul style="list-style-type: none"> 知的障がい又は身体障がいのために就労能力の限られている人を対象に、作業指導及び生活指導等を通じて社会の一員として充実した生活ができるよう、自立援助を行う。

平成28年度の事業計画

- ・利用者に対し、自立して暮らせることを目的とした支援（就労継続支援B型）と、個々の状況に応じ就労（就労移行支援事業）に向けた支援を行う。
- ・就労継続支援事業B型については、利用者の特性を考慮し、作業工程を分析して、その能力や機能を高めるよう指導し、工賃収入増を図る。
- ・就労移行支援事業については、利用者の状況、保護者の要望を尊重して就職指導を行い、一般企業への就職を目指す。
- ・家庭及び関係機関との連携並びに地域との交流を図り、地域での自立生活を支援する。

平成28年度の事業実績

- ・就労継続支援事業B型41人（定員48人） 就労移行支援事業1人（定員7人）
- ・一人あたりの平均工賃支給目標を8千円とし、月ごとに売り上げ目標を定めて作業に取り組み、4月～11月は目標を達成した。
- ・受注作業以外に、自主生産活動を行い、各種イベントでの販売や出品等を行った。
- ・就労移行支援事業では、事務系作業訓練の一環として、ハローワーク足立での実習を行うなど、就労に向けてのプログラムを実施した。
- ・50歳以上の利用者を対象に、毎日のウォーキングの実施や、食事や感染症等についての講義を企画、実施した。

施設決算状況

年度		平成26年度	平成27年度	平成28年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	指定管理料	201,966,072	205,849,333	230,516,732	215,510,766
	その他収入	0	0	0	0
	計	201,966,072	205,849,333	230,516,732	215,510,766
支出	運営費	4,859,623	4,672,519	11,263,831	10,573,109
	管理費	51,250,702	49,550,937	47,682,657	45,260,715
		本部経費	26,108	28,422	0
	人件費	144,317,609	150,212,164	170,076,244	156,068,896
	修繕費	1,512,030	1,385,291	1,494,000	3,587,668
	その他支出	0	0	0	0
	計	201,966,072	205,849,333	230,516,732	215,510,766
収支差額		0	0	0	0

(各費目内容・改善すべき点等)

- ・収支当初計画・決算額は、荒川生活実習所を含んでいる。
- ・本部経費は基本協定により、指定管理料の精算処理後の残額の2%相当額となっている。
- ・決算では、本部経費の確定後に、本部経費を含む支出に応じて指定管理料全体を精算しており、収支に差額は生じない。

法令基準等への適合状況

確認項目		適合判断
運営基準を満たしているか		
運営規定を定めており、適切に守られている		○
重要事項を記した説明を行い、同意を得ている		○
衛生管理がなされている		○
人員配置基準を満たしているか		
管理者及びサービス管理責任者を配置している		○
看護職員及び生活支援員等を配置している		○
設備基準を満たしているか		
訓練・作業室等その他運営上必要な設備を持って運営している		○

結果

適合

その他の評価項目

項目	評価	極めて良好である	良好である	取組が行われていない、または取組が十分でない
利用者アンケート及び施設利用の満足度の結果		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
地域交流を積極的に行っている		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
災害時に対応できる取組を行っている		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

評価内容

- ・ 利用状況調査では、40人中33人（83%）が肯定的な回答をしている。
- ・ ボランティアの受入れや、地域行事に参加するなど、地域との交流を図っている。
- ・ 防災訓練では一次避難場所である小学校への移動訓練を行うなど、より具体的な訓練を行っている。

改善すべき点等

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	資金収支計算書、事業活動計算書、管理費支出内訳表、及び法人決算書を検査した結果、適正に会計手続が実施されていることが確認できた。	優良
	予算管理が適正である	資金収支計算書にて予算と実績の差異を確認した。差額は軽微であり、予算管理は極めて適正である。	
経営	経費の効果的活用が行われている	資金収支計算書にて支出額が予算から削減していることが確認でき、縮減努力が認められる。	良好
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労働環境は適正である。	優良
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	三期分の法人決算書に基づき財務評価を行った結果、安定性は極めて良好、成長性、収益性、健全性は良好である。安定的・継続的な運営に適正な財務力を有している。	良好

総評

サービス内容	<ul style="list-style-type: none"> ・受注作業以外に、オリジナル製品づくりを行い各種イベントや東京都の福祉ショップに出品を行うなど、自主生産活動を更に充実させた。 ・就労支援者向けの研修の実施や、ばん座位体操・ウォーキングを実施して体を動かす機会を作ったほか、個別面談によるニーズの把握など、サービスの充実に努めている。 ・利用者のニーズを踏まえた作業支援や生活支援を実施し、施設への満足度が高く、利用者支援体制においても評価できる。 ・今後、売上や作業支給工賃の目標を定め作業を行うとともに、受注作業が落ち込んだ場合でも補填ができるよう、自主生産活動の充実が望まれる。また就労移行支援事業については、利用者募集の工夫が望まれる。
財務・労務	<ul style="list-style-type: none"> ・会計関連書類を検査した結果、適正に会計手続が行われている事が確認できた。経費縮減の取組が高く評価できる。 ・雇用契約条件、実施状況、健康診断などについて法令に準じた運用を行っている。 ・法人決算書に基づき財務評価を行った結果、全評価指標とも良好又は極めて良好と評価できる値であった。安定的・継続的な運営に当たって適正な財務力を有している。
総合評価	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者に対するサービスの提供は適切に行われている。 ・法令基準等については、すべて適合している。 ・会計面、労務面は優良であり、経費の効果的活用も行われているため、指定管理業務は適正であったと評価できる。 ・今後、就労継続支援B型事業においては工賃の向上、就労移行支援事業においては利用者募集の工夫等が望まれる。

担当所管部	
部	福祉部
課	障害者福祉課

平成28年度 指定管理者実績評価結果表【A施設】

施設概要

施設名	名称	荒川区立荒川生活実習所
	所在地	荒川区荒川一丁目53番9号
指定管理者	名称	社会福祉法人 荒川区社会福祉協議会
	所在地	荒川区南千住一丁目13番20号
施設開設年月日		昭和48年6月
現在の指定管理者による 運営開始年月日		平成19年4月1日
指定期間		平成24年4月1日～平成29年3月31日
業務内容		<ul style="list-style-type: none"> ・重度の知的障がい者を対象に社会生活の向上、地域での自立生活支援、社会参加を目的とし、日々の生活の充実と生きがいを高める支援を行う。

平成28年度の事業計画

- ・生活介護に加え、基本的な生活習慣、生活スキル、社会的スキルなどを身に付けるための支援をし、利用者が社会の一員として自立して暮らすことを目指す。
- ・利用者のニーズや生活・家庭環境を把握し、相互理解を深め支援の一貫性を図る。
- ・地域の施設として、地域住民との交流を深める活動や、障がい者への理解の促進、福祉のまちづくりのための人材育成を行う。

平成28年度の事業実績

- ・利用者数40人（定員40人）
- ・利用者の増加、ニーズの多様化を踏まえ、グループ編成を小グループ化し、職員と利用者との距離感が近くなることで、かかわりや支援の視点を深めた。
- ・障がいの多様化や幅広い年齢層に対応するため、医療体制の確認や家庭での生活全体の支援状況の把握など、保護者との信頼関係の構築に努めた。
- ・ボランティアを積極的に受け入れ、利用者の意欲向上や体験の幅を拡大する機会を増やした。

施設決算状況

年度		平成26年度	平成27年度	平成28年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	指定管理料	201,966,072	205,849,333	230,516,732	215,510,766
	その他収入	0	0	0	0
	計	201,966,072	205,849,333	230,516,732	215,510,766
支出	運営費	4,859,623	4,672,519	11,263,831	10,573,109
	管理費	51,250,702	49,550,937	47,682,657	45,260,715
		本部経費	26,108	28,422	0
	人件費	144,317,609	150,212,164	170,076,244	156,068,896
	修繕費	1,512,030	1,385,291	1,494,000	3,587,668
	その他支出	0	0	0	0
	計	201,966,072	205,849,333	230,516,732	215,510,766
収支差額		0	0	0	0

(各費目内容・改善すべき点等)

- ・収支当初計画・決算額は、荒川生活実習所を含んでいる。
- ・本部経費は基本協定により、指定管理料の精算処理後の残額の2%相当額となっている。
- ・決算では、本部経費の確定後に、本部経費を含む支出に応じて指定管理料全体を精算しており、収支に差額は生じない。

法令基準等への適合状況

確認項目		適合判断
運営基準を満たしているか		
運営規定を定めており、適切に守られている		○
重要事項を記した説明を行い、同意を得ている		○
衛生管理がなされている		○
人員配置基準を満たしているか		
管理者及びサービス管理責任者を配置している		○
看護職員及び生活支援員等を配置している		○
設備基準を満たしているか		
訓練・作業室等その他運営上必要な設備を持って運営している		○

結果

適合

その他の評価項目

項目	評価	極めて 良好である	良好である	取組が行われていない、または取組が十分でない
利用者アンケート及び施設利用の満足度の結果		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
地域交流を積極的に行っている		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
災害時に対応できる取組を行っている		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

評価内容

- ・ 利用状況調査では、21人中18人（86％）が肯定的な回答をしている。
- ・ ボランティアの受入れや町会・民生委員等との連携など、地域交流を図っている。
- ・ 福祉避難所訓練及び災害用備品の使用方法に関する研修を行った。

改善すべき点等

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	資金収支計算書、事業活動計算書、管理費支出内訳表、及び法人決算書を検査した結果、適正に会計手続が実施されていることが確認できた。	優良
	予算管理が適正である	資金収支計算書にて予算と実績の差異を確認した。差額は軽微であり、予算管理は極めて適正である。	
経営	経費の効果的活用が行われている	資金収支計算書にて支出額が予算から削減していることが確認でき、縮減努力が認められる。	良好
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労働環境は適正である。	優良
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	三期分の法人決算書に基づき財務評価を行った結果、安定性は極めて良好、成長性、収益性、健全性は良好である。安定的・継続的な運営に適正な財務力を有している。	良好

総評

サービス内容	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の増加、ニーズの多様化を踏まえ、活動室の改修やグループ編成の見直しを行ったほか、職員研修の充実や職員に対し人権チェックシートによる行動の振り返りを行い職員育成に努めるなど、サービスの充実に努めている。 ・利用者のニーズを踏まえた生活支援を実施し、施設への満足度が高く、利用者支援体制においても評価できる。 ・今後、利用者の高齢化やニーズの多様化を踏まえ、本人や保護者のニーズの把握、相談の充実や関係機関との連携を更に充実させることが望まれる。
財務・労務	<ul style="list-style-type: none"> ・会計関連書類を検査した結果、適正に会計手続が行われている事が確認できた。縮減努力の取組が高く評価できる。 ・雇用契約条件、実施状況、健康診断などについて法令に準じた運用を行っている。 ・法人決算書に基づき財務評価を行った結果、全評価指標とも良好又は極めて良好と評価できる値であった。安定的・継続的な運営に当たって適正な財務力を有している。
総合評価	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者に対するサービスの提供は適切に行われている。 ・法令基準等については、すべて適合している。 ・会計面、労務面は優良であり、経費の効果的活用も行われているため、指定管理業務は適正であったと評価できる。 ・今後、利用者の高齢化や障がいの状況によるニーズの多様化を踏まえ、利用者それぞれに必要な支援を充実させることが望まれる。

担当所管部	
部	福祉部
課	障害者福祉課

平成28年度 指定管理者実績評価結果表【A施設】

施設概要		
施設名	名称	尾久生活実習所本所 / 尾久生活実習所分場
	所在地	荒川区西尾久六丁目17番3号 / 荒川区西尾久四丁目6番4号
指定管理者	名称	社会福祉法人 荒川区社会福祉協議会
	所在地	荒川区南千住一丁目13番20号
施設開設年月日		平成7年4月1日 / 平成14年4月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成18年4月1日
指定期間		平成26年4月1日～平成31年3月31日
業務内容		<ul style="list-style-type: none"> ・重度の知的障がい者を対象に社会生活の向上、地域での自立生活支援、社会参加を目的とし、日々の生活の充実と生きがいを高める支援を行う。

平成28年度の事業計画

- ・利用者の活動状況に合わせた柔軟な対応を行うため、グループ同士が連携した一体的な運営を図る。
- ・利用者や家族の意向に沿った支援の徹底を図るべく、個別支援計画の充実を図る。
- ・きめ細やかなサービスを提供するために、ケース会議による情報共有、専門職同士の連携の充実、職員のスキルアップに努める。
- ・地元自治会と協同した福祉避難所開設準備訓練などの災害対策を通して、地域交流を図る。

平成28年度の事業実績

- ・利用者数41人（定員41人） / 分場19人（定員19人）
- ・リズム体操、陶芸、調理などの各種訓練を行う際に職員同士がグループを超えて一体的な支援を行った。
- ・利用者・家族と個別面談を行い、利用者の希望や能力に応じた個別支援計画をサービス管理責任者と支援員とが協働して作成した。
- ・職員の欠員補充を行い、職員の適正配置に努め、各種研修を通して、職員のスキルアップを図った。
- ・情報誌の発行、施設公開、絵画展示などに加え、併設施設、地元町会と協力し、福祉避難所開設準備訓練を実施し地域交流に積極的に取り組んだ。

施設決算状況

年度		平成26年度	平成27年度	平成28年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	指定管理料	219,416,208	216,303,900	239,900,831	220,256,176
	その他収入	0	0	0	0
	計	219,416,208	216,303,900	239,900,831	220,256,176
支出	運営費	11,488,187	11,241,042	12,980,648	11,904,572
	管理費	43,338,824	43,336,645	48,386,283	39,737,821
	人件費	161,575,610	158,138,474	178,533,900	161,548,675
	修繕費	3,013,587	3,172,405	332,337	7,065,108
	その他支出	0	0	0	0
	計	219,416,208	216,303,900	239,900,831	220,256,176
収支差額	0	0	0	0	

(各費目内容・改善すべき点等)

- ・本部経費は基本協定により、指定管理料の精算処理後の残額の2%相当額となっている。
- ・決算では、本部経費の確定後に、本部経費を含む支出に応じて指定管理料全体を精算しており、収支に差額は生じない。

法令基準等への適合状況

確認項目		適合判断
運営基準を満たしているか		
運営規定を定めており、適切に守られている		○
重要事項を記した説明を行い、同意を得ている		○
衛生管理がなされている		○
人員配置基準を満たしているか		
管理者及びサービス管理責任者を配置している		○
看護職員及び生活支援員等を配置している		○
設備基準を満たしているか		
訓練・作業室等その他運営上必要な設備を持って運営している		○

結果

適合

その他の評価項目

項目	評価		
	極めて良好である	良好である	取組が行われていない、または取組が十分でない
利用者アンケート及び施設利用の満足度の結果	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
地域交流を積極的に行っている	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
災害時に対応できる取組を行っている	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

評価内容

- ・ 利用状況調査では52人中41人（79%）が満足であると回答している。
- ・ 定期的なボランティアの受け入れや施設の自由見学会を実施している。
- ・ 併設の高齢者施設や地元町会と協力し、福祉避難所開設準備訓練を実施している。

改善すべき点等

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	資金収支計算書、支出内訳明細、及び法人決算書を検査した結果、適正に会計手続が実施されていることが確認できた。	良好
	予算管理が適正である	資金収支計算書にて予算と実績の差異を確認した。全支出項目とも予算内に収まっており予算管理は適正である。	
経営	経費の効果的活用が行われている	設備改修、節電などにより、予算に比べ経費削減となった。	良好
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労働環境は適正である。	優良
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	三期分の法人決算書に基づき財務評価を行った結果、安定性は極めて良好、成長性、収益性、健全性は良好である。安定的・継続的な運営に適正な財務力を有している。	良好

総評

サービス内容	<ul style="list-style-type: none"> ・併設施設や町会と協力し災害時を想定した避難訓練を積極的に行っており、地域の防災意識の向上にも貢献している点が評価できる。 ・理学療法士による個別プログラムなど利用者のニーズを踏まえた生活支援を実施し、今後も、施設への満足度が向上することが期待でき、サービス面においても評価できる。 ・今後、利用者の高齢化、様々な障害の症状や程度の違いに合わせプログラムを充実していくことが望まれる。
財務・労務	<ul style="list-style-type: none"> ・会計関連書類を検査した結果、適正に会計手続が行われている事が確認できた。 ・雇用契約条件、実施状況、健康診断などについて法令に準じた運用を行っている。 ・法人決算書に基づき法人決算評価を行った結果、全評価指標とも良好又は極めて良好と評価できる値であった。安定的・継続的な運営に当たって適正な財務力を有している。
総合評価	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者に対するサービスの提供は適切に行われている。 ・法令基準等については、すべて適合している。 ・会計面は良好、労務面は優良であり、経費の効果的活用も行われており、指定管理業務は適正であったと評価できる。 ・今後、利用者の高齢化や障がいの状況によるニーズの多様化を踏まえ、利用者それぞれに必要な支援を充実させることが望まれる。

担当所管部	
部	福祉部
課	障害者福祉課

平成28年度 指定管理者実績評価結果表【A施設】

施設概要		
施設名	名称	荒川区立障害者福祉会館（アクロスあらかわ）
	所在地	荒川区荒川二丁目57番8号
指定管理者	名称	社会福祉法人 荒川区社会福祉協議会
	所在地	荒川区南千住一丁目13番20号
施設開設年月日		平成9年8月22日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成26年4月1日
指定期間		平成26年4月1日～平成31年3月31日
業務内容		<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者が地域の中で豊かに暮らしていくことを目指し、障がいのない方も含めた区民の幅広い交流、文化活動、情報提供の場を提供するとともに、障がい者向けの文化・教養講座、IT講習会などの各種事業を実施する。

平成28年度の事業計画

- ・障がいのある方の社会参加を支援する地域の拠点に加え、福祉教育や特定相談支援の機能を併せ持つことにより、自立と社会参加の促進を図る。
- ・講座や事業、イベントの事業運営に当たっては、ニーズを的確にキャッチして企画を実施し、障がいのある方や当事者団体と連携・協力していく。
- ・日々の運営や事業を通して、地元町会や障がい者団体、ボランティアとの地域の支えあいのネットワークを作る。
- ・ノーマライゼーションの理念の実現に向け、長年培ってきた多くの方々や団体との協力・共同の関係を一層深める。

平成28年度の事業実績

- ・施設利用者総数61,199人（27年度65,945人）
- ・貸室利用件数（貸出率）：多目的ホール1,793件（86%）、
第一・第二会議室1,183件（57%）、第三会議室326件（31%）
- その他、以下の事業を実施した。
- ・特定相談事業（計画作成及びモニタリング）
- ・文化・教養講座事業（料理教室、リズム体操教室等）
- ・IT講習会事業（障がい者向け講座）
- ・ふれあい交流事業（バリアフリー講座、ボランティア講座等）
- ・ばん座位体操、アクロス・連合会まつり等

施設決算状況

年度		平成26年度	平成27年度	平成28年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	指定管理料	41,417,430	43,594,694	49,882,778	58,300,845
	その他収入	0	0	0	0
	計	41,417,430	43,594,694	49,882,778	58,300,845
支出	運営費	1,645,861	2,639,239	7,051,239	16,237,603
	管理費	18,548,782	18,849,753	20,328,876	18,917,840
		本部経費	18,341	20,798	0
	人件費	20,890,404	21,628,172	22,502,663	21,743,790
	修繕費	314,042	456,732	0	1,355,637
	その他支出	0	0	0	0
	計	41,417,430	43,594,694	49,882,778	58,300,845
収支差額		0	0	0	0

(各費目内容・改善すべき点等)

- ・平成28年度の運営費は、サービス等の利用計画の作成件数が当初計画の見込みより増加したため、追加で指定管理料を支払った。
- ・本部経費は基本協定により、指定管理料の精算処理後の残額の2%相当額となっている。
- ・決算では、本部経費の確定後に、本部経費を含む支出に応じて指定管理料全体を精算しており、収支に差額は生じない。

法令基準等への適合状況

確認項目		適合判断
運営基準を満たしているか		
障がい者が利用しやすい施設の運営、情報収集及び提供ができています		○
衛生管理がなされています		○
個人情報などの管理が適正である		○
人員配置基準を満たしているか		
管理者を配置している（特定相談支援事業）		○
運営や利用サービスのために必要な職員数を配置している		○
設備基準を満たしているか		
運営に必要な設備及び備品等を備えている		○

結果

適合

その他の評価項目					
項目		評価	極めて 良好である	良好である	取組が行われていない、または取組が十分でない
利用者アンケート及び施設利用の満足度の結果			<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
地域交流を積極的に行っている			<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
災害時に対応できる取組を行っている			<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
評価内容					
<ul style="list-style-type: none"> ・利用状況調査では、44人中37人（84％）が肯定的な回答をしている。 ・施設公開を実施するなど、地域との交流を図っている。 ・地域と合同の福祉避難所開設訓練を行うなど防災対策に取り組んでいる。 					
改善すべき点等					
財務・労務評価表					
評価項目		評価内容			評価
会計	会計手続が適正である	資金収支計算書、事務費事業費支出内訳明細、及び法人決算書を検査した結果、適正に会計手続が実施されていることが確認できた。			良好
	予算管理が適正である	資金収支計算書にて予算と実績の差異を確認した。差額は軽微であり、予算管理は適正である。			
経営	経費の効果的活用が行われている	消耗品、水道光熱費の削減により、経費縮減となった。			優良
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労働環境は適正である。			優良
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	三期分の法人決算書に基づき財務評価を行った結果、安定性は極めて良好、成長性、収益性、健全性は良好である。安定的・継続的な運営に適正な財務力を有している。			良好

総評

サービス内容	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者への安全確保、個人情報保護など適切な運営がなされており、施設公開の実施など地域との交流も積極的に行っている。 ・具体的には、喫茶コーナーを活用して、環境課と連携した「街なか避暑地」などの取組を行ったほか、地元町会と合同で、応急救護訓練、福祉避難所開設訓練等を含めた実践的な防災訓練を行った。 ・利用者のニーズを踏まえた事業を実施することにより、施設への満足度が向上したと評価できる。 ・今後、特定相談支援事業の利用者増加が見込まれるため、計画策定の能力の向上が望まれる。
財務・労務	<ul style="list-style-type: none"> ・会計関連書類を検査した結果、適正に会計手続が行われている事が確認できた。経費縮減の取組が評価できる。 ・雇用契約条件、実施状況、健康診断などについて法令に準じた運用を行っている。 ・法人決算書に基づき財務評価を行った結果、全評価指標とも良好又は極めて良好と評価できる値であった。安定的・継続的な運営に当たって適正な財務力を有している。
総合評価	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者に対するサービスの提供は適切に行われている。 ・法令基準等については、すべて適合している。 ・会計面は良好、労務面は優良であり、経費の効果的活用も行われているため、指定管理業務は適正であったと評価できる。 ・今後、特定相談支援事業の利用者増加が見込まれるため、計画策定の能力の向上が望まれる。

担当所管部	
部	福祉部
課	障害者福祉課

平成28年度 指定管理者実績評価結果表【A施設】

施設概要		
施設名	名称	荒川区立精神障害者地域生活支援センター（アゼリア）
	所在地	荒川区東尾久五丁目45番11号
指定管理者	名称	社会福祉法人 トラムあらかわ
	所在地	荒川区東尾久三丁目20番10号 ベルメゾンエス2階
施設開設年月日		平成15年1月
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成15年1月4日
指定期間		平成26年4月1日～平成31年3月31日
業務内容		<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域で生活する精神障がい者の日常生活の支援、相談を行い、精神障がい者の社会復帰と自立、社会参加を促進するため、憩いや地域交流ができる場を提供し、精神ボランティア活動等の拠点とする。

平成28年度の事業計画

地域活動支援センターとして、精神障がい者が地域社会で生活しやすい環境づくりに努めることを基本方針に掲げて、以下の取組を行う。

- ・ 障がい者の地域活動支援として、グループ活動や各種の講座、利用者のミーティング等を実施。
- ・ 地域交流活動として、公開講座のほか、納涼祭等のイベントを開催。
- ・ 相談活動として、電話や面接による相談のほか、特定相談支援事業として、サービス等利用計画の作成を実施。

平成28年度の事業実績

- 以下の事業を実施した。
- ・ プログラム参加者数 4,202人（27年度4,167人）
 - ※実施内容等
 - 創作的・レクリエーション的活動プログラム（夕食会・就労準備講座等）
 - 自主活動的プログラム（家族教室、セルフヘルプミーティング等）
 - 地域交流プログラム(ボランティア講座、利用者ミーティング、スポーツ交流祭、新年のつどい等)
 - ・ 相談支援事業 相談件数 25,560件（27年度 25,868件）
 - ・ 特定相談支援事業実人数 75人（26年度より開始）
 - ・ 実習生受入 など

施設決算状況

年度		平成26年度	平成27年度	平成28年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	指定管理料	36,075,018	38,860,528	41,466,448	41,137,212
	その他収入	0	0	0	0
	計	36,075,018	38,860,528	41,466,448	41,137,212
支出	運営費	2,455,492	4,472,098	4,624,272	4,945,616
	管理費	3,856,716	3,800,702	4,352,114	4,228,360
		本部経費	16,979	21,053	0
	人件費	29,423,757	30,003,292	32,214,262	31,622,380
	修繕費	339,053	584,436	275,800	340,856
	その他支出	0	0	0	0
	計	36,075,018	38,860,528	41,466,448	41,137,212
収支差額		0	0	0	0

(各費目内容・改善すべき点等)

- ・本部経費は基本協定により、指定管理料の精算処理後の残額の2%相当額となっている。
- ・決算では、本部経費の確定後に、本部経費を含む支出に応じて指定管理料全体を精算しており、収支に差額は生じない。

法令基準等への適合状況

確認項目		適合判断
運営基準を満たしているか		
運営規定を定めており、適切に守られている		○
衛生管理がなされている		○
個人情報などの管理が適正である		○
人員配置基準を満たしているか		
施設長を配置している		○
指導員を2名以上配置している		○
設備基準を満たしているか		
創作活動の機会の提供及び社会との交流促進等に必要な設備及び備品等を備えている		○

結果

適合

その他の評価項目

項目	評価	極めて良好である	良好である	取組が行われていない、または取組が十分でない
利用者アンケート及び施設利用の満足度の結果		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
地域交流を積極的に行っている		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
災害時に対応できる取組を行っている		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

評価内容

- ・利用者アンケートでは、職員対応等について38人中25人（66％）が満足と回答をしている。
- ・地域交流については、地域行事への参加や公園清掃等、積極的に行っている。
- ・災害時の対応への取り組みとして、職員向け及び利用者向けの防災訓練を実施している。

改善すべき点等

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	決算書、事業別元帳を検査した結果、適正に会計手続が実施されていることが確認できた。	良好
	予算管理が適正である	決算書にて、予算と実績の乖離を確認した。原因分析の記載内容は明確である。予算管理は適正であると判断できる。	
経営	経費の効果的活用が行われている	水道光熱費をはじめとした経費縮減の取組が評価できる。	良好
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労働環境は適正である。	優良
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	三期分の法人決算書に基づき財務評価を行った結果、全ての評価項目が良好である。安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している。	優良

総評

サービス内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 土日も含めた電話相談や利用者の要望を取り入れたプログラムを実施するなど、サービスの充実を図るとともに、利用者の安全確保、個人情報保護など適切な運営がなされた。 ・ 行事への参加など地域交流を積極的に行うとともに、精神疾患への理解や施設の認知を広げるこころのボランティア講座を開催した。 ・ 今後、平成29年度に実施する施設の拡張を生かし、様々な症状や程度の違い、高齢化などの施設利用者の状況・ニーズに対応するためプログラム内容の見直しを図るなど、よりきめ細やかなサービス提供が望まれる。
財務・労務	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会計関連書類を検査した結果、適正に会計手続が行われている事が確認できた。 ・ 雇用契約条件、実施状況、健康診断などについて法令に準じた運用を行っている。 ・ 三期分の決算書を評価した結果、極めて良好な財務力を有している。
総合評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者に対するサービスの提供は適切に行われている。 ・ 法令基準等については、すべて適合している。 ・ 会計面は良好、労務面は優良であり、経費の効果的活用も行われているため、指定管理業務は適正であったと評価できる。 ・ 今後、様々な症状や程度の違い、高齢化などの施設利用者の状況・ニーズに対応するため、よりきめ細やかなサービス提供が望まれる。

担当所管部	
部	福祉部
課	障害者福祉課

平成28年度 指定管理者実績評価結果表【A施設】

施設概要		
施設名	名称	荒川区立障害者グループホーム（ピアホーム西日暮里）
	所在地	荒川区西日暮里二丁目2番6号
指定管理者	名称	特定非営利活動法人 東京福祉協議会
	所在地	練馬区桜台一丁目12番2-416号
施設開設年月日		平成6年4月
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成26年4月1日
指定期間		平成26年4月1日～平成29年3月31日
業務内容		<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者が、地域において自立した日常生活を送れることを目的として、企業及び福祉作業所等で就労している知的障がい者に居住の場を提供し、日常生活の援助及び生活指導を行う。 ・また、介護者が病気や冠婚葬祭等及び休養のため、在宅の障がい者を一時的に介護できない時に保護する緊急一時保護事業を行う。

平成28年度の事業計画

利用者の幸せを第一に考え、利用者が安心・安全で穏やかな日常生活を過ごせるよう、信頼関係を大切にし、以下の取組を行う。

- ・グループホームの利用者支援として、個別支援計画を見直し、年齢に合った支援を行うことで、より円滑に日々の生活を送れるようにする。支援を行う中で改善すべき点があれば、具体的な改善策を検討し実行する。また、余暇の充実をはかる。
- ・緊急一時保護利用者についても、グループホーム入居者同様、家庭的な雰囲気の中で穏やかな時間を過ごせるよう、利用者個々に合った支援を行う。

平成28年度の事業実績

- ・利用者数：グループホーム 延3人（定員4人） / 緊急一時 延36人（定員2人/日）
- ・施設の廃止が決定したため、グループホーム入居者3名の転居支援及び転居先グループホームへの引継ぎを行い、全員の転居が円滑に完了した。
- ・入居者の生活支援においては、健康状態に配慮し、食事の炭水化物と主菜副菜の分量配分を工夫することによりBMI値を下げるなどの健康管理の実施や、就労先が変更となった利用者に対し、就労先と連携して生活指導等を行う等、個々の状況に応じた支援を行った。
- ・緊急一時保護については、利用者が安心して過ごせるよう配慮した。
- ・昨年度に引き続き、地域が実施している「日曜カフェ」の活動場所としてホールを提供したほか、地域のお祭りの際に協力を行った。

施設決算状況

年度		平成26年度	平成27年度	平成28年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	指定管理料	21,014,289	21,278,921	21,575,595	24,310,987
	その他収入	0	0	0	0
	計	21,014,289	21,278,921	21,575,595	24,310,987
支出	運営費	57,377	55,304	60,000	36,369
	管理費	2,564,454	3,101,941	3,036,552	8,054,357
		本部経費	185,321	417,233	0
	人件費	18,274,198	17,771,982	18,194,985	16,220,261
	修繕費	118,260	349,694	284,058	0
	その他支出	0	0	0	0
	計	21,014,289	21,278,921	21,575,595	24,310,987
収支差額		0	0	0	0

(各費目内容・改善すべき点等)

- ・28年度は、施設の廃止に伴う事務量の増に伴い、当初予算を上回る決算となっている。
- ・本部経費は基本協定により、指定管理料実績額の2%相当額となっている。
- ・決算では、本部経費の確定後に、本部経費を含む支出に応じて指定管理料全体を精算しており、収支に差額は生じない。

法令基準等への適合状況

確認項目		適合判断
運営基準を満たしているか		
運営規定を定めており、適切に守られている		○
重要事項を記した説明を行い、同意を得ている		○
衛生管理がなされている		○
人員配置基準を満たしているか		
管理者及びサービス管理責任者を配置している		○
常勤職員の他に代替職員を確保している		○
設備基準を満たしているか		
利用者の居室等その他運営上必要な設備を適切に管理し、運営している		○

結果

適合

その他の評価項目

項目	評価	極めて良好である	良好である	取組が行われていない、または取組が十分でない
利用者アンケート及び施設利用の満足度の結果		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
地域交流を積極的に行っている		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
災害時に対応できる取組を行っている		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

評価内容

- ・ 利用状況調査では、実施対象者全員が満足であると回答している（100％）。
- ・ 地域が実施するカフェにホールを提供するなど、地域との交流を図っている。
- ・ 災害時避難に係る利用者とのミーティング、日常の中での再確認を実施している。

改善すべき点等

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	予算書、決算書、委託料に関わる内訳表を検査した結果、適正に会計手続が実施されていることが確認できた。	良好
	予算管理が適正である	決算書にて、予算と実績の乖離を確認した。予算と実績の乖離は施設閉鎖に起因するものであり、不適正な乖離は見受けられない。	
経営	経費の効果的活用が行われている	施設閉鎖に伴う、諸要因により評価は困難であるが、不適正な経費支出などは見受けられない。	良好
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労働環境は適正である。	優良
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	三期分の法人決算書に基づき財務評価を行った結果、成長性、収益性は良好である。資本増加に伴い借入金が増加しているが、安定的・継続的な運営に影響するレベルではない。	良好

総評	
サービス内容	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の生活支援、健康管理などが適切に行われており、施設廃止に伴うグループホーム入居者の転居準備、転居先グループホームへの引継ぎ等の支援も滞りなく行われ、全員が円滑に転居を完了することができた。
財務・労務	<ul style="list-style-type: none"> ・会計関連書類を検査した結果、施設閉鎖に伴う影響はあるが、適正に会計手続が行われていることが確認できた。 ・雇用契約条件、実施状況、健康診断などについて法令に準じた運用を行っている。 ・三期分の決算書を評価した結果、安定的・継続的な運営に当たって適正な財務力を有している。
総合評価	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者に対するサービスの提供は適切に行われている。 ・法令基準等については、すべて適合している。 ・サービス面、会計面は良好、労務面は優良であり、経費の効果的活用も行われているため、指定管理業務は適正であったと評価できる。 ・施設廃止に伴うグループホーム入居者の転居準備、転居先グループホームへの引継ぎ等の支援も滞りなく行われ、円滑に全員の転居が完了したことについても、適切な支援が行われたと評価できる。

担当所管部	
部	福祉部
課	障害者福祉課

平成28年度 指定管理者実績評価結果表【A施設】

施設概要

施設名	名称	荒川区立小台橋保育園
	所在地	荒川区西尾久六丁目9番7号
指定管理者	名称	社会福祉法人 教信精舎
	所在地	荒川区西尾久六丁目9番7号
施設開設年月日		平成16年4月1日
現在の指定管理者による 運営開始年月日		平成16年4月1日
指定期間		平成26年4月1日～平成31年3月31日
業務内容		保護者が就労、病気などのため、家庭で子どもを保育できないときに、保護者に代わって保育を行う。 (認可定員150名)

平成28年度の事業計画

- ・施設の計画的補修、備品器具什器や園庭遊具の安全点検を実施する。また、保育室内の温度、湿度、換気、採光を適切に管理し、施設内外の設備・用具の衛生管理に努めるほか、施設内の清掃・消毒を実施し、衛生状態の保持に努める。
- ・職員配置については、区の配置基準に基づき配置する。職員同士の情報の共有化を心掛け、職員意識の一体化を通して保育サービスの向上に努める。また、施設内外研修を積極的に実施するほか、専門的分野を超えた幅広い研修機会を設ける。
- ・保育目標の下、①保育計画及び評価、②保育行事の積極的実施、③体育遊びや異年齢児交流等の特色的保育活動の実施、④特別支援児保育、⑤小学校との連携、⑥保護者支援、⑦健康管理及び支援、⑧食育及び給食の実施、⑨環境衛生と安全管理、に積極的に取り組む。
- ・保護者との信頼関係が基本であるとの考えから、定期的な懇親会や保育参加、個人面談等を開催し、気軽に意見要望を聞く体制づくりに努める。また、保育方針や保護者との取り決めについて、職員が共通の理解・認識を持ち、全職員が丁寧に説明できる体制を確保する。
- ・所管消防署との連携を図り、火災・震災予防訓練を実施する。安全対策として、全職員が救命技能認定証を取得し、継続的に訓練を実施するほか、AED操作や心肺蘇生法等の研修を受講する。
- ・小学校との連携や中高生等との異年齢交流、保育実習生の受入れ等を通じて地域交流を図るほか、子育て交流サロンを実施し、積極的に在宅支援を行う。

平成28年度の事業実績

- ・適切に施設の維持管理を行った。
- ・適切に職員を配置したほか、積極的な研修開催に努めた。
- ・保育サービスについて、計画どおり適切に実施した。
- ・利用者からの意見や苦情、また事故等に対して適切に対応した。
- ・適切に危機管理を行った。
- ・地域への取組について、積極的な事業実施に取り組んだ。

施設決算状況

年度		平成26年度	平成27年度	平成28年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	指定管理料	233,378,893	249,631,941	246,689,743	246,752,243
	その他収入	10,563,442	10,665,102	10,799,760	10,832,823
	計	243,942,335	260,297,043	257,489,503	257,585,066
支出	運営費	19,453,474	21,706,902	21,675,000	18,836,034
	管理費		9,144,870	9,631,000	8,829,274
		本部経費	0	0	0
	人件費	195,894,901	191,828,693	204,099,335	203,101,952
	修繕費	255,805	1,091,880	1,800,000	1,522,260
	その他支出	2,425,400	2,246,400	2,494,200	2,473,800
	計	223,182,924	226,018,745	239,699,535	234,763,320
収支差額		20,759,411	34,278,298	17,789,968	22,821,746

(各費目内容・改善すべき点等)

法令基準等への適合状況

確認項目		適合判断
運営基準を満たしているか		
国基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「保育所保育指針」等）に基づいた運営を行っている。		○
都基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「東京都保育所設置認可等事務取扱要綱」等）に基づいた運営を行っている。		○
区基準（「荒川区個人情報保護条例」、「荒川区特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準等に関する条例」等）に基づいた運営を行っている。		○
人員配置基準を満たしているか		
国基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」等）に基づいた人員配置体制をとっている。		○
都基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「東京都保育所設置認可等事務取扱要綱」等）に基づいた人員配置体制をとっている。		○
区基準（「荒川区個人情報保護条例」等）に基づいた人員配置体制をとっている。		○
設備基準を満たしているか		
国基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」等）に基づいた設備を整えている。		○
都基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「東京都保育所設置認可等事務取扱要綱」等）に基づいた設備を整えている。		○
区基準（「荒川区個人情報保護条例」等）に基づいた設備を整えている。		○
結果		適合

その他の評価項目

項目	極めて良好である	良好である	取組が行われていない、または取組が十分でない
保育理念・目標に基づいた事業計画を策定し、熱意をもって実践している。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
利用者アンケートを実施しており、施設利用者の満足度が高い。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
適正な設備・施設管理を実践するほか、エコ活動の推進等、環境に配慮した運営を務めている。	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
区内事業者の活用や区民の雇用に努める等、地域との関わりづくりに取り組んでいる。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
地域環境や立地条件を活かした保育の実施により、地域間・世代間の交流を図っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
子ども主体の生活や遊びがより豊かに展開されるような工夫と、その取り組みにより子どもの育ちに変化が生まれた実践事例がある。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
園と保護者のコミュニケーションの場を設けたり、園からの積極的な情報発信を行うことで、保護者との信頼関係の構築に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

評価内容

- ・事業計画の達成度は100%で、極めて良好である。
- ・利用者の満足度は93.8%（第三者評価）となっている。また、保護者会等で意見・要望等を聞く体制作りをしている。
- ・適正に施設・整備管理を実施している。
- ・区民雇用率は44.4%と極めて高く、小学校との連携、中高生との異年齢交流等の地域交流を積極的に行っている。
- ・高校生の企画した紙芝居や人形劇を通して、年長者との関わりの中で、心の発達を育成する取組みを実施している。
- ・懇談会や個人面談等、保護者と直接対話できる場を定期的に設け、保護者との信頼関係の構築に努めている。

改善すべき点等

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	決算書、科目別内訳表、事業報告書など審査した結果会計処理は適正に行われている。	良好
	予算管理が適正である	予算・決算、前年決算等と比較して収入・支出・収支差は少なく、予算管理は適正である。	
経営	経費の効果的活用が行われている	経費実績は予算とほぼ等しい。人件経費・修繕費などが増加しており、経費の効果的活用が行われている。	良好
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労働環境は適正である。	優良
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業法人の三期の決算書に基づいて財務評価を行った結果、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等が良好であり、安定した運営を行う財務力を有している。	優良

総評

サービス内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 関係法令や荒川区との管理運営協定に基づき、保育サービスの実施、施設の維持管理など、適切に業務を実施している。また利用者の評価も高く、良好な運営を行っている。
財務・労務	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会計手続や予算管理は適切である。更に、経費の効果的活用も行っている。 ・ 雇用契約条件、実施状況、健康診断などについて法令に準じた運用を行っている。 ・ 収益性、成長性、安定性、活動性、健全性など良好であり、安定的運営を行う財務力を有している。
総合評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ サービス面、会計面は良好、労務面は優良であり、経費の効果的活用も行われているため、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部	
部	子育て支援部
課	保育課

平成28年度 指定管理者実績評価結果表【A施設】

施設概要		
施設名	名称	荒川区立上尾久保育園
	所在地	荒川区西尾久八丁目10番12号
指定管理者	名称	社会福祉法人 上智社会事業団
	所在地	荒川区町屋四丁目9番10号
施設開設年月日		昭和57年4月1日
現在の指定管理者による 運営開始年月日		平成18年4月1日
指定期間		平成26年4月1日～平成31年3月31日
業務内容		保護者が就労、病気などのため、家庭で子どもを保育できないときに、保護者に代わって保育を行う。 (認可定員100名)

平成28年度の事業計画

- ・設備の補修、点検をきめ細やかに実施する。また園舎、園舎、遊具等の危険個所の点検を常に行い、安全性向上に心掛ける。
- ・職員配置については、区の配置基準に基づき配置する。研修については、仕事を通じての研修を中心に据え、研修後は報告レポートにより、職員全員が成果を共有できるよう努める。労務問題にも対応し、知識の共有を図る。
- ・乳幼児が初めての集団生活で、食事・睡眠・排泄ができ、物事に対する善悪の判断や人に対する優しさ、いのちの尊さを大切にできるように、また地域の中でいきいきと健やかに育つよう、心豊かな保育を実践し、質の向上のための評価プロセスの検証や保護者満足度の把握にも努める。
- ・事故発生時には、法人関連の医療機関で迅速に対応する。また、苦情に対して迅速かつ適切に対応するため、苦情解決マニュアルを配置するほか、苦情箱を設置し、改善策を園内に掲示する等、積極的な対応を図る。
- ・年間計画をたて、毎月避難訓練を行うほか、年2回尾久消防署の来訪指導を受ける。法人全体として、個人情報保護規定を作成し、職員から個人情報保護に関する誓約書を徴収し、適切な管理を行う。社会的責任を認識し、リスクマネジメント、インシデントレポート、緊急時対応、地域とのつながり強化等を確実に実施する。
- ・地域に向けた情報発信、広報を行う。運動会、敬老会等に地域住民を招待するほか、通所サービスセンターの高齢者との交流会を実施する。法人関連の医療機関による健康相談を積極的に開催する。

平成28年度の事業実績

- ・適切に施設の維持管理を行った。
- ・適切に職員を配置したほか、研修の有効活用に努めた。
- ・保育サービスについて、計画どおり適切に対応した。
- ・利用者からの意見や苦情、また事故等に対して適切に対応した。
- ・適切に危機管理を行った。
- ・地域への取組について、積極的な事業実施に取り組んだ。

施設決算状況

年度		平成26年度	平成27年度	平成28年度		
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)	
収入	指定管理料	201,456,411	214,659,790	216,387,000	215,754,265	
	その他収入	1,469,000	1,448,000	1,306,000	1,306,050	
	計	202,925,411	216,107,790	217,693,000	217,060,315	
支出	運営費	19,177,526	18,457,885	18,942,000	18,843,443	
	管理費		3,587,214	3,662,231	3,940,000	3,891,495
		本部経費	0	0	0	0
	人件費	146,080,225	142,950,456	146,377,000	146,221,705	
	修繕費	622,156	738,683	1,400,000	1,381,536	
	その他支出	0	0	1,268,000	1,248,824	
	計	169,467,121	165,809,255	171,927,000	171,587,003	
収支差額		33,458,290	50,298,535	45,766,000	45,473,312	

(各費目内容・改善すべき点等)

法令基準等への適合状況

確認項目		適合判断
運営基準を満たしているか		
国基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「保育所保育指針」等）に基づいた運営を行っている。		○
都基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「東京都保育所設置認可等事務取扱要綱」等）に基づいた運営を行っている。		○
区基準（「荒川区個人情報保護条例」、「荒川区特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準等に関する条例」等）に基づいた運営を行っている。		○
人員配置基準を満たしているか		
国基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」等）に基づいた人員配置体制をとっている。		○
都基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「東京都保育所設置認可等事務取扱要綱」等）に基づいた人員配置体制をとっている。		○
区基準（「荒川区個人情報保護条例」等）に基づいた人員配置体制をとっている。		○
設備基準を満たしているか		
国基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」等）に基づいた設備を整えている。		○
都基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「東京都保育所設置認可等事務取扱要綱」等）に基づいた設備を整えている。		○
区基準（「荒川区個人情報保護条例」等）に基づいた設備を整えている。		○
結果		適合

その他の評価項目

項目	評価	極めて良好である	良好である	取組が行われていない、または取組が十分でない
保育理念・目標に基づいた事業計画を策定し、熱意をもって実践している。		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
利用者アンケートを実施しており、施設利用者の満足度が高い。		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
適正な設備・施設管理を実践するほか、エコ活動の推進等、環境に配慮した運営を務めている。		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
区内事業者の活用や区民の雇用に努める等、地域との関わりづくりに取り組んでいる。		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
地域環境や立地条件を活かした保育の実施により、地域間・世代間の交流を図っている。		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
子ども主体の生活や遊びがより豊かに展開されるような工夫と、その取り組みにより子どもの育ちに変化が生まれた実践事例がある。		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
園と保護者のコミュニケーションの場を設けたり、園からの積極的な情報発信を行うことで、保護者との信頼関係の構築に努めている。		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

評価内容

- ・事業計画の達成度は100%で、極めて良好である。
- ・利用者の満足度は96.9%（第三者評価）となっている。また行事ごとにアンケート調査を実施している。
- ・適正に施設・設備管理を実施している。
- ・区民雇用率は52.9%で、極めて良好である。
- ・運動会や敬老会等の行事に地域住民を招いたり、高齢者との交流会を開く等、地域との交流を積極的に行っている。
- ・体育教室や科学遊び等子どもの情操に役立つ環境を整え、地域環境の関わりの中で発育、発達を育む力の育成をする取組を実施している。
- ・保護者との信頼関係構築に努めるはもちろんのこと、地域に向けた情報発信、広報活動も積極的に行っている。

改善すべき点等

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	決算書、科目別内訳表、事業報告書など審査した結果会計処理は適正に行われている。	良好
	予算管理が適正である	収入・支出の予算・決算の収支差が少なく予算管理は適正である。	
経営	経費の効果的活用が行われている	経費実績は予算とほぼ等しい。収支差は昨年より縮小しており、経費の効果的活用が行われている。	良好
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労働環境は適正である。	優良
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業法人の三期の決算書に基づいて財務評価を行った結果、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等が極めて優れており、安定した運営を行う財務力を有している。	優良

総評	
サービス内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 関係法令や荒川区との管理運営協定に基づき、保育サービスの実施、施設の維持管理など、適切に業務を実施している。また利用者の評価も高く、良好な運営を行っている。
財務・労務	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会計手続や予算管理は適切である。収益差が縮小して経費の効果的活用が進められている。 ・ 雇用契約条件、実施状況、健康診断などについて法令に準じた運用を行っている。 ・ 収益性、成長性、安定性、活動性、健全性などすべてが優れており、安定的運営を行う財務力を有している。
総合評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ サービス面、会計面は良好、労務面は優良であり、経費の効果的活用も行われているため、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部	
部	子育て支援部
課	保育課

平成28年度 指定管理者実績評価結果表【A施設】

施設概要

施設名	名称	荒川区立南千住さくら保育園
	所在地	荒川区南千住四丁目9番4号
指定管理者	名称	社会福祉法人 上智社会事業団
	所在地	荒川区町屋四丁目9番10号
施設開設年月日		平成12年4月1日
現在の指定管理者による 運営開始年月日		平成18年4月1日
指定期間		平成26年4月1日～平成31年3月31日
業務内容		保護者が就労、病気などのため、家庭で子どもを保育できないときに、保護者に代わって保育を行う。 (認可定員110名)

平成28年度の事業計画

- ・施設の補修、点検をきめ細やかに実施する。また園舎、園庭、遊具等の危険個所の点検を行い、安全性向上に心掛ける。
- ・職員配置については、区の配置基準に基づき配置する。研修については、仕事を通じての研修を中心に据え、研修後は報告レポートにより、職員全員が共有できるように努める。労働問題も知識の共有化を図る。
- ・家庭や地域社会と連携を図り、保護者の協力の下、家庭養育の補てんを行い、子どもが健康かつ安全で情緒の安定した生活が送れる環境を用意し、自己を十分に発揮しながら活動できるように、健全な心身の発達を図り、豊かな人間性を培えるよう努める。また、地域に根差した保育運営に心掛けるとともに、質の向上のための評価プロセスの検証や保護者満足度の把握にも努める。
- ・事故発生時には、法人関連の医療機関で迅速に対応する。また、苦情に対して迅速かつ適切に対応するため、苦情解決マニュアルを配置するほか、苦情箱を設置し、改善策を園内に掲示する等積極的な対応を図る。
- ・年間計画をたて、毎月避難訓練を行うほか、年2回荒川消防署（汐入出張所）の来訪指導を受ける。非常用備蓄食品の計画購入に努める。また、法人全体として個人情報保護規定を作成し、職員から個人情報保護に関する誓約書を徴収し、適切な管理を図る。社会的責任を認識し、リスクマネジメント、インシデントレポート、緊急時対応、地域とのつながり強化等を確実に実施する。
- ・地域への情報発信、広報を行う。夏祭り、運動会、高齢者との交流会等に地域住民を積極的に招くことで、地域とともに子育てを支援する体制を強化する。法人関連の医療機関による健康相談を積極的に開催する。

平成28年度の事業実績

- ・適切に施設の維持管理を行った。
- ・適切に職員を配置したほか、研修の有効活用に努めた。
- ・保育サービスについて、計画どおり適切に実施した。
- ・利用者からの意見や苦情、また事故等に対して適切に対応した。
- ・適切に危機管理を行った。
- ・地域への取組について、積極的な事業実施に取り組んだ。

施設決算状況

年度		平成26年度	平成27年度	平成28年度		
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)	
収入	指定管理料	201,927,382	231,322,878	232,996,000	232,398,700	
	その他収入	1,545,000	1,531,400	1,278,000	1,275,850	
	計	203,472,382	232,854,278	234,274,000	233,674,550	
支出	運営費	21,991,636	22,077,586	20,409,000	20,322,550	
	管理費		3,346,874	3,642,110	4,226,000	4,215,818
		本部経費	0	0	0	0
	人件費	130,864,217	142,504,460	141,506,000	141,423,538	
	修繕費	2,120,144	656,243	765,000	754,300	
	その他支出	0	0	1,407,000	1,406,734	
	計	158,322,871	168,880,399	168,313,000	168,122,940	
収支差額		45,149,511	63,973,879	65,961,000	65,551,610	

(各費目内容・改善すべき点等)

法令基準等への適合状況

確認項目		適合判断
運営基準を満たしているか		
国基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「保育所保育指針」等）に基づいた運営を行っている。		○
都基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「東京都保育所設置認可等事務取扱要綱」等）に基づいた運営を行っている。		○
区基準（「荒川区個人情報保護条例」、「荒川区特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準等に関する条例」等）に基づいた運営を行っている。		○
人員配置基準を満たしているか		
国基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」等）に基づいた人員配置体制をとっている。		○
都基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「東京都保育所設置認可等事務取扱要綱」等）に基づいた人員配置体制をとっている。		○
区基準（「荒川区個人情報保護条例」等）に基づいた人員配置体制をとっている。		○
設備基準を満たしているか		
国基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」等）に基づいた設備を整えている。		○
都基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「東京都保育所設置認可等事務取扱要綱」等）に基づいた設備を整えている。		○
区基準（「荒川区個人情報保護条例」等）に基づいた設備を整えている。		○
結果		適合

その他の評価項目

項目	評価	極めて良好である	良好である	取組が行われていない、または取組が十分でない
保育理念・目標に基づいた事業計画を策定し、熱意をもって実践している。		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
利用者アンケートを実施しており、施設利用者の満足度が高い。		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
適正な設備・施設管理を実践するほか、エコ活動の推進等、環境に配慮した運営を務めている。		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
区内事業者の活用や区民の雇用に努める等、地域との関わりづくりに取り組んでいる。		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
地域環境や立地条件を活かした保育の実施により、地域間・世代間の交流を図っている。		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
子ども主体の生活や遊びがより豊かに展開されるような工夫と、その取り組みにより子どもの育ちに変化が生まれた実践事例がある。		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
園と保護者のコミュニケーションの場を設けたり、園からの積極的な情報発信を行うことで、保護者との信頼関係の構築に努めている。		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

評価内容

- ・事業計画の達成度は100%で、極めて良好である。
- ・利用者満足度は91.3%（第三者評価）となっている。また行事ごとにアンケート調査を実施している。
- ・適正に施設・設備管理を実施している。
- ・区民雇用率は24.5%と高く、良好である。
- ・地域の特性を活かした行事の開催や高齢者施設への訪問等、地域との交流を図っている。
- ・野菜栽培、収穫といった食育を通して食物への感謝、苦手な野菜の克服等、楽しく食べることを体験させる取組みを実施している。
- ・行事ごとにアンケートを実施し、保護者の声を聞き、信頼構築に努めている。

改善すべき点等

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	決算書、科目別内訳表、事業報告書など審査した結果、会計処理は適正に行われていた。	良好
	予算管理が適正である	予算・決算の収入・支出・収支差が大きい。又昨年よりも収支差が大きい。	
経営	経費の効果的活用が行われている	収支差が拡大しているが、経費実績と予算はほぼ等しいため、経費の効果的活用が行われている。	良好
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労働環境は適正である。	優良
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業法人の三期の決算書に基づいて財務評価を行った結果、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等が極めて優れており、安定した運営を行う財務力を有している。	優良

総評

サービス内容	<ul style="list-style-type: none"> ・関係法令や荒川区との管理運営協定に基づき、保育サービスの実施、施設の維持管理など、適切に業務を実施している。 ・また利用者の評価も高く、良好な運営を行っている。
財務・労務	<ul style="list-style-type: none"> ・収益差は拡大しているが、会計手続や予算管理は適切である。 ・雇用契約条件、実施状況、健康診断などについて法令に準じた運用を行っている。 ・収益性、成長性、安定性、活動性、健全性などすべてが優れており、安定的運営を行う財務力を有している。
総合評価	<ul style="list-style-type: none"> ・サービス面、会計面は良好、労務面は優良であり、経費の効果的活用も行われているため、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部	
部	子育て支援部
課	保育課

平成28年度 指定管理者実績評価結果表【A施設】

施設概要

施設名	名称	荒川区立汐入とちのき保育園
	所在地	荒川区南千住八丁目3番3号
指定管理者	名称	社会福祉法人 東京都福祉事業協会
	所在地	北区王子二丁目1番21号
施設開設年月日		平成12年4月1日
現在の指定管理者による 運営開始年月日		平成18年4月1日
指定期間		平成26年4月1日～平成31年3月31日
業務内容		保護者が就労、病気などのため、家庭で子どもを保育できないときに、保護者に代わって保育を行う。 (認可定員110名)

平成28年度の事業計画

- ・園庭を整備し、安全で安らぎのある場として整える。また、保育室や備品類等が使いやすいよう工夫し、子どもが安心して生活できるよう環境を整える。
- ・職員配置については、区の配置基準に基づき配置する。研修については、それぞれの段階に応じて必要な専門知識、技術を身に付けられるよう工夫するほか、研修成果の報告・共有化を図る。
- ・子ども達一人ひとりと丁寧に向き合い、受け止め、愛おしい存在として認める環境を用意し、その中で様々な心の動きを体験し、自信・満足感・意欲を持ち、互いに育ちあえる保育の援助を行う。保護者との信頼の絆をしっかりと結ぶことを心掛けるほか、地域に根差した保育園を目指す。
- ・アンケートの実施や意見箱の設置等により、利用者意見をくみ取るよう努める。苦情に対しては、対応マニュアルの整備等により、適切に対応している。
- ・月1回以上の防災安全点検、避難訓練、初期消火訓練、応急救護、AED訓練等を実施する。事故未然防止策、ヒヤリハット事例を職員間で共有し、怪我等を未然に防げるよう努めていく。法人全体の個人情報保護規定の会議での読み合わせや個人情報保護研修を実施する。
- ・卒園児の子育てボランティアや父親の子育て参加をはじめとして、子育てを社会全体で支援するため、地域の老人会、小中学校との交流、子どもに携わる施設との交流を積極的に行う。

平成28年度の事業実績

- ・適切に施設の維持管理を行った。
- ・適切に職員を配置したほか、研修の有効活用に努めた。
- ・保育サービスについて、計画どおり適切に実施した。
- ・利用者からの意見や苦情、また事故等に対して適切に対応した。
- ・適切に危機管理を行った。
- ・地域への取組について、積極的な事業実施に取り組んだ。

施設決算状況

年度		平成26年度	平成27年度	平成28年度		
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)	
収入	指定管理料	223,701,512	241,554,675	235,792,000	240,175,067	
	その他収入	3,652,950	3,220,621	3,211,000	3,239,223	
	計	227,354,462	244,775,296	239,003,000	243,414,290	
支出	運営費	29,110,718	25,841,741	28,845,000	29,273,162	
	管理費		20,104,397	13,810,208	13,582,000	12,776,950
		本部経費	0	0	0	0
	人件費	159,642,768	173,452,152	165,542,000	165,307,933	
	修繕費	1,783,721	1,795,079	1,200,000	1,025,326	
	その他支出	1,896,179	2,904,650	2,730,000	2,745,750	
	計	212,537,783	217,803,830	211,899,000	211,129,121	
収支差額		14,816,679	26,971,466	27,104,000	32,285,169	

(各費目内容・改善すべき点等)

法令基準等への適合状況

確認項目		適合判断
運営基準を満たしているか		
国基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「保育所保育指針」等）に基づいた運営を行っている。		○
都基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「東京都保育所設置認可等事務取扱要綱」等）に基づいた運営を行っている。		○
区基準（「荒川区個人情報保護条例」、「荒川区特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準等に関する条例」等）に基づいた運営を行っている。		○
人員配置基準を満たしているか		
国基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」等）に基づいた人員配置体制をとっている。		○
都基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「東京都保育所設置認可等事務取扱要綱」等）に基づいた人員配置体制をとっている。		○
区基準（「荒川区個人情報保護条例」等）に基づいた人員配置体制をとっている。		○
設備基準を満たしているか		
国基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」等）に基づいた設備を整えている。		○
都基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「東京都保育所設置認可等事務取扱要綱」等）に基づいた設備を整えている。		○
区基準（「荒川区個人情報保護条例」等）に基づいた設備を整えている。		○
結果		適合

その他の評価項目

項目	評価	極めて良好である	良好である	取組が行われていない、または取組が十分でない
保育理念・目標に基づいた事業計画を策定し、熱意をもって実践している。		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
利用者アンケートを実施しており、施設利用者の満足度が高い。		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
適正な設備・施設管理を実践するほか、エコ活動の推進等、環境に配慮した運営を務めている。		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
区内事業者の活用や区民の雇用に努める等、地域との関わりづくりに取り組んでいる。		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
地域環境や立地条件を活かした保育の実施により、地域間・世代間の交流を図っている。		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
子ども主体の生活や遊びがより豊かに展開されるような工夫と、その取り組みにより子どもの育ちに変化が生まれた実践事例がある。		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
園と保護者のコミュニケーションの場を設けたり、園からの積極的な情報発信を行うことで、保護者との信頼関係の構築に努めている。		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

評価内容

- ・事業計画の達成度は100%で、極めて良好である。
- ・利用者の満足度は86.7%（第三者評価）となっている。また行事ごとにアンケート調査を実施している。
- ・適正に施設・設備管理を実施している。
- ・区民雇用率は47.6%で、極めて良好である。
- ・卒園児の子育てボランティアや父親の子育て参加、地域の老人会や小中学校との交流を通して、子育てを社会全体で支援する取組を積極的に行っている。
- ・保健健康教室を通して、からだ全体の仕組みや機能を知り、自分の体に関心を持つような取組を実施している。
- ・アンケートの実施や意見箱の設置等により、保護者の意見をくみ取るよう努めている。

改善すべき点等

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	決算書、科目別内訳表、事業報告書など審査した結果会計処理は適正に行われていた。	良好
	予算管理が適正である	予算・決算、前年決算などと比較して収入・支出・収支差は少なく、予算管理は適正である。	
経営	経費の効果的活用が行われている	経費実績は予算とほぼ等しいが、前年より低下しており、経費節減・効果的活用努力は行われている。	良好
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労働環境は適正である。	優良
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業法人の三期の決算書に基づいて財務評価を行った結果、成長性、安定性、活動性・健全性等が良好であり、安定した運営を行う財務力を有している。	良好

総評

サービス内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 関係法令や荒川区との管理運営協定に基づき、保育サービスの実施、施設の維持管理など、適切に業務を実施している。また利用者の評価も高く、良好な運営を行っている。
財務・労務	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会計手続や予算管理は適切である。更に経費の効果的活用も行っている。 ・ 雇用契約条件、実施状況、健康診断などについて法令に準じた運用を行っている。 ・ 収益性、成長性、安定性、活動性、健全性など良好であり、安定的運営を行う財務力を有している。
総合評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ サービス面、会計面は良好、労務面は優良であり、経費の効果的活用も行われているため、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部	
部	子育て支援部
課	保育課

平成28年度 指定管理者実績評価結果表【A施設】

施設概要

施設名	名称	荒川区立はなみずき保育園
	所在地	荒川区南千住八丁目5番5号
指定管理者	名称	株式会社 こどもの森
	所在地	国分寺市光町二丁目5番1号
施設開設年月日		平成18年1月1日
現在の指定管理者による 運営開始年月日		平成28年4月1日
指定期間		平成28年4月1日～平成33年3月31日
業務内容		保護者が就労、病気などのため、家庭で子どもを保育できないときに、保護者に代わって保育を行う。 (認可定員150名)

平成28年度の事業計画

- ・職員全体で積極的に環境整備に取り組むことで、事故や怪我の予防につながる施設の適正な維持管理に努める。また、職員の環境整備に対する意識を高めるため、専門の講師による環境整備についての研修を定期的に行う。
- ・職員配置については、区の配置基準に基づき配置する。また、グループ力を活かした他園見学、経験別研修をはじめ、充実した研修を開催し、積極的に参加するよう職員に働きかける。スタッフシートを活用し、職員の育成と融和を図る。
- ・保育所保育指針に沿った保育方針を基本とし、一人ひとりを大切に生きる力を育て、「輪・和の保育」を創造することを理念として保育を実施する。また、食育の推進、地域間・世代間交流の実施、父親の子育てに対する意識喚起、在宅育児支援等を積極的に行う。専門家による英語・音楽・体操指導等を通して、子どもが多くの体験を積める機会を設ける。
- ・「ご意見箱」やアンケート等により、保護者の声を様々な方法で受け付ける。特に苦情に対しては、迅速かつ誠意ある対応を心掛けるとともに、苦情簿の整備、第三者委員の設置等により、より良い運営に役立てる。また、定期的に保護者アンケートを行い、運営面の改善を継続して図る。
- ・全職員に危機管理マニュアルや事故防止マニュアルの遵守徹底を図るほか、グループ力を活かして、他園の怪我・ヒヤリハット事例等を事故の未然防止に役立てる。また事故・災害発生時に法人本部、地域の関係機関と連携できるよう、体制強化に努める。避難訓練を毎月実施するほか、保護者への一斉配信メールサービス「らくらく連絡網」や災害時伝言掲示板を引き続き活用する。個人情報保護法に基づき、適切かつ厳重な情報管理に努める。

平成28年度の事業実績

- ・適切に施設の維持管理を行った。
- ・適切に職員を配置したほか、研修の有効活用に努めた。
- ・保育サービスについて、計画どおり適切に実施した。
- ・利用者からの意見や苦情、また事故等に対して適切に対応した。
- ・適切に危機管理を行った。
- ・地域への取組について、積極的な事業実施に取り組んだ。

施設決算状況

年度		平成26年度	平成27年度	平成28年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	指定管理料	234,041,376	261,667,983	263,300,000	253,038,981
	その他収入	3,364,981	2,853,053	2,450,000	3,125,873
	計	237,406,357	264,521,036	265,750,000	256,164,854
支出	運営費	13,471,409	12,775,727	14,750,000	11,682,906
	管理費	49,524,932	55,919,310	59,680,000	56,053,959
		本部経費	0	0	0
	人件費	124,659,522	126,504,344	133,500,000	132,998,309
	修繕費	89,798	131,112	300,000	226,471
	その他支出	2,065,250	2,061,750	2,200,000	1,929,500
	計	189,810,911	197,392,243	210,430,000	202,891,145
収支差額		47,595,446	67,128,793	55,320,000	53,273,709

(各費目内容・改善すべき点等)

法令基準等への適合状況

確認項目		適合判断
運営基準を満たしているか		
国基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「保育所保育指針」等）に基づいた運営を行っている。		○
都基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「東京都保育所設置認可等事務取扱要綱」等）に基づいた運営を行っている。		○
区基準（「荒川区個人情報保護条例」、「荒川区特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準等に関する条例」等）に基づいた運営を行っている。		○
人員配置基準を満たしているか		
国基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」等）に基づいた人員配置体制をとっている。		○
都基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「東京都保育所設置認可等事務取扱要綱」等）に基づいた人員配置体制をとっている。		○
区基準（「荒川区個人情報保護条例」等）に基づいた人員配置体制をとっている。		○
設備基準を満たしているか		
国基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」等）に基づいた設備を整えている。		○
都基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「東京都保育所設置認可等事務取扱要綱」等）に基づいた設備を整えている。		○
区基準（「荒川区個人情報保護条例」等）に基づいた設備を整えている。		○
		結果
		適合

その他の評価項目

項目	評価	極めて良好である	良好である	取組が行われていない、または取組が十分でない
保育理念・目標に基づいた事業計画を策定し、熱意をもって実践している。		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
利用者アンケートを実施しており、施設利用者の満足度が高い。		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
適正な設備・施設管理を実践するほか、エコ活動の推進等、環境に配慮した運営を務めている。		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
区内事業者の活用や区民の雇用に努める等、地域との関わりづくりに取り組んでいる。		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
地域環境や立地条件を活かした保育の実施により、地域間・世代間の交流を図っている。		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
子ども主体の生活や遊びがより豊かに展開されるような工夫と、その取り組みにより子どもの育ちに変化が生まれた実践事例がある。		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
園と保護者のコミュニケーションの場を設けたり、園からの積極的な情報発信を行うことで、保護者との信頼関係の構築に努めている。		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

評価内容

- ・事業計画の達成度は100%で、極めて良好である。
- ・利用者満足度は88.3%（第三者評価）となっている。また日頃の保育内容について、アンケート調査を実施している。
- ・適正に施設、設備管理を実施している。
- ・区内事業者の活用実績があり、地域との関わりづくりに取り組んでいる。
- ・開かれた保育所として行事の開放や共同実施、幼稚園やこども園との交流会への参加等、積極的に取り組んでいる。
- ・専門講師による英語、音楽、体操指導を行い、各分野での関心や興味を持たせ、子どもの発達を促す取組みを実施している。
- ・「ご意見箱」、アンケート等により保護者の声を様々な方法で受け止められる取組みを実施している。

改善すべき点等

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	決算書、科目別内訳表、事業報告書など審査した結果、会計処理は適正に行われている。	良好
	予算管理が適正である	予算・決算、前年決算等と比較して収入・支出予算差は少なく、予算管理は適正である。	
経営	経費の効果的活用が行われている	収支差が大きいいため、更なる改善が望まれるが、経費の効果的活用は前年より進められている。	良好
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労働環境は適正である。	優良
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業法人の三期の決算書に基づいて財務評価を行った結果、収益性、成長性、安定性等が良好であり、安定した運営を行う財務力を有している。	良好

総評

サービス内容	<ul style="list-style-type: none"> ・関係法令や荒川区との管理運営協定に基づき、保育サービスの実施、施設の維持管理など、適切に業務を実施している。また利用者の評価も高く、良好な運営を行っている。
財務・労務	<ul style="list-style-type: none"> ・会計手続や予算管理は適切である。経費の効果的活用の面では、いまだ収支差が大きいことから更なる改善が望まれるが、前年より効果的活用が進んでいると言える。 ・雇用契約条件、実施状況、健康診断などについて法令に準じた運用を行っている。 ・収益性、成長性、安定性、活動性、健全性などが良好であり、安定的運営を行う財務力を有している。
総合評価	<ul style="list-style-type: none"> ・サービス面、会計面は良好、労務面は優良であり、経費の効果的活用も行われているため、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部	
部	子育て支援部
課	保育課

平成28年度 指定管理者実績評価結果表【A施設】

施設概要

施設名	名称	荒川区立南千住保育園
	所在地	荒川区南千住六丁目35番3号
指定管理者	名称	社会福祉法人 上智社会事業団
	所在地	荒川区町屋四丁目9番10号
施設開設年月日		昭和42年4月1日
現在の指定管理者による 運営開始年月日		平成28年4月1日
指定期間		平成28年4月1日～平成33年3月31日
業務内容		保護者が就労、病気などのため、家庭で子どもを保育できないときに、保護者に代わって保育を行う。 (認可定員159名)

平成28年度の事業計画

- ・防錆、防腐等をこまめにチェックして補修メンテナンスを行う。電気設備・昇降設備の点検等の一括発注によるコスト削減、照明・冷房スイッチのこまめな入切による光熱水費の削減等、効率の良い維持管理に努めるほか、園舎、園庭、遊具等の危険個所の安全点検を確実に実施する。
- ・職員配置については、区の配置基準に基づき配置する。新規採用職員には、採用前に基本研修を法人本部で実施するほか、年間を通じて高い意識とビジョンを持って様々な研修を開催する。人事評価により、常にチャレンジ精神を持ち、互いに刺激し合い、学び合う環境を作る。労務問題に関する知識について職員間での共有を図る。
- ・保育所保育指針に沿った保育方針を基本として、隣人愛に基づく保育を行い、笑顔であいさつができ、心身ともに元気でたくましく生き抜く力を育む。集団生活や異年齢児交流を通して、思いやる心や信頼する心を育成する。地域の子育て支援拠点として、質の向上のための評価プロセスの検証や保護者満足度の把握も行う。
- ・様々な配布物や面談、日々のあいさつ等を通じて、より良い保育と信頼関係作りができるよう保護者とのコミュニケーションを図る。クレーム、苦情、相談、要望については、誠意を持って対応するとともに、プライバシーを配慮しながら結果を公表し、より良い運営に反映させていく。
- ・施設の危険防止対策として、保育リスクマネジメントマニュアルや安全配慮チェックリストを整備している。避難訓練年間計画や災害発生時の対応マニュアル等に基づき、毎月訓練を実施している。社会的責任を認識し、リスクマネジメント、インシデントレポート、緊急時対応、地域とのつながり強化等を確実に実施する。
- ・地域に根差した施設を目指し、近隣の小中学校との交流や高齢者とのふれあいを通じ、地域一体となって連携の輪を深め、地域に向けた情報発信、広報を行う。

平成28年度の事業実績

- ・適切に施設の維持管理を行った。
- ・適切に職員を配置したほか、研修の有効活用に努めた。
- ・保育サービスについて、計画どおり適切に対応した。
- ・利用者からの意見や苦情、また事故等に対して適切に対応した。
- ・適切に危機管理を行った。
- ・地域への取組について、積極的な事業実施に取り組んだ。

施設決算状況

年度		平成26年度	平成27年度	平成28年度		
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)	
収入	指定管理料	250,778,413	274,673,477	274,640,000	274,555,414	
	その他収入	2,969,360	3,678,500	3,616,000	3,616,450	
	計	253,747,773	278,351,977	278,256,000	278,171,864	
支出	運営費	26,366,958	27,628,860	26,036,000	25,996,648	
	管理費		5,928,093	5,251,059	5,599,000	5,595,382
		本部経費	0	0	0	0
	人件費	178,624,726	187,058,951	182,543,000	182,293,499	
	修繕費	159,300	798,043	3,622,000	3,597,586	
	その他支出	0	0	2,183,000	2,183,073	
	計	211,079,077	220,736,913	219,983,000	219,666,188	
収支差額		42,668,696	57,615,064	58,273,000	58,505,676	

(各費目内容・改善すべき点等)

法令基準等への適合状況

確認項目		適合判断
運営基準を満たしているか		
国基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「保育所保育指針」等）に基づいた運営を行っている。		○
都基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「東京都保育所設置認可等事務取扱要綱」等）に基づいた運営を行っている。		○
区基準（「荒川区個人情報保護条例」、「荒川区特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準等に関する条例」等）に基づいた運営を行っている。		○
人員配置基準を満たしているか		
国基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」等）に基づいた人員配置体制をとっている。		○
都基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「東京都保育所設置認可等事務取扱要綱」等）に基づいた人員配置体制をとっている。		○
区基準（「荒川区個人情報保護条例」等）に基づいた人員配置体制をとっている。		○
設備基準を満たしているか		
国基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」等）に基づいた設備を整えている。		○
都基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「東京都保育所設置認可等事務取扱要綱」等）に基づいた設備を整えている。		○
区基準（「荒川区個人情報保護条例」等）に基づいた設備を整えている。		○
		結果
		適合

その他の評価項目

項目	評価		
	極めて良好である	良好である	取組が行われていない、または取組が十分でない
保育理念・目標に基づいた事業計画を策定し、熱意をもって実践している。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
利用者アンケートを実施しており、施設利用者の満足度が高い。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
適正な設備・施設管理を実践するほか、エコ活動の推進等、環境に配慮した運営を務めている。	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
区内事業者の活用や区民の雇用に努める等、地域との関わりづくりに取り組んでいる。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
地域環境や立地条件を活かした保育の実施により、地域間・世代間の交流を図っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
子ども主体の生活や遊びがより豊かに展開されるような工夫と、その取り組みにより子どもの育ちに変化が生まれた実践事例がある。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
園と保護者のコミュニケーションの場を設けたり、園からの積極的な情報発信を行うことで、保護者との信頼関係の構築に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

評価内容

- ・事業計画の達成度は100%で、極めて良好である。
- ・利用者満足度は82.1%（第三者評価）となっている。また行事ごとにアンケート調査を実施している。
- ・適正に施設・設備管理を実施している。
- ・区民雇用率は47.2%と高く、極めて良好である。
- ・近隣の小中学校との交流や高齢者とのふれあいを通じ、地域との連携を深めている。
- ・体育遊びやリズム遊び等、発達の特徴に合わせた活動を体験していく中で、心身の豊かな発達を促す取組みを実施している。
- ・様々な配付物や面談、日々の挨拶等を通して、より良い保育と保護者との信頼関係づくりに努めている。

改善すべき点等

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	決算書、科目別内訳表、事業報告書など審査した結果会計処理は適正に行われていた。	良好
	予算管理が適正である	予算・決算の収入・支出・収支差が大きい。又昨年よりも収支差が大きい。	
経営	経費の効果的活用が行われている	収支差が拡大しているが、経費実績は予算とほぼ等しいため、経費の効果的活用が行われている。	良好
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労働環境は適正である。	優良
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業法人の三期の決算書に基づいて財務評価を行った結果、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等が極めて優れていて、安定した運営を行う財務力を有している。	優良

総評

サービス内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 関係法令や荒川区との管理運営協定に基づき、保育サービスの実施、施設の維持管理など、適切に業務を実施している。また利用者の評価も高く、良好な運営を行っている。
財務・労務	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会計手続や予算管理は適切であるが、収益差が拡大していることから、改善が望まれる。 ・ 雇用契約条件、実施状況、健康診断などについて法令に準じた運用を行っている。 ・ 収益性、成長性、安定性、活動性、健全性などすべてが優れており、安定的運営を行う財務力を有している。
総合評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ サービス面、会計面は良好、労務面は優良であり、経費の効果的活用も行われているため、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部	
部	子育て支援部
課	保育課

平成28年度 指定管理者実績評価結果表【A施設】

施設概要

施設名	名称	荒川区立南千住七丁目保育園
	所在地	荒川区南千住七丁目20番13号
指定管理者	名称	社会福祉法人 東萌会
	所在地	埼玉県越谷市七左町一丁目347番地
施設開設年月日		平成24年7月1日
現在の指定管理者による 運営開始年月日		平成24年7月1日
指定期間		平成24年7月1日～平成29年3月31日
業務内容		保護者が就労、病気などのため、家庭で子どもを保育できないときに、保護者に代わって保育を行う。 (認可定員151名)

平成28年度の事業計画

- ・ 基本に沿って定期的に施設点検を行い、事故や怪我の予防につながる施設の適正な維持管理に努めていく。また、専門業者による安全点検を受診し、注意点等についてアドバイスをもらう。
- ・ 職員配置については、区の配置基準に基づき配置する。また、法人において充実した研修体制を整備し、園において積極的に参加するよう職員へ働きかける。
- ・ 保育所保育指針に沿った保育方針を基本として、一人ひとりを大切に、生きる力の基礎を培えるような保育を実施する。家庭との信頼関係構築のために、「職員と保護者の連携が深まるよう情報の提供・交換の仕方を改善」「個々の利用者に応じた育児支援の強化」という目標を掲げ、重点的に取り組む。また、食育の推進、地域間・世代間交流の実施、在宅育児支援等を積極的に行う。
- ・ 「ご意見箱」の設置や個人面談等により、保護者の声を様々な方法で受け付ける。また、苦情に対しては、苦情解決体制を築き、適切に対応する。意見・苦情については、対応策を含め原則としてすべて公開し、運営改善や問題等の再発防止に繋げる。
- ・ 全職員に危機管理マニュアルや事故防止マニュアルの遵守徹底を図るほか、事故発生時に地域の関係機関と連携する体制を整備する。防災対策として、毎月の避難訓練や消火訓練の実施等に取り組む。食物アレルギーについて、誤植防止体制を維持する。個人情報保護方針に基づき、適切かつ厳重な管理を行う。
- ・ 地域に開かれた保育所として、保育園行事の地域開放や世代間交流を図るほか、子育て交流サロンでは、育児相談・育児講座・情報提供等を通じて在宅育児支援を積極的に行う。また、専門機関や小中学校との連携を図り、次世代育成支援や合同防災訓練を実施する。

平成28年度の事業実績

- ・ 適切に施設の域管理を行った。
- ・ 適切に職員を配置したほか、研修の有効活用に努めた。
- ・ 保育サービスについて、計画どおり適切に実施した。
- ・ 利用者からの意見・苦情、また事故等に対して適切に対応した。
- ・ 適切に危機管理を行った。
- ・ 地域への取組について、積極的な事業実施に取り組んだ。

施設決算状況

年度		平成26年度	平成27年度	平成28年度		
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)	
収入	指定管理料	215,877,796	247,667,906	251,608,000	251,607,517	
	その他収入	3,025,603	2,632,118	4,773,500	4,771,038	
	計	218,903,399	250,300,024	256,381,500	256,378,555	
支出	運営費	21,716,129	21,749,049	24,415,000	24,347,217	
	管理費		22,697,154	23,197,037	24,269,000	24,141,198
		本部経費	0	0	0	0
	人件費	146,592,238	137,321,350	183,410,000	182,912,106	
	修繕費	3,200	73,710	661,000	660,089	
	その他支出	0	0	0	0	
	計	191,008,721	182,341,146	232,755,000	232,060,610	
収支差額		27,894,678	67,958,878	23,626,500	24,317,945	

(各費目内容・改善すべき点等)

法令基準等への適合状況

確認項目		適合判断
運営基準を満たしているか		
国基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「保育所保育指針」等）に基づいた運営を行っている。		○
都基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「東京都保育所設置認可等事務取扱要綱」等）に基づいた運営を行っている。		○
区基準（「荒川区個人情報保護条例」、「荒川区特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準等に関する条例」等）に基づいた運営を行っている。		○
人員配置基準を満たしているか		
国基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」等）に基づいた人員配置体制をとっている。		○
都基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「東京都保育所設置認可等事務取扱要綱」等）に基づいた人員配置体制をとっている。		○
区基準（「荒川区個人情報保護条例」等）に基づいた人員配置体制をとっている。		○
設備基準を満たしているか		
国基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」等）に基づいた設備を整えている。		○
都基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「東京都保育所設置認可等事務取扱要綱」等）に基づいた設備を整えている。		○
区基準（「荒川区個人情報保護条例」等）に基づいた設備を整えている。		○
		結果
		適合

その他の評価項目

項目	評価	極めて良好である	良好である	取組が行われていない、または取組が十分でない
保育理念・目標に基づいた事業計画を策定し、熱意をもって実践している。		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
利用者アンケートを実施しており、施設利用者の満足度が高い。		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
適正な設備・施設管理を実践するほか、エコ活動の推進等、環境に配慮した運営を務めている。		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
区内事業者の活用や区民の雇用に努める等、地域との関わりづくりに取り組んでいる。		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
地域環境や立地条件を活かした保育の実施により、地域間・世代間の交流を図っている。		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
子ども主体の生活や遊びがより豊かに展開されるような工夫と、その取り組みにより子どもの育ちに変化が生まれた実践事例がある。		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
園と保護者のコミュニケーションの場を設けたり、園からの積極的な情報発信を行うことで、保護者との信頼関係の構築に努めている。		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

評価内容

- ・事業計画の達成度は100%で、極めて良好である。
- ・利用者の満足度は74.2%（第三者評価）となっている。また日頃の保育に関するアンケートを実施している。
- ・適正に施設・設備管理を実施している。
- ・区民雇用率は24.7%であり、良好である。
- ・専門機関や地域の小中学校との連携を図り、次世代育成支援を行っている。合同防災訓練を通して地域住民との連携を図っている。
- ・3～5歳児を対象とした運動遊びを実施し、遊びの中で、優しさや思いやりを育む環境を作っている。
- ・ご意見箱や個人面談等で保護者の声を様々な方法で受け付け、保護者との連携が深まるよう情報提供・交換の仕方の工夫・改善に努めている。

改善すべき点等

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	決算書、科目別内訳表、事業報告書など審査した結果、会計処理は適正に行われていた。	良好
	予算管理が適正である	予算・決算を比較して差異は少なく、予算管理は適正である。	
経営	経費の効果的活用が行われている	人件費の増加により、収支差は前年より縮小している。経費の効果的活用努力は行われている。	良好
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労働環境は適正である。	優良
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業法人の三期の決算書に基づいて財務評価を行った結果、成長性、安定性、活動性・健全性等が良好であり、安定した運営を行う財務力を有している。	良好

総評	
サービス内容	<ul style="list-style-type: none"> ・関係法令や荒川区との管理運営協定に基づき、保育サービスの実施、施設の維持管理など、適切に業務を実施している。また利用者の評価も高く、良好な運営を行っている。
財務・労務	<ul style="list-style-type: none"> ・会計手続や予算管理は適切である。人件費、修繕費も増加しており、経費の効果的活用も行っている。 ・雇用契約条件、実施状況、健康診断などについて法令に準じた運用を行っている。 ・収益性、成長性、安定性、活動性、健全性など良好であり、安定的運営を行う財務力を有している。
総合評価	<ul style="list-style-type: none"> ・サービス面、会計面は良好、労務面は優良であり、経費の効果的活用も行われているため、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部	
部	子育て支援部
課	保育課

平成28年度 指定管理者実績評価結果表【A施設】

施設概要

施設名	名称	荒川区立夕やけこやけ保育園
	所在地	荒川区東日暮里三丁目11番19号
指定管理者	名称	社会福祉法人 教信精舎
	所在地	荒川区西尾久六丁目9番7号
施設開設年月日		平成25年4月1日
現在の指定管理者による 運営開始年月日		平成25年4月1日
指定期間		平成25年4月1日～平成30年3月31日
業務内容		保護者が就労、病気などのため、家庭で子どもを保育できないときに、保護者に代わって保育を行う。 (認可定員156名)

平成28年度の事業計画

- ・施設管理は、日常的な目視による点検と定期点検を実施し、安全確保に努める。職員の工夫や意見を積極的に聴取し、効率的に進められるようコスト意識を持って対応する。
- ・職員配置については、区の配置基準に基づき配置する。職員の育成については、施設内研修及び外部研修への積極的な参加を促し、保育実習や公開保育をとおして、保育の振り返りにも努める。
- ・保育目標の下、①保育計画及び評価、②保育行事の積極的実施、③体育遊びや異年齢児交流等特色のある保育活動の実施、④特別支援児保育、⑤小学校との連携、⑥保護者支援、⑦健康管理及び支援、⑧食育及び給食の実施、⑨環境衛生と安全管理、に積極的に取り組む。
- ・保護者との信頼関係が基本であるとの考えから、定期的な懇親会や保育参加、個人面談等を開催し、気軽に意見要望を聞く体制づくりに努める。保育方針や保護者との取り決めについて職員が共通の理解・認識を持ち、全職員が丁寧に説明できる体制を確保する。
- ・書簡消防署との連携を図り、火災・震災予防訓練を実施する。安全対策として、全職員が救命技能認定証を取得し、継続的に訓練を実施するほか、AED操作や心肺蘇生法等の研修を受講する。個人情報については、電子情報、書類双方について管理徹底を図る。
- ・小学校との連携や中高生との異年齢交流、保育実習生の受入れ等を通じて、地域交流を図るほか、ふれあい館との合築という構造を活かして、多様な世代や地域との交流に努める。

平成28年度の事業実績

- ・適切に施設の維持管理を行った。
- ・適切に職員を配置したほか、研修の有効活用に努めた。
- ・保育サービスについて、計画どおり適切に実施した。
- ・利用者からの意見や苦情、また事故等に対して適切に対応した。
- ・適切に危機管理を行った。
- ・地域への取組について、積極的な事業実施に取り組んだ。

施設決算状況

年度		平成26年度	平成27年度	平成28年度		
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)	
収入	指定管理料	217,800,025	248,311,917	254,343,172	254,410,172	
	その他収入	3,094,265	3,491,855	2,766,257	2,800,457	
	計	220,894,290	251,803,772	257,109,429	257,210,629	
支出	運営費	22,851,407	20,282,746	23,257,600	22,029,662	
	管理費		6,828,641	8,751,147	8,710,000	8,420,092
		本部経費	0	0	0	0
	人件費	172,304,342	203,010,122	200,103,503	196,840,423	
	修繕費	397,480	588,978	500,000	197,500	
	その他支出	2,195,700	2,463,600	2,615,400	2,609,400	
	計	204,577,570	235,096,593	235,186,503	230,097,077	
収支差額		16,316,720	16,707,179	21,922,926	27,113,552	

(各費目内容・改善すべき点等)

法令基準等への適合状況

確認項目		適合判断
運営基準を満たしているか		
国基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「保育所保育指針」等）に基づいた運営を行っている。		○
都基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「東京都保育所設置認可等事務取扱要綱」等）に基づいた運営を行っている。		○
区基準（「荒川区個人情報保護条例」、「荒川区特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準等に関する条例」等）に基づいた運営を行っている。		○
人員配置基準を満たしているか		
国基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」等）に基づいた人員配置体制をとっている。		○
都基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「東京都保育所設置認可等事務取扱要綱」等）に基づいた人員配置体制をとっている。		○
区基準（「荒川区個人情報保護条例」等）に基づいた人員配置体制をとっている。		○
設備基準を満たしているか		
国基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」等）に基づいた設備を整えている。		○
都基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「東京都保育所設置認可等事務取扱要綱」等）に基づいた設備を整えている。		○
区基準（「荒川区個人情報保護条例」等）に基づいた設備を整えている。		○
結果		適合

その他の評価項目

項目	評価	極めて良好である	良好である	取組が行われていない、または取組が十分でない
保育理念・目標に基づいた事業計画を策定し、熱意をもって実践している。		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
利用者アンケートを実施しており、施設利用者の満足度が高い。		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
適正な設備・施設管理を実践するほか、エコ活動の推進等、環境に配慮した運営を務めている。		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
区内事業者の活用や区民の雇用に努める等、地域との関わりづくりに取り組んでいる。		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
地域環境や立地条件を活かした保育の実施により、地域間・世代間の交流を図っている。		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
子ども主体の生活や遊びがより豊かに展開されるような工夫と、その取り組みにより子どもの育ちに変化が生まれた実践事例がある。		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
園と保護者のコミュニケーションの場を設けたり、園からの積極的な情報発信を行うことで、保護者との信頼関係の構築に努めている。		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

評価内容

- ・事業計画の達成度は100%で、極めて良好である。
- ・利用者満足度は90.2%（第三者評価）で、極めて高い。
- ・適正に施設・設備管理を実施している。
- ・区民雇用率は69.1%で、極めて良好である。
- ・ふれあい館との併設であることから、同施設利用者との交流や共同開催する夏祭りに地域も参加することで、生活体験を豊かにする取組が行われている。
- ・親子で参加し、触れ合い競い合いのイベントを開催する等、遊びを通して子どもたちの工夫力が増し、単純な作業をグループで完成させることから喜びへと発展していく保育を実施している。
- ・保護者との懇談会や保育参加、個人面談等を定期的実施しており、気軽に意見要望を聞く体制づくりに努めている。

改善すべき点等

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	決算書、科目別内訳表、事業報告書など審査した結果会計処理は適正に行われていた。	良好
	予算管理が適正である	予算・決算を比較して差異は少なく、予算管理は適正である。	
経営	経費の効果的活用が行われている	経費実績は予算より低下している。人件経費が前年より減少しているが、効果的活用は行われていた。	良好
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労働環境は適正である。	優良
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業法人の三期の決算書に基づいて財務評価を行った結果、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等が極めて良好であり、安定した運営を行う財務力を有している。	優良

総評

サービス内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 関係法令や荒川区との管理運営協定に基づき、保育サービスの実施、施設の維持管理など、適切に業務を実施している。また利用者の評価も高く、良好な運営を行っている。
財務・労務	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会計手続や予算管理は適切である。人件費が低下しているが園間の人事異動によるもので、全体としての効果的活用は行っている。 ・ 雇用契約条件、実施状況、健康診断などについて法令に準じた運用を行っている。 ・ 収益性、成長性、安定性、活動性、健全性などすべてが優れているので、安定的運営を行う財務力を有している。
総合評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ サービス面、会計面は良好、労務面は優良であり、経費の効果的活用も行われているため、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部	
部	子育て支援部
課	保育課

平成28年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

施設概要		
施設名	名称	区営住宅（西尾久七丁目住宅、西尾久三丁目住宅、南千住二丁目住宅、町屋七丁目住宅、町屋五丁目住宅）
	所在地	荒川区西尾久七丁目19番11号 他4カ所
指定管理者	名称	株式会社東急コミュニティー
	所在地	世田谷区用賀四丁目10番1号 世田谷ビジネススクエアタワー
施設開設年月日		平成4年4月28日他
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成24年4月1日
指定期間		平成27年4月1日から平成30年3月31日
業務内容		1 区営住宅、共同施設及び附帯施設の保全、修繕及び改良に関する業務 2 共同施設の整備その他の住居環境の整備に関する業務
平成28年度の事業計画		
1 住宅営繕	一般修繕、空家修繕（退去後の修繕）	
2 環境整備	樹木剪定（害虫駆除を含む）	
3 施設管理	①排水管清掃 ②エレベーター保守等 ③受水槽清掃 ④消防設備保守 ⑤安否確認システム保守	
4 清掃・管理	①定期清掃（毎月1回） ②その他清掃 ③機械警備	
5 計画修繕	なし	
平成28年度の実績		
1 住宅営繕	①一般修繕（共用スペース非常照明交換、インターホン補修、雨水管漏水補修等 10件） ②空家修繕（畳表替、襖張替、床ワックスがけ等 14件）	
2 環境整備	樹木剪定を実施（害虫駆除は実施せず）	
3 施設管理	①排水管清掃 ②エレベーター保守等 ③受水槽清掃 ④消防設備保守 ⑤安否確認システム	
4 清掃・管理	①定期清掃（毎月1回） ②その他清掃 ③機械警備	
5 計画修繕	なし	

施設決算状況

年度		平成26年度	平成27年度	平成28年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	指定管理料	25,354,804	24,461,183	20,839,900	18,663,666
	その他収入	-	-	-	-
	計	25,354,804	24,461,183	20,839,900	18,663,666
支出	運営費	23,818,474	22,893,772	18,185,186	16,449,765
	管理費	1,536,330	1,567,411	2,654,714	2,213,901
		本部経費	1,536,330	1,567,411	2,654,714
	人件費	-	-	-	-
	修繕費	-	-	-	-
	その他支出	-	-	-	-
	計	25,354,804	24,461,183	20,839,900	18,663,666
収支差額	0	0	0	0	

(各費目内容・改善すべき点等)

- ・ 26年度は、水道用水及び工業用水揚水ポンプ取替工事、屋上防水工事（1・3・13階）、高架水槽補修工事を実施した。
- ・ 27年度は、水道メーター廻り給水管更新工事等を実施した。
- ・ 28年度は、大規模な修繕の実施がなかったため、26年度及び27年度と比較して決算額が減少している。また、一般修繕等の実績が少なかったため（見込み27件→実績10件）、28年度当初計画と比べ、決算額が低くなった。

基本評価項目

評価項目	配点	評価		得点
		レベル	乗率	配点×乗率
施設の維持管理	70	-		66
快適に利用できるための施設管理がなされている	30	5	100%	30
業務の遂行に必要な職員が配置されている	20	4	80%	16
研修計画に基づいた職員の受講がなされている	20	5	100%	20
区民サービス	30			24
居住者からの修繕依頼に対し、迅速かつ適切に対応している	20	4	80%	16
居住者アンケートの結果、施設利用の満足度が高い	10	4	80%	8
合計(A)	100	-	-	90

その他の評価項目					
評価項目		配点	評価		得点
			レベル	乗率	配点×乗率
適切な危機管理体制が整備されている		2	5	100%	2
事故・苦情の再発防止策を策定し、効果を確認している		2	5	100%	2
区内事業者の活用を積極的に図っている		6	4	80%	4.8
合 計 (B)		10	-	-	8.8
評価内容					
専門性の高い業務以外の営繕業務における区内事業者の活用については、年度当初の目標である50%を超え、80%の活用率となった。					
改善すべき点等					
専門性の高い業務以外の営繕業務について、引き続き区内事業者の活用が望まれる。					
合 計 (A+B)				98.8	
施設の維持管理・区民サービス等の総合評価				A	
財務・労務評価表					
評価項目		評価内容		評価	
会計	会計手続が適正である	施設ごとに会計基準に基づいて決算書、科目別内訳表、事業報告書等が作成されており、会計手続は適正である。		良好	
	予算管理が適正である	予算と実績との間に乖離が見られる項目があるが、原因分析が行われている。			
経営	経費の効果的活用が行われている	10%以上削減された項目が多く、経費削減の努力が行われ、経費の効果的活用が行われている。		優良	
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労働環境は適正である。		優良	
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	成長性、収益性、安定性、活動性、健全性等は総合的に良好であり、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している。		優良	

総評

サービス内容	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の維持管理について、24時間体制による適切な管理がなされている。保守委託業務については、コストを低減しつつ、良好な維持管理が行われている。営繕業務については、区内業者への再委託が80%を超えており、引き続き積極的な活用が望まれる。
財務・労務	<ul style="list-style-type: none"> ・適正な会計手続が行われている。 ・予算管理は原因分析が行われており、今後を活かすことを期待する。 ・経費削減努力は認められるが、大幅増の項目があり今後検討を要する。 ・雇用契約条件、実施状況、健康診断などについて法令に準じた運用を行っている。 ・成長性、収益性、安定性、活動性、健全性等は総合的に良好であり、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している。
総合評価	<ul style="list-style-type: none"> ・サービス面、会計面は良好、労務面は優良であり、経費の効果的活用も行われているため、指定管理業務は適正であったと評価出来る。 ・なお、営繕業務の区内事業者の活用については、活用率が目標を超えているが、引き続き活用が望まれる。

担当所管部	
部	福祉部
課	福祉推進課

平成28年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

施設概要

施設名	名称	区民住宅（東日暮里六丁目住宅、町屋八丁目住宅、町屋五丁目住宅）
	所在地	荒川区東日暮里六丁目7番12号 他2カ所
指定管理者	名称	株式会社東急コミュニティー
	所在地	世田谷区用賀四丁目10番1号 世田谷ビジネススクエアタワー
施設開設年月日		平成9年4月10日他
現在の指定管理者による 運営開始年月日		平成24年4月1日
指定期間		平成27年4月1日から平成30年3月31日まで
業務内容		1 区民住宅、共同施設及び付帯施設の保全、修繕及び改良に関する業務 2 共同施設の整備その他の住居環境の整備に関する業務

平成28年度の事業計画

- | | |
|-----------|---|
| 1 住宅営繕 | 一般修繕、空室修繕（退去後の修繕） |
| 2 環境整備 | 樹木剪定（害虫駆除を含む） |
| 3 施設管理 | ①排水管清掃 ②エレベーター保守
③受水槽清掃 ④消防設備保守（町屋五丁目住宅のみ） |
| 4 清掃・巡回管理 | ①定期清掃 ②巡回管理 ③床等日常清掃 ④ゴミ置き場等清掃 |
| 5 計画修繕 | なし |

平成28年度の事業実績

- | | |
|-----------|---|
| 1 住宅営繕 | ①一般修繕（浴室・トイレ・台所等の水栓交換等76件）
②空室修繕（壁クロス張り替え等6件） |
| 2 環境整備 | 樹木剪定を実施（害虫駆除は実施せず） |
| 3 施設管理 | ①排水管清掃 ②エレベーター保守
③受水槽清掃 ④消防設備保守（町屋五丁目住宅のみ） |
| 4 清掃・巡回管理 | ①定期清掃（年4回） ②巡回管理 ③床等日常清掃（週3回）
④ゴミ置き場等清掃（可燃ごみ収集日） |
| 5 計画修繕 | なし |

施設決算状況

年度		平成26年度	平成27年度	平成28年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	指定管理料	70,158,800	52,079,202	31,461,754	32,125,866
	その他収入	-	-	-	-
	計	70,158,800	52,079,202	31,461,754	32,125,866
支出	運営費	67,628,387	49,924,530	27,397,703	28,335,241
	管理費	2,530,413	2,154,672	4,064,051	3,790,625
		本部経費	2,530,413	2,154,672	4,064,051
	人件費	-	-	-	-
	修繕費	-	-	-	-
	その他支出	-	-	-	-
	計	70,158,800	52,079,202	31,461,754	32,125,866
収支差額		0	0	0	0

(各費目内容・改善すべき点等)

- ・ 26年度は、水道水及び工業用水の揚水ポンプ取替工事、屋上防水工事（1・3・13階）、高架水槽補修工事、工業用水のブースターポンプユニット交換工事等を実施した。
- ・ 27年度は、水道メーター廻り給水管更新工事等を実施した。
- ・ 28年度は、東日暮里六丁目住宅の廃止に伴い、当初計画に比べ、空室修繕の費用が増加した。

基本評価項目

評価項目	配点	評価		得点
		レベル	乗率	配点×乗率
施設の維持管理	70			66
快適に利用できるための施設管理がなされている	30	5	100%	30
業務の遂行に必要な職員が配置されている	20	4	80%	16
研修計画に基づいた職員の受講がなされている	20	5	100%	20
区民サービス	30			20
居住者からの修繕依頼に対し、迅速かつ適切に対応している	20	3	60%	12
居住者アンケートの結果、施設利用の満足度が高い	10	4	80%	8
合計(A)	100	-	-	86

その他の評価項目

評価項目	配点	評価		得点
		レベル	乗率	配点×乗率
適切な危機管理体制が整備されている	2	5	100%	2
事故・苦情の再発防止策を策定し、効果を確認している	2	5	100%	2
区内事業者の活用を積極的に行っている	6	4	80%	4.8
合 計 (B)	10	-	-	8.8

評価内容

専門性の高い業務以外の営繕業務における区内事業者の活用については、年度当初の目標である50%を超え、80%の活用率となった。

改善すべき点等

居住者からの要望に迅速かつ丁寧に対応するよう求める。また、専門性の高い業務以外の営繕業務について、引き続き区内事業者の活用が望まれる。

合計 (A+B)

94.8

施設の維持管理・区民サービス等の総合評価

A

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	施設ごとに会計基準に基づいて決算書、科目別内訳表、事業報告書等が作成されており、会計手続は適正である。	良好
	予算管理が適正である	予算と実績との間に乖離が見られる項目があるが、原因分析が行われている。	
経営	経費の効果的活用が行われている	住宅営繕費の増加があったが、他の経費の縮減努力により総支出は2.1%の予算超過にとどまった。	良好
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労働環境は適正である。	優良
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	成長性、収益性、安定性、活動性、健全性等は総合的に良好であり、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している。	優良

総評

サービス内容	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の維持管理について、24時間体制による適切な管理がなされている。保守委託業務については区内事業者の活用に努め、良好な維持管理が行われている。営繕業務については、専門性の高くない業務について、区内事業者の活用率が、80%となった。
財務・労務	<ul style="list-style-type: none"> ・適正な会計手続が行われている。 ・予算管理は原因分析が行われている。 ・縮減が可能な項目についての努力が認められる。 ・雇用契約条件、実施状況、健康診断などについて法令に準じた運用を行っている。 ・成長性、収益性、安定性、活動性、健全性等は総合的に良好であり、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している。
総合評価	<ul style="list-style-type: none"> ・サービス面、会計面は良好、労務面は優良であり、経費の効果的活用も行われていたため、指定管理業務は適正であったと評価出来る。 ・なお、営繕業務の区内事業者の活用については、活用率が目標を超えているが、引き続き活用が望まれる。

担当所管部	
部	防災都市づくり部
課	施設管理課

平成28年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

施設概要

施設名	名称	従前居住者用住宅（町屋五丁目住宅）
	所在地	荒川区町屋五丁目9番2号
指定管理者	名称	株式会社東急コミュニティー
	所在地	世田谷区用賀四丁目10番1号 世田谷ビジネススクエアタワー
施設開設年月日		平成10年4月1日
現在の指定管理者による 運営開始年月日		平成27年4月1日
指定期間		平成27年4月1日から平成30年3月31日まで
業務内容		1 従前居住者用住宅、共同施設及び付帯施設の保全、修繕及び改良に関する業務 2 共同施設の整備その他の住居環境の整備に関する業務

平成28年度の事業計画

1 住宅営繕	一般修繕、空室修繕（退去後の修繕）
2 環境整備	樹木剪定（害虫駆除を含む）
3 施設管理	①排水管清掃 ②エレベーター保守、 ③受水槽清掃 ④消防設備保守
4 清掃・巡回管理	①定期清掃 ②巡回管理 ③床等日常清掃 ④ゴミ置き場等清掃
5 計画修繕	なし

平成28年度の事業実績

1 住宅営繕	①一般修繕（簡易クリーニング等6件） ②空室修繕（壁クロス張り替え1件等）
2 環境整備	樹木剪定を実施（害虫駆除は実施せず）
3 施設管理	①排水管清掃 ②エレベーター保守、 ③受水槽清掃 ④消防設備保守
4 清掃・巡回管理	①定期清掃（年4回）②巡回管理 ③床等日常清掃（週3回） ④ゴミ置き場等清掃（可燃ごみ収集日）
5 計画修繕	なし

施設決算状況

年度		平成26年度	平成27年度	平成28年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	指定管理料	-	3,122,917	1,742,014	1,425,629
	その他収入	-	-	-	-
	計	-	3,122,917	1,742,014	1,425,629
支出	運営費	-	3,027,658	1,517,276	1,251,375
	管理費	-	95,259	224,738	174,254
		本部経費	-	95,259	224,738
	人件費	-	-	-	-
	修繕費	-	-	-	-
	その他の支出	-	-	-	-
	計	-	3,122,917	1,742,014	1,425,629
収支差額		-	0	0	0

(各費目内容・改善すべき点等)

- ・ 27年度は、水道メーター廻り給水管更新工事等を実施した。
- ・ 28年度は、大規模な修繕計画がなかったため、27年度に比べ、当初計画、決算ともに減少した。

基本評価項目

評価項目	配点	評価		得点
		レベル	乗率	配点×乗率
施設の維持管理	70			66
快適に利用できるための施設管理がなされている	30	5	100%	30
業務の遂行に必要な職員が配置されている	20	4	80%	16
研修計画に基づいた職員の受講がなされている	20	5	100%	20
区民サービス	30			20
居住者からの修繕依頼に対し、迅速かつ適切に対応している	20	3	60%	12
居住者アンケートの結果、施設利用の満足度が高い	10	4	80%	8
合 計 (A)	100	-	-	86

その他の評価項目

評価項目	配点	評価		得点
		レベル	乗率	配点×乗率
適切な危機管理体制が整備されている	2	5	100%	2
事故・苦情の再発防止策を策定し、効果を確認している	2	5	100%	2
区内事業者の活用を積極的に行っている	6	4	80%	4.8
合計 (B)	10	-	-	8.8

評価内容

専門性の高い業務以外の営繕業務における区内事業者の活用については、年度当初の目標である50%を超え、80%の活用率となった。

改善すべき点等

居住者からの要望に迅速かつ丁寧に対応するよう求める。また、専門性の高い業務以外の営繕業務について、引き続き区内事業者の活用が望まれる。

合計 (A+B)

94.8

施設の維持管理・区民サービス等の総合評価

A

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	施設ごとに会計基準に基づいて決算書、科目別内訳表、事業報告書等が作成されており、会計手続は適正である。	良好
	予算管理が適正である	予算と実績との間に乖離が見られる項目があるが、原因分析が行われている。	
経営	経費の効果的活用が行われている	支出項目5つのうち4項目が10%以上削減されており、経費縮減努力が認められる。	優良
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労働環境は適正である。	優良
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	成長性、収益性、安定性、活動性、健全性等は総合的に良好であり、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している。	優良

総評

サービス内容	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の維持管理について、24時間体制による適切な管理がなされている。保守委託業務については区内事業者の活用に努め、良好な維持管理が行われている。営繕業務については、専門性の高くない業務について、区内事業者の活用率が、80%となった。
財務・労務	<ul style="list-style-type: none"> ・適正な会計手続が行われている。 ・予算管理は原因分析が行われており、今後活かすことを期待する。 ・経費が大きく縮減されている。 ・雇用契約条件、実施状況、健康診断などについて法令に準じた運用を行っている。 ・成長性、収益性、安定性、活動性、健全性等は総合的に良好であり、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している。
総合評価	<ul style="list-style-type: none"> ・サービス面、会計面は良好、労務面は優良であり、経費の効果的活用も行われているため、指定管理業務は適正であったと評価出来る。 ・なお、営繕業務の区内事業者の活用については、活用率が目標を超えているが、引き続き活用が望まれる。

担当所管部	
部	防災都市づくり部
課	施設管理課

平成28年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

施設概要

施設名	名称	南千住駅東口自転車等駐車場
	所在地	荒川区南千住四丁目1番2号
指定管理者	名称	株式会社ソーリン
	所在地	足立区六町四丁目12番25号
施設開設年月日		平成14年4月1日
現在の指定管理者による 運営開始年月日		平成18年4月2日
指定期間		平成27年4月1日～平成30年3月31日
業務内容		<p>自転車等駐車場の利用の承認・不承認、利用料金の收受・減額及び還付、利用承認の取消し、施設の維持管理に関する業務等を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・延床面積：2,247㎡ ・収容台数： <ul style="list-style-type: none"> 自転車 1,485台（定期利用1,285台、一時利用200台） 原動機付自転車 25台（定期利用20台、一時利用5台）

平成28年度の事業計画

- 1 利用者の誘導・案内、利用承認や料金収納を適切に行う。
- 2 設備の保守点検や必要な修繕を行う。施設の清掃・巡回を毎日行う。
- 3 苦情・トラブルに対しては365日24時間対応する。
- 4 危機管理マニュアルや緊急連絡網を管理棟に設置し全管理員に周知徹底する。
- 5 監理員全体研修(年1回)、個別研修を行う。
- 6 自主事業として次の事業を行う。
 - ・利用者サービスのため、年末年始も開場する。
 - ・一時利用者への2時間まで無料サービスを実施する。
 - ・雨合羽の販売サービスを行う。

平成28年度の事業実績

- 1 利用者の誘導・案内、利用承認や料金収納を適切に行った。
- 2 施設の修繕等を適切に行った（券売機修繕等）。また、ゲートシステム保守点検（年3回）、自転車搬送用コンベア保守点検（年4回）、消防設備保守点検（年2回）を行った。
- 3 施設の清掃・巡回を毎日行った。
- 4 危機管理マニュアル、緊急連絡網等を管理棟へ設置し全管理員に周知徹底した。本社との連絡体制も24時間体制で確立されている。自衛消防訓練を3月に実施した。
- 5 接遇や個人情報の取扱い等を含めた全体研修や定期ミーティングを実施した。
- 6 自主事業として次の事業を行った。
 - ・利用者サービスのため、年末年始も開場した。閉場時間を午前1時30分に延長した。
 - ・一時利用者への2時間まで無料サービスを実施した。大型自転車ゾーンを新設した。
 - ・雨合羽の販売サービスを行った。
- 7 定期利用登録率（登録者数／定期登録台数） 103.3%〔平成29年3月31日現在〕（27年度100.0%）
一時利用率（利用者数／一時収容台数） 27.7%〔1日平均〕（27年度31.9%）

施設決算状況

年度		平成26年度	平成27年度	平成28年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	指定管理料	338,256	256,963	0	1,487,160
	その他収入	32,279,730	33,806,950	31,672,000	34,005,570
	計	32,617,986	34,063,913	31,672,000	35,492,730
支出	運営費	0	0	0	0
	管理費	10,774,316	12,996,919	12,689,000	11,509,900
		本部経費	6,087,112	6,363,929	6,295,000
	人件費	15,680,966	16,257,404	16,020,000	16,407,797
	修繕費	338,256	256,963	0	1,487,160
	その他支出	0	0	0	0
	計	26,793,538	29,511,286	28,709,000	29,404,857
収支差額		5,824,448	4,552,627	2,963,000	6,087,873

(各費目内容・改善すべき点等)

- ・南千住駅周辺に民間駐輪場との競合が進む中、利用率が約3ポイント上昇したことにより、利用料収入が増加した。
- ・利用料収入増に加えて、経費削減努力により収支差額が大きく増加した。

基本評価項目

評価項目	配点	評価		得点
		レベル	乗率	配点×乗率
施設の維持管理	60			60
安全快適に利用できるための施設管理がなされている	20	5	100%	20
業務遂行に必要な職員の配置・育成がなされている	20	5	100%	20
安全管理実施体制を構築し、緊急時対応を万全としている	20	5	100%	20
区民サービス	40			32
利用者アンケートの結果、施設利用の満足度が高い	20	4	80%	16
サービス向上のため創意工夫ある取組を実践している	10	4	80%	8
利用者からの声をモニタリングし、是正等を図っている	10	4	80%	8
合計(A)	100	-	-	92

その他の評価項目

評価項目	配点	評価		得点
		レベル	乗率	配点×乗率
利用者増加のための対策に取り組んでいる	5	4	80%	4
区民雇用、区内事業者の活用等で地域に貢献している	3	3	60%	1.8
環境やエコに関する取組を積極的に行っている	2	3	60%	1.2
合計 (B)	10	-	-	7

評価内容

(基本評価項目)

- ・利用者への挨拶を欠かさず行い、高齢者や女性等のラック収納を補助すると共に、常時2名体制と平日朝の繁忙時間の増員により、スムーズな整理誘導等に努めた。
- ・雨合羽の販売や軽微な自転車トラブルへの応急措置などのサービスを実施した。
- ・利用者アンケートの各項目で高い満足度を得ており感謝の声も多数寄せられた。

(その他の評価項目)

- ・消耗品等をできるだけ区内で購入した。
- ・放置自転車クリーンキャンペーン(10月実施)に参加し、区・警察等と啓蒙活動を行った。

改善すべき点等

環境やエコに関する取組について、さらなる具体的取組みを求めていく。

合計 (A+B)

99

施設の維持管理・区民サービス等の総合評価

A

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	施設ごとに会計基準に基づいて決算書、科目別内訳表、事業報告書等が作成されており、会計手続は適正である。	良好
	予算管理が適正である	予算と実績との間に乖離が見られる項目があるが、原因分析が行われている。	
経営	経費の効果的活用が行われている	見込み違いのため増加した項目があるが、10%以上削減された項目が多い。	良好
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労働環境は適正である。	優良
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	成長性、収益性、安定性、活動性、健全性等は総合的に良好であり、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している。	優良

総評

サービス内容	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者への誘導・補助や清掃等を確実に行うと共に、研修やミーティングによる接遇等の向上を図り、安全で快適な管理運営に努めている。また、365日営業、一時利用 2時間無料化、終電時間を考慮した営業時間の延長、大型自転車ゾーンの新設、雨合羽の販売、タイヤ空気抜け等の軽微な自転車トラブルへの応急措置を行うなど、利用者サービスの向上に努め、利用者の満足を得ている。
財務・労務	<ul style="list-style-type: none"> ・適正な会計手続が行われている。 ・予算管理は原因分析が行われており、今後活かすことを期待する。 ・経費削減努力は認められるが、大幅増の項目があり今後検討を要する。 ・雇用契約条件、実施状況、健康診断などについて法令に準じた運用を行っている。 ・交通費、参加費を支給して研修受講率を高めている点が評価できる。 ・成長性、収益性、安定性、活動性、健全性等は総合的に良好であり、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している。
総合評価	<ul style="list-style-type: none"> ・サービス面、会計面は良好、労務面は優良であり、経費の効果的活用も行われているため、指定管理業務は適正であり評価できる。

担当所管部	
部	防災都市づくり部
課	施設管理課

平成28年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

施設概要

施設名	名称	センターまちや自転車駐車場
	所在地	荒川区荒川七丁目50番9号
指定管理者	名称	サイカパーキング株式会社
	所在地	中央区日本橋小網町七丁目2番
施設開設年月日		平成8年4月1日
現在の指定管理者による 運営開始年月日		平成18年4月1日
指定期間		平成27年4月1日～平成30年3月31日
業務内容		<p>自転車等駐車場の利用の承認・不承認、利用料金の收受・減額及び還付、利用承認の取消し、施設の維持管理に関する業務等を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・延床面積：1437.68㎡ ・収容台数： 自転車1,407台（定期利用1,200台、一時利用207台）

平成28年度の事業計画

- 1 利用者サービスの向上に取り組む。
- 2 利用者の誘導・案内、利用承認や料金収納を適切に行う。
- 3 設備の保守点検や必要な修繕を行う。施設内の清掃を毎日行い、整理整頓にも努める。
- 4 緊急時対応マニュアルや緊急連絡網を管理棟に常備する。
- 5 接遇研修及び定期ミーティングを行う。
- 6 自主事業として次の事業を行う。
 - ・利用者サービスのため、年末年始も開場する。
 - ・一時利用者への2時間まで無料サービスを実施する。
 - ・空気入れ（自動・手動各1基）を設置継続する。投書箱を設置継続する。
 - ・傘、雨合羽、サドル等の汚れ拭き用タオルを常備し、貸し出すサービスを行う。
 - ・自転車用チェーン鍵の販売を行う。

平成28年度の事業実績

- 1 利用者の誘導・案内、利用承認や料金収納を適切に行った。
高齢者や子ども乗せ自転車利用者等の入出の補助を行った。
- 2 ラック・照明器具修繕等を行った。自転車搬送用コンベア保守点検（年4回）、機械警備（365日）を行った。
消防設備保守点検はセンター町屋管理組合により行われた。
- 3 緊急時対応マニュアル及び緊急連絡網等を管理棟へ常備し、全管理員に周知徹底した。
- 4 接遇研修及び定期ミーティングを行った。
- 5 自主事業として次の事業を行った。
 - ・利用者サービスのため、年末年始も開場した。
 - ・一時利用者への2時間まで無料サービスを実施した。
 - ・空気入れ（自動・手動各1基）を設置継続。投書箱を設置継続。
 - ・傘、雨合羽、サドル等の汚れ拭き用タオルを常備し、貸し出すサービスを行った。
 - ・チェーンオイルサービスの実施
 - ・自転車用チェーン鍵の販売を行った。
- 6 定期利用登録率（登録者数／定期登録台数） 122.4%〔平成29年3月31日現在〕（27年度112.3%）
一時利用率（利用者数／一時収容台数） 97.1%〔1日平均〕（27年度101.6%）

施設決算状況

年度		平成26年度	平成27年度	平成28年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	指定管理料	890,244	1,239,840	1,301,390	1,347,084
	その他収入	39,595,800	39,813,000	42,580,372	39,050,000
	計	40,486,044	41,052,840	43,881,762	40,397,084
支出	運営費	0	0	0	0
	管理費	22,888,099	22,491,876	23,437,423	23,870,124
		本部経費	4,352,935	4,521,385	4,667,000
	人件費	18,404,995	17,394,226	17,905,850	18,091,669
	修繕費	890,244	1,239,840	1,301,390	1,347,084
	その他支出	0	0	0	0
	計	42,183,338	41,125,942	42,644,663	43,308,877
収支差額		-1,697,294	-73,102	1,237,099	-2,911,793

(各費目内容・改善すべき点等)

・町屋駅周辺における民営駐輪場との競合により、前年度よりも利用料収入等が減少するとともに、管理費に含まれるセンターまちや管理組合費駐輪場負担分（特別修繕費分）が上乘せになったこと等により、収支差額がマイナスとなった。

基本評価項目

評価項目	配点	評価		得点
		レベル	乗率	配点×乗率
施設の維持管理	60			60
安全快適に利用できるための施設管理がなされている	20	5	100%	20
業務遂行に必要な職員の配置・育成がなされている	20	5	100%	20
安全管理実施体制を構築し、緊急時対応を万全としている	20	5	100%	20
区民サービス	40			32
利用者アンケートの結果、施設利用の満足度が高い	20	4	80%	16
サービス向上のため創意工夫ある取組を実践している	10	4	80%	8
利用者からの声をモニタリングし、是正等を図っている	10	4	80%	8
合計(A)	100	-	-	92

その他の評価項目

評価項目	配点	評価		得点
		レベル	乗率	配点×乗率
利用者増加のための対策に取り組んでいる	5	4	80%	4
区民雇用、区内事業者の活用等で地域に貢献している	3	4	80%	2.4
環境やエコに関する取組を積極的に行っている	2	3	60%	1.2
合計 (B)	10	-	-	7.6

評価内容

(基本評価項目)

- ・高齢者や子ども乗せ自転車利用者等のラック収納を補助すると共に、常時2名体制と繁忙時間の増員により、スムーズな整理誘導等に努めた。
- ・大型自転車ゾーンの新設。
- ・駅につながる階段口付近等に姿見（鏡）を設置し、利用者の利便性や安全性を確保した。
- ・利用者アンケートの各項目で高い満足度を得ており感謝の声も多数寄せられた。

(その他の評価項目)

- ・チェーンオイルサービス、雨合羽やサドル等の汚れ拭き用タオルの貸出しを行った。
- ・区民を優先的に（14人中11人）雇用した。

改善すべき点等

環境やエコに関する取組について、さらなる具体的取組みを求めていく。

合計 (A+B)

99.6

施設の維持管理・区民サービス等の総合評価

A

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	会計基準に基づいて決算書、科目別内訳表、事業報告書等が作成されており、会計手続は適正である。	良好
	予算管理が適正である	予算と実績との間に乖離が見られる項目があるが、原因分析が行われている。	
経営	経費の効果的活用が行われている	光熱水費等経常的支出については概ね経費削減努力が認められる。	良好
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労働環境は適正である。	優良
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	成長性、収益性、安定性、活動性、健全性等は総合的に良好であり、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している。	優良

総評

サービス内容	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者への誘導・補助や清掃等を確実に行うと共に、研修やミーティングにより接遇や個人情報等の管理の向上を図り、安全で快適な管理運営に努めている。また、365日営業、一時利用2時間無料化、駅につながる階段口付近などへの姿見（鏡）の設置をはじめ、チェーンオイルサービス、雨合羽やサドル等の汚れ拭き用タオルの貸出し行うなど、利用者の立場に立ったサービスにより、利用者の満足を得ている。
財務・労務	<ul style="list-style-type: none"> ・適正な会計手続が行われている。 ・予算管理は原因分析が行われており、今後に活かすことを期待する。 ・光熱水費等経常的支出については概ね経費削減努力が認められ、効果的活用が行われている。 ・雇用契約条件、実施状況、健康診断などについて法令に準じた運用を行っている。 ・成長性、収益性、安定性、活動性、健全性等は総合的に良好であり、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している。
総合評価	<ul style="list-style-type: none"> ・サービス面、会計面は良好、労務面は優良であり、経費の効果的活用も行われているため、指定管理業務は適正であり評価できる。

担当所管部	
部	防災都市づくり部
課	施設管理課

平成28年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

施設概要		
施設名	名称	日暮里駅前自転車駐車場
	所在地	荒川区西日暮里二丁目24番2号
指定管理者	名称	株式会社ソーリン
	所在地	足立区六町四丁目12番25号
施設開設年月日		平成20年4月1日
現在の指定管理者による 運営開始年月日		平成20年4月1日
指定期間		平成26年4月1日～平成29年3月31日
業務内容		自転車等駐車場の利用の承認・不承認、利用料金の収受・減額及び還付、利用承認の取消し、施設の維持管理に関する業務等を行う。 ・延床面積：1706.98㎡ ・収容台数： 自転車1,270台（定期利用1,100台、一時利用170台）

平成28年度の事業計画

- 1 利用者の誘導・案内、利用承認や料金収納を適切に行う。
- 2 設備の保守点検や必要な修繕を行う。施設の清掃・巡回を毎日行う。
- 3 苦情・トラブルに対しては365日・24時間対応する。
- 4 危機管理マニュアルや緊急連絡網を管理棟に設置し全管理員に周知徹底する。
- 5 監理員全体研修(年1回)、定期ミーティング(3か月ごと)及び個別研修(OJT)を行う。
- 6 自主事業として次の事業を行う。
 - ・利用者サービスのため、年末年始も開場する。
 - ・一時利用者への2時間まで無料サービスを実施する。
 - ・雨合羽の販売サービスや自転車の軽微な修理サービスを行う。

平成28年度の事業実績

- 1 利用者の誘導・案内、利用承認や料金収納を適切に行った。
高齢者や子ども乗せ自転車利用者等の入出の補助を行った。
- 2 施設の修繕等を適切に行った（精算機・パソコン修理等）。
また、エレベーター（月1回）・自転車搬送用コンベア（年2回）・ゲートシステムの定期保守点検（年2回）、消防設備点検（年2回）を実施した。
施設の清掃・巡回を毎日行った。
- 3 苦情等は、本社に設置の365日・24時間対応するコールセンターにおいても対応した。
- 4 緊急連絡網等を管理棟へ設置し全管理員に周知徹底した。
本社との連絡体制も24時間体制で確立されている。自衛消防訓練を10月、3月に実施した。
- 5 接遇や個人情報の取扱い等について、全体研修や現場定期ミーティングを実施した。
- 6 自主事業として次の事業を行った。
 - ・利用者サービスのため、年末年始も開場した。
 - ・一時利用者への2時間まで無料サービスを実施した。ホテルラングウッド利用者に対し、サービス券を配布し8時間まで無料の対応をサニーホールと同様に実施した。
 - ・雨合羽の販売サービスや自転車の軽微な修理サービスを行った。
- 7 定期利用登録率（登録者数／定期登録台数） 48.3%（平成29年3月31日現在）（27年度54%）
一時利用率（利用者数／一時収容台数） 147.1%〔1日平均〕（27年度146.1%）

施設決算状況

年度		平成26年度	平成27年度	平成28年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	指定管理料	369,360	23,760	352,000	348,516
	その他収入	21,742,450	21,925,250	22,982,000	20,791,120
	計	22,111,810	21,949,010	23,334,000	21,139,636
支出	運営費	0	0	0	0
	管理費	13,652,893	13,480,266	12,431,000	13,241,723
		本部経費	5,900,503	6,169,552	6,423,000
	人件費	14,270,476	14,846,549	14,436,000	15,203,093
	修繕費	369,360	23,760	352,000	348,516
	その他支出	0	0	0	0
	計	28,292,729	28,350,575	27,219,000	28,793,332
収支差額		-6,180,919	-6,401,565	-3,885,000	-7,653,696

(各費目内容・改善すべき点等)

- ・ 支出については経費削減努力が認められ適正に執行されているが、駐車場利用者の低迷による収入不足により収支がマイナスとなっている。
- ・ 今後、利用者数の増加と空きスペースの有効活用について改善策を求め、収益改善に努めていく。

基本評価項目

評価項目	配点	評価		得点
		レベル	乗率	配点×乗率
施設の維持管理	60			60
安全快適に利用できるための施設管理がなされている	20	5	100%	20
業務遂行に必要な職員の配置・育成がなされている	20	5	100%	20
安全管理実施体制を構築し、緊急時対応を万全としている	20	5	100%	20
区民サービス	40			32
利用者アンケートの結果、施設利用の満足度が高い	20	4	80%	16
サービス向上のため創意工夫ある取組を実践している	10	4	80%	8
利用者からの声をモニタリングし、是正等を図っている	10	4	80%	8
合計(A)	100	-	-	92

その他の評価項目

評価項目	配点	評価		得点
		レベル	乗率	配点×乗率
利用者増加のための対策に取り組んでいる	5	4	80%	4
区民雇用、区内事業者の活用等で地域に貢献している	3	3	60%	1.8
環境やエコに関する取組を積極的に行っている	2	3	60%	1.2
合計 (B)	10	-	-	7

評価内容

(基本評価項目)

- ・利用者への挨拶を欠かさず行い、高齢者や女性等のラック収納を補助すると共に、常時2名体制と平日朝の繁忙時間の増員により、スムーズな整理誘導等に努めた。
- ・雨合羽の販売や軽微な自転車トラブルへの応急措置などのサービスを実施した。
- ・利用者アンケートの各項目で高い満足度を得ており感謝の声も多数寄せられた。

(その他の評価項目)

- ・日暮里サニーホールやホテルラングウッドと連携し、「100円駐輪券」の運用を行った。
- ・消耗品等をできるだけ区内で購入した。
- ・放置自転車クリーンキャンペーン(10月実施)に参加し、区・警察等と啓蒙活動を行った。

改善すべき点等

環境やエコに関する取組について、さらなる具体的な取り組みを求めていく。

合計 (A+B)

99

施設の維持管理・区民サービス等の総合評価

A

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	施設ごとに会計基準に基づいて決算書、科目別内訳表、事業報告書等が作成されており、会計手続は適正になされている。	良好
	予算管理が適正である	予算と実績との間に乖離が見られる項目があるが、原因分析が行われている。	
経営	経費の効果的活用が行われている	見込み違いのため増加した項目があるが、10%以上削減された項目が多い。	良好
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労働環境は適正である。	優良
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	成長性、収益性、安定性、活動性、健全性等は総合的に良好であり、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している。	優良

総評

サービス内容	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者への誘導・補助や清掃等を確実に行うと共に、研修やミーティングによる接遇等の向上を図り、安全で快適な管理運営に努めている。また、365日営業、一時利用2時間無料化、終電時間を考慮した営業時間の延長、雨合羽の販売、軽微な自転車トラブルへの応急措置を行うなど、利用者サービスの向上に努め、利用者の満足を得ている。また、日暮里サニーホール等と連携し「100円駐輪券」の運用を行うなど、新たな利用者の獲得に向けても取り組んでいる。
財務・労務	<ul style="list-style-type: none"> ・適正な会計手続が行われている。 ・予算管理は原因分析が行われており、今後に活かすことを期待する。 ・いくつか増加している項目があるものの、経費削減努力が認められる。 ・雇用契約条件、実施状況、健康診断などについて法令に準じた運用を行っている。 ・交通費、参加費を支給して研修受講率を高めている点が評価できる。 ・成長性、収益性、安定性、活動性、健全性等は総合的に良好であり、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している。
総合評価	<ul style="list-style-type: none"> ・サービス面、会計面は良好、労務面は優良であり、経費の効果的活用も行われているため、指定管理業務は適正であり評価できる。

担当所管部	
部	防災都市づくり部
課	施設管理課

平成28年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

施設概要		
施設名	名称	三河島駅前自転車駐車場
	所在地	荒川区西日暮里一丁目6番20号
指定管理者	名称	センターサイクル荒川共同体 (構成団体：代表団体・公益財団法人自転車駐車場整備センター、サイカパーキング株式会社)
	所在地	中央区日本橋本石町四丁目6番7号
施設開設年月日		平成26年10月1日
現在の指定管理者による 運営開始年月日		平成26年10月1日
指定期間		平成26年10月1日～平成30年3月31日
業務内容		自転車等駐車場の利用の承認・不承認、利用料金の収受・減額及び還付、利用承認の取消し、施設の維持管理に関する業務等を行う。 ・延床面積：776㎡ ・収容台数：自転車440台（定期利用330台、一時利用110台）

平成28年度の事業計画

- 1 利用者の誘導・案内、利用承認や料金収納を適切に行う。
- 2 設備の保守点検や必要な修繕を行う。施設の清掃・巡回を毎日行う。
- 3 安全管理実施連絡体制により、トラブル防止、苦情対応及び緊急時の対応を行う。
- 4 事故・防犯・防災マニュアルを管理室に常備する。
- 5 施設開設前、新規採用時における研修及び年に1回の定期研修を行う。
- 6 自主事業として次の事業を行う。
 - ・利用者サービスのため、年末年始も開場する。
 - ・一時利用者への2時間無料サービスを実施する。
 - ・一時利用料の清算時に電子マネー決済機を継続する。
 - ・電動空気入れの設置を継続する。
 - ・非常時貸出用自転車を用意する。

平成28年度の事業実績

- 1 利用者の誘導・案内、利用承認や料金収納を適切に行った。
- 2 機械式駐輪機の定期保守点検(4回)、電話サポート(12回)、機械警備(12回)、施設の清掃・巡回を毎日行った。
- 3 安全管理実施連絡体制により、トラブル防止、苦情対応及び緊急時の対応を行った。
- 4 事故・防犯・防災マニュアルを管理室に常備し、全管理員に周知した。
- 5 施設開設前及び新規採用時研修、及び全管理員に対する研修を行った。
- 6 自主事業として次の事業を行った。
 - ・利用者サービスのため、年末年始も開場した。
 - ・一時利用者への2時間無料サービスを実施した。
 - ・一時利用料の清算時に電子マネー決済機を継続した。
 - ・電動空気入れの設置継続。
 - ・非常時貸出用自転車を10台用意した。
- 7 定期利用登録率（登録者数／定期登録台数） 57.6%〔平成29年3月31日現在〕（27年度57.9%）
一時利用率（利用者数／一時収容台数） 21.1%〔1日平均〕（27年度22.7%）

施設決算状況

年度		平成26年度 (10月より 6ヶ月)	平成27年度	平成28年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	指定管理料	3,334,820	8,067,074	6,467,860	8,114,179
	その他収入	3,490,700	5,057,400	7,361,700	4,737,400
	計	6,825,520	13,124,474	13,829,560	12,851,579
支出	運営費	0	0	0	0
	管理費	2,369,386	4,165,022	4,698,292	3,919,041
		本部経費	942,798	408,056	384,912
	人件費	4,456,134	8,912,268	8,912,268	8,912,268
	修繕費	0	47,184	219,000	20,270
	その他支出	0	0	0	0
	計	6,825,520	13,124,474	13,829,560	12,851,579
収支差額		0	0	0	0

(各費目内容・改善すべき点等)

- ・ 設置当初の基本協定により、収支差額分について指定管理料として区が負担している。
- ・ 定期利用、一時利用ともに利用率が低いため、今後、利用者数の増加に向けた改善策を求め、収益改善に努めていく。

基本評価項目

評価項目	配点	評価		得点
		レベル	乗率	配点×乗率
施設の維持管理	60			60
安全快適に利用できるための施設管理がなされている	20	5	100%	20
業務遂行に必要な職員の配置・育成がなされている	20	5	100%	20
安全管理実施体制を構築し、緊急時対応を万全としている	20	5	100%	20
区民サービス	40			32
利用者アンケートの結果、施設利用の満足度が高い	20	4	80%	16
サービス向上のため創意工夫ある取組を実践している	10	4	80%	8
利用者からの声をモニタリングし、是正等を図っている	10	4	80%	8
合計 (A)	100	-	-	92

その他の評価項目

評価項目	配点	評価		得点
		レベル	乗率	配点×乗率
利用者増加のための対策に取り組んでいる	5	4	80%	4
区民雇用、区内事業者の活用等で地域に貢献している	3	4	80%	2.4
環境やエコに関する取組を積極的に行っている	2	3	60%	1.2
合計 (B)	10	-	-	7.6

評価内容

(基本評価項目)

- ・施設利用に当たり利用者が守るべき事項を周知徹底すると共に、繁忙時間（毎日6時～9時30分）に増員を図り、利用者がスムーズに施設を利用できるよう努めた。
- ・緊急時連絡組織体制網に基づき、機器異常発生時における利用者対応等を適切に行った。
- ・利用者アンケートの各項目で高い満足度を得ており感謝の声も多数寄せられた。

(その他の評価項目)

- ・区民を優先的に（9人中7人）雇用した。

改善すべき点等

環境やエコに関する取組について、さらなる具体的な取組みを求めていく。

合計 (A+B)

99.6

施設の維持管理・区民サービス等の総合評価

A

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	会計基準に基づいて決算書、科目別内訳表、事業報告書等が作成されており、会計手続は適正である。	良好
	予算管理が適正である	予算と実績との間に乖離が見られる項目があるが、原因分析が行われている。	
経営	経費の効果的活用が行われている	多くの項目で実績が予算を下回っており、経費縮減努力が認められ、経費の効果的活用が行われている。	優良
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労働環境は適正である。	優良
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	成長性、収益性、安定性、活動性、健全性等は総合的に良好であり、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している。	優良

総評

サービス内容	<ul style="list-style-type: none"> ・施設利用方法の周知徹底によりトラブルを事前に防止し、繁忙時間帯には増員を図ること等により、安全快適な施設の管理運営を図った。また、年末年始を含めた毎日の開場や一時利用2時間までの利用無料制度の導入に加え、一時利用清算時における電子マネー決済機の導入、電動空気入れの設置、非常時貸出用自転車の設置等、利用者サービスの向上に努め、利用者の満足を得ている。
財務・労務	<ul style="list-style-type: none"> ・適正な会計手続が行われている。 ・予算管理は原因分析が行われており、今後活かすことを期待する。 ・経費削減努力が認められ、効果的活用が行われている。 ・雇用契約条件、実施状況、健康診断などについて法令に準じた運用を行っている。 ・成長性、収益性、安定性、活動性、健全性等は総合的に良好であり、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している。
総合評価	<ul style="list-style-type: none"> ・サービス面、会計面は良好、労務面は優良であり、経費の効果的活用も行われているため、指定管理業務は適正であり評価できる。

担当所管部	
部	防災都市づくり部
課	施設管理課